

XI 資 料

1 設置規定

- 勅令第385号

〔	昭和19年 6 月 3 日付	〕
	昭和19年 6 月 5 日官報登載	

統計数理研究所官制

第1条 統計数理研究所ハ文部大臣ノ管理ニ属シ確率ニ関スル数理及其ノ応用ノ研究ヲ掌リ並ニ其ノ研究ノ連絡、統一及促進ヲ図ル

第2条 統計数理研究所ニ左ノ職員ヲ置ク

所長

所員 専任6人 奏任 内1人ヲ勅任ト為スコトヲ得

助手 専任6人 判任

書記 専任2人 判任

所長ハ所員ヲ以テ之ニ充ツ

第3条 統計数理研究所ニ参与ヲ置キ所務ニ参与セシム

参与ハ文部大臣ノ奏請ニ依リ関係各庁高等官及学識経験アル者ノ中ヨリ内閣ニ於テ之ヲ命ズ

学識経験アル者ノ中ヨリ命ゼラレタル参与ノ任期ハ3年トス但シ特別ノ事由アル場合ニ於テハ任期中之ヲ解任スルコトヲ妨ゲズ

第4条 所長ハ文部大臣ノ指揮監督ヲ承ケ所務ヲ掌理ス

第5条 所員ハ所長ノ命ヲ承ケ所務ヲ掌ル

第6条 助手ハ上官ノ指揮ヲ承ケ所務ニ従事ス

第7条 書記ハ上官ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

● 文部省令第30号 昭和24年 6 月 1 日付
昭和24年 6 月 1 日官報登載

文部省所轄機関組織規程

第 4 章 統計数理研究所

第15条 統計数理研究所の所掌事務を分掌せしめるため、下記の 4 部を置く。

庶務部

研究第一部

研究第二部

研究第三部

第16条 庶務部に庶務課、会計課及び養成課を置く。

2 庶務課に於いては、下記の事務をつかさどる。

- (1) 別に文部大臣から委任を受けた範囲に於いて職員の人事に関する事務を処理する事。
- (2) 公文書類を接受し、編集し及び保存する事。
- (3) 公印を管守する事。
- (4) 統計数理研究所評議員会に関する事務を処理する事。
- (5) 他部局の所掌に属さない事務を処理する事。
- (6) 統計数理研究所の所掌事務に関し、連絡調整する事。

3 会計課に於いては、下記の事務をつかさどる。

- (1) 予算案を準備する等予算に関する事務を処理する事。
- (2) 経費及び収入の決算に関する事務を処理する事。
- (3) 会計に関する事務を処理する事。
- (4) 行政財産及び物品の管理に関する事務を処理する事。
- (5) 職員の衛生、医療及び福利厚生に関する事務を処理する事。
- (6) 庁内の警備及び庁舎その他設備の維持に関する事務を処理する事。

4 養成課に於いては附属統計技術員養成所に関する事務をつかさどる。

第17条 研究第一部に於いては、下記の事務をつかさどる。

- (1) 確率論に関する研究を行う事。
- (2) 数理統計の基礎理論に関する研究を行う事。
- (3) 確率統計に関する基礎的研究を行う事。

第18条 研究第二部に於いては、下記の事務をつかさどる。

- (1) 数理統計学の理論及び自然科学方面への応用に関する研究を行う事。
- (2) 実験統計に関する研究を行う事。

第19条 研究第三部に於いては、下記の事務をつかさどる。

- (1) 数理統計学の理論及び社会現象への応用に関する研究を行う事。
- (2) 計量統計に関する研究を行う事。
- (3) 統計計算に関する研究を行う事。

附 則

此の省令は、公布の日から施行し、昭和24年 6 月 1 日から適用する。

● 文部省令第21号 { 昭和30年 9 月15日付
昭和30年 9 月15日官報登載 }

文部省設置法施行規則の一部を改正する省令

文部省設置法施行規則（昭和28年文部省令第2号）の一部を次のように改正する。

（内部組織）

第54条 統計数理研究所に左の4部を置く。

- (1) 庶務部
- (2) 第一研究部
- (3) 第二研究部
- (4) 第三研究部

第56条から第60条までを次のように改める。

（第一研究部）

第56条 第一研究部においては、実際に即して、左の研究を行う。

- (1) 一般統計推論に関すること。
 - (2) 過程事象の解析に関すること。
 - (3) 統計推論の基礎となる確率論に関すること。
- 2 第一研究部に第一研究室、第二研究室及び第三研究室を置き、各室においては、それぞれ前項第1号、第2号及び第3号に関する研究を行う。

（第二研究部）

第57条 第二研究部においては、実際に即して、左の研究を行う。

- (1) 標本調査法及び社会調査法に関すること。
 - (2) 統計に関する実験の計画法及び測定法に関すること。
 - (3) 一般統計事象の分析法及び管理法に関すること。
 - (4) 一般現象を数量的に取扱う方法及び現象予測法に関すること。
- 2 第二研究部に第一研究室、第二研究室、第三研究室及び第四研究室を置き、各室においては、それぞれ前項第1号、第2号、第3号及び第4号に関する研究を行う。

（第三研究部）

第58条 第三研究部においては、実際に即して、左の研究を行い、及び事務をつかさどる。

- (1) 統計解析に必要な計算法に関すること。
 - (2) 統計解析の機械化及び統計計算に必要な計算機に関すること。
 - (3) 国及び地方公共団体の機関、大学、民間団体等の求めに応じ、援助と助言を与えること。
 - (4) 統計の研究指導及び普及を行うこと。
 - (5) 図書及び資料を収集整理し、及び利用に供すること。
- 2 第三研究部に第一研究室及び第二研究室を置き、各室においては、それぞれ前項第1号及び第2号に関する研究を行う。
- 3 第三研究部に研究指導普及室を置き、第1項第3号から第5号までに関する事務をつかさどる。

（第一研究部、第二研究部及び第三研究部の共通事務）

第59条 第一研究部、第二研究部及び第三研究部においては、前3条に定めるものの外、各部の所掌事務に関し、左の事務をつかさどる。

- (1) 内外の研究機関及び関係団体と連絡協力すること。
- (2) 研究成果の刊行及び研究会の開催その他研究の促進に関すること。

附 則

この省令は、公布の日から施行する。

● 文部省令第5号 昭和60年3月30日

国立大学共同利用機関組織運営規則の一部を改正する省令（抄）

国立大学共同利用機関組織運営規則（昭和52年文部省令第12号）の一部を次のように改正する。

第5章の3 統計数理研究所

（内部組織）

第25条の9 統計数理研究所に、管理部及び次の4研究系並びに技術課を置く。

- (1) 統計基礎研究系
- (2) 調査実験解析研究系
- (3) 予測制御研究系
- (4) 領域統計研究系

2 前項に掲げるもののほか、統計数理研究所に附属施設を置く。

（管理部）

第25条の10 管理部においては、庶務、会計及び施設等に関する事務を処理する。

- 2 管理部にその所掌事務を分掌させるため、文部大臣が別に定めるところにより、課を置く。
- 3 管理部及びこれに置かれる課に、それぞれ部長及び課長を置き、事務職員をもつて充てる。
- 4 部長は、所長の命を受け、部の事務を管理する。
- 5 課長は、上司の命を受け、課の事務を処理する。

（研究系及び研究部門）

第25条の11 別表第5の4の上欄に掲げる研究系に、それぞれ同表の下欄に掲げる研究部門を置く。

- 2 各研究系に研究主幹を置き、教授をもつて充てる。
- 3 研究主幹は、所長の命をうけ、当該研究系における研究及び研究指導に関し、総括し、及び調整する。

（技術課）

第25条の12 技術課においては、技術に関する専門的業務を処理する。

- 2 技術課に、課長を置き、技術職員をもつて充てる。
- 3 課長は、所長の命を受け、課の事務を処理する。

（附属施設）

第25条の13 附属施設の名称は、別表第5の5に掲げるとおりとする。

- 2 附属施設に長を置き、教授又は助教授をもつて充てる。
- 3 前項の長は、当該附属施設の業務を処理する。

別表第 5 の 4（第25条の11関係）

統計数理研究所の研究部門

研究系の名称	上欄の研究系に置く研究部門
統計基礎	推測決定理論 基礎概念 ※確率・分布理論
調査実験解析	標本調査 空間事象 多次元解析 パターン解析 ※実験計画
予測制御	予測理論 制御理論 数値的最適化 統計計算システム ※大規模システム
領域統計	自然科学領域 人文社会科学領域 ※複合領域

別表第 5 の 5（第25条の13関係）

統計数理研究所の附属施設

名 称
統計データ解析センター
統計教育・情報センター

附 則

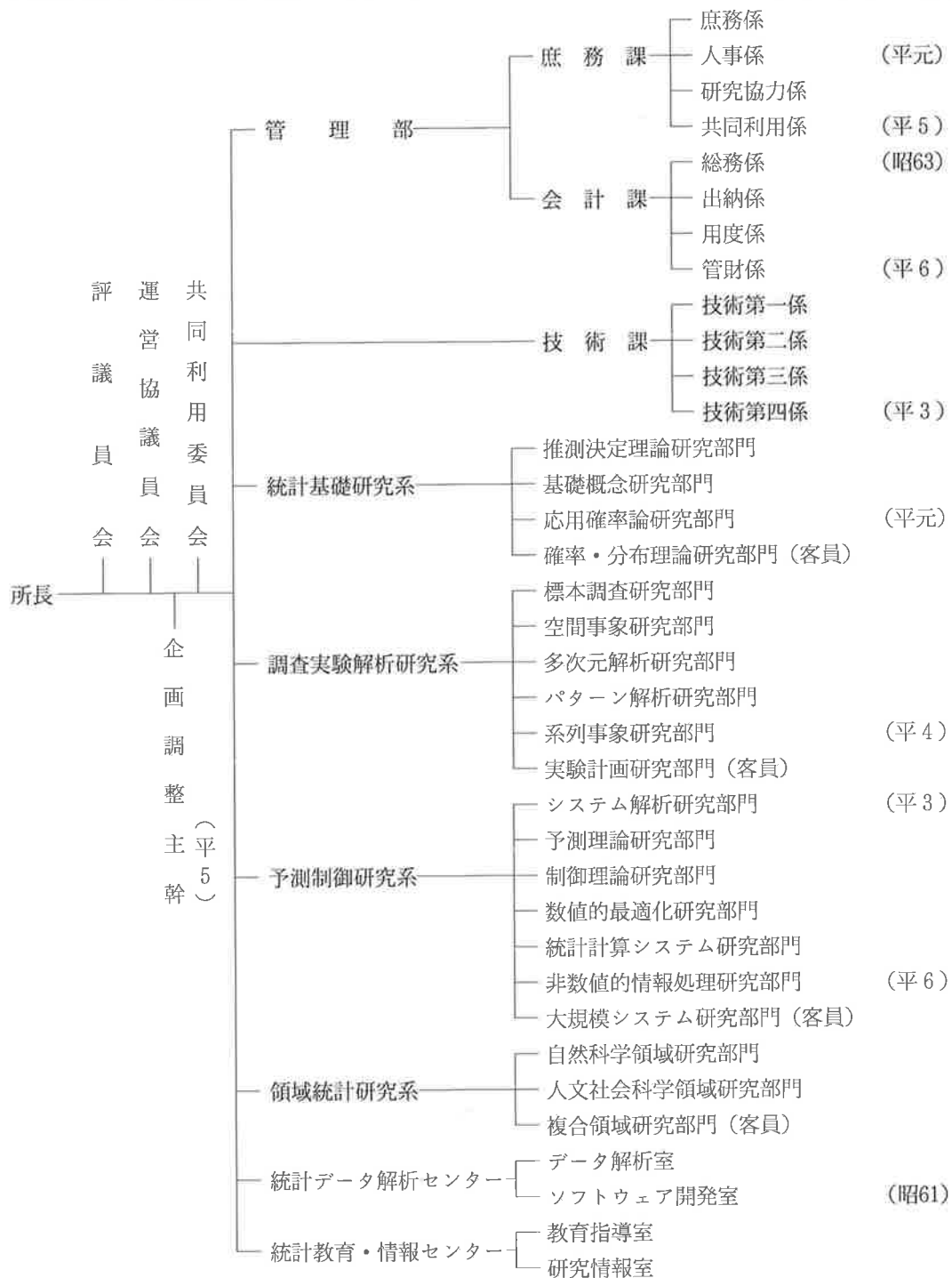
- 1 この省令は、昭和60年 4 月 1 日から施行する。

2 機 構

(1) 機構図

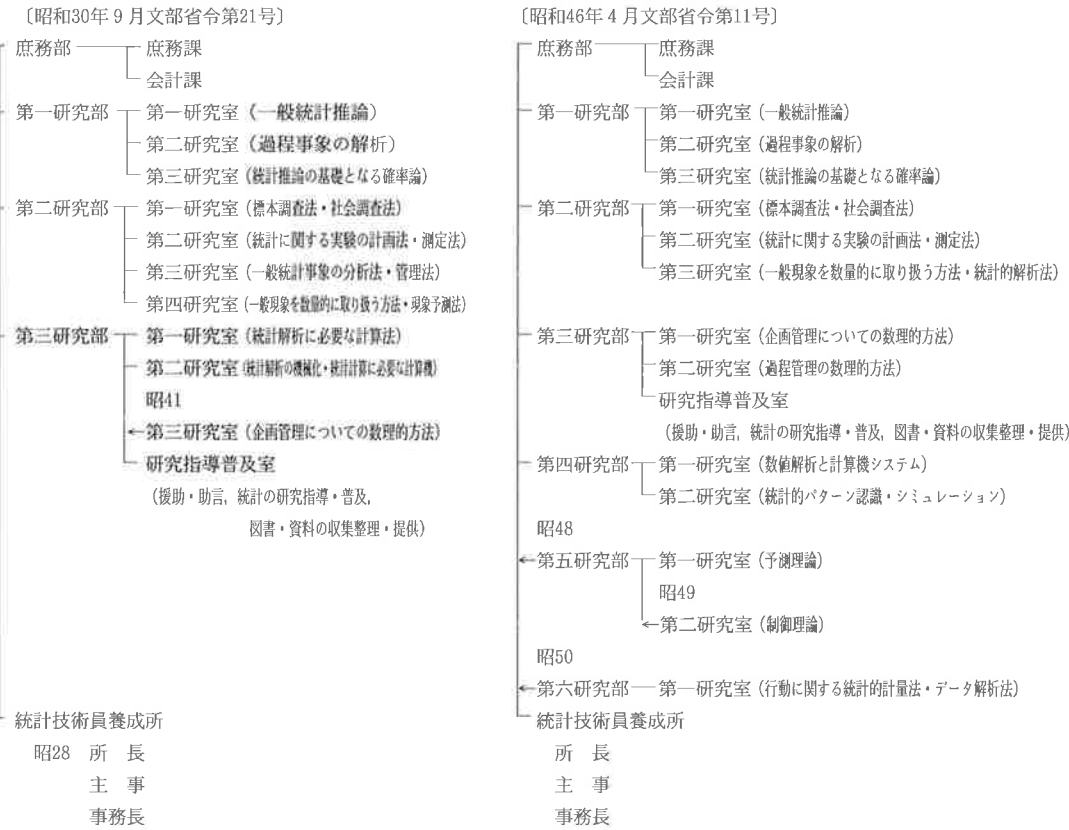
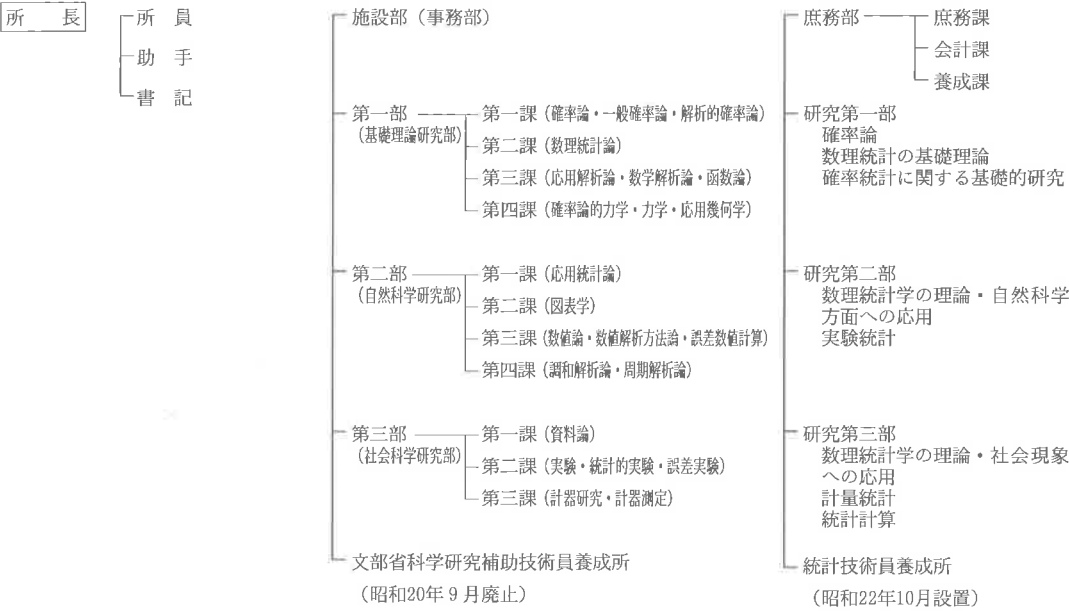
昭和60年4月1日改組（平成6年6月現在）

（ ）内は設置年度



(2) 研究組織等の沿革

〔昭和19年 6 月勅令第385号統計数理 〔昭和21年 4 月官制改正案（増員）説明資料による） 〔昭和24年 6 月文部省令第30号）
研究所官制の公布により創設〕



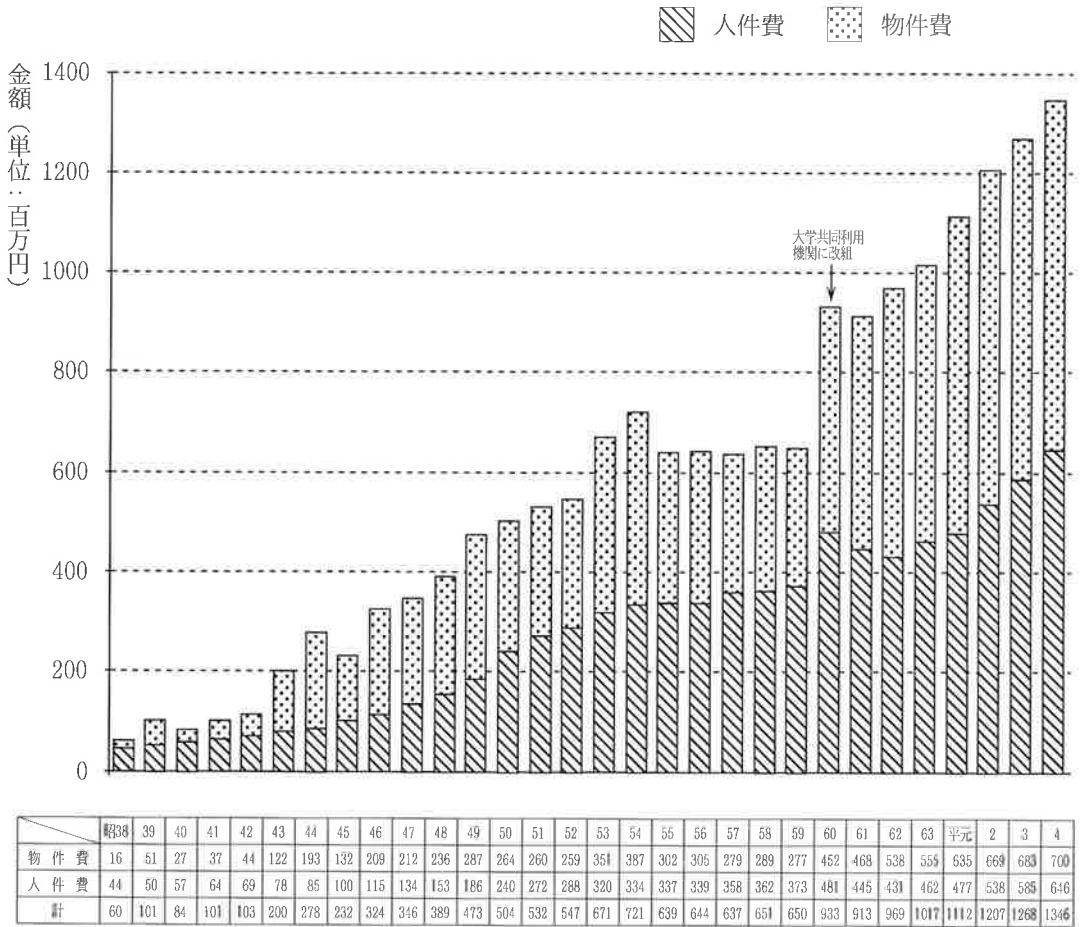
昭和60年3月末日現在（改組直前）



3 教職員定員の推移

年 月	総 数	内					訳			
		所 員		助 手		書 記	雇 員	備 人	臨時職員	
昭19. 6	1 4	6		6		2				
20. 1	2 4	1 1		1 1		2				
22.10	3 2	1 3		1 7		2				
23.12	7 6	1 3		1 7		4	3 2	5	5	
		技 官	教 官	技術雇員	研究雇員	事務官	雇 員	事務雇員	臨時職員	その他
24. 6	6 8	2 7				4	3 1		2	4
26. 4	7 5	2 9		2 1		7		9		9
27. 8	7 4		2 9	2 1		7		8		9
29. 6	7 0		2 9		2 0	7		7		7
30. 7	6 9		2 9		2 0	7		6		7
34. 9	6 9		4 4		5	1 3				7
36. 6	6 9		4 4		5	1 3		1		6
37. 4	7 2		4 4		7	1 3		2		6
38. 4	7 4		4 4	2	7	1 5				6
		所 長	部長等	室長等	研究員	研究補助員	事務職員	技術職員	その他	
39. 4	7 4	1	5	9	2 3	1 3	1 5	2	6	
40. 4	7 4	1	5	1 0	2 2	1 3	1 5	2	6	
41. 4	7 1	1	5	1 2	2 0	1 1	1 4	2	6	
42. 4	7 1	1	6	1 1	2 0	1 1	1 4	2	6	
43. 4	7 1	1	7	1 0	2 0	1 1	1 4	2	6	
44. 4	7 1	1	7	1 2	1 8	1 1	1 4	2	6	
45. 4	7 1	1	8	1 1	1 8	1 1	1 4	2	6	
46. 4	7 1	1	1 0	1 0	1 8	1 1	1 4	2	5	
47. 4	7 1	1	1 0	1 0	1 9	1 1	1 3	2	5	
48. 4	7 3	1	1 1	1 1	2 0	1 0	1 3	2	5	
49. 4	7 4	1	1 1	1 2	2 1	9	1 3	2	5	
50.10	7 5	1	1 2	1 2	2 2	9	1 3	2	4	
51. 4	7 4	1	1 2	1 2	2 2	8	1 3	2	4	
52. 4	7 4	1	1 2	1 3	2 2	7	1 3	2	4	
53.10	7 4	1	1 2	1 3	2 3	6	1 3	2	4	
54.10	7 4	1	1 2	1 3	2 3	7	1 3	2	3	
55. 4	7 4	1	1 2	1 3	2 3	7	1 3	2	3	
56. 4	7 3	1	1 2	1 3	2 3	6	1 3	2	3	
57. 4	7 2	1	1 2	1 3	2 3	6	1 3	2	2	
58. 4	7 1	1	1 2	1 3	2 3	5	1 3	2	2	
59. 4	6 9	1	1 2	1 3	2 3	3	1 3	2	2	
		所 長	教 授	助教授	助 手	事務官	技 官			
60. 4	6 8	1	1 2	1 5	1 4	1 4	1 2			
61. 4	6 9	1	1 2	1 6	1 3	1 5	1 2			
62. 4	7 1	1	1 3	1 6	1 3	1 5	1 3			
63. 4	7 4	1	1 3	1 6	1 5	1 6	1 3			
平元. 4	7 6	1	1 4	1 6	1 5	1 7	1 3			
2. 4	7 7	1	1 4	1 6	1 6	1 7	1 3			
3. 4	7 9	1	1 5	1 6	1 7	1 7	1 3			
4. 4	8 1	1	1 6	1 7	1 7	1 7	1 3			
5. 4	8 3	1	1 6	1 8	1 7	1 8	1 3			
6. 6	8 4	1	1 7	1 8	1 7	1 8	1 3			

4 年度別予算（昭和60年度からは決算額）



5 敷地・建物

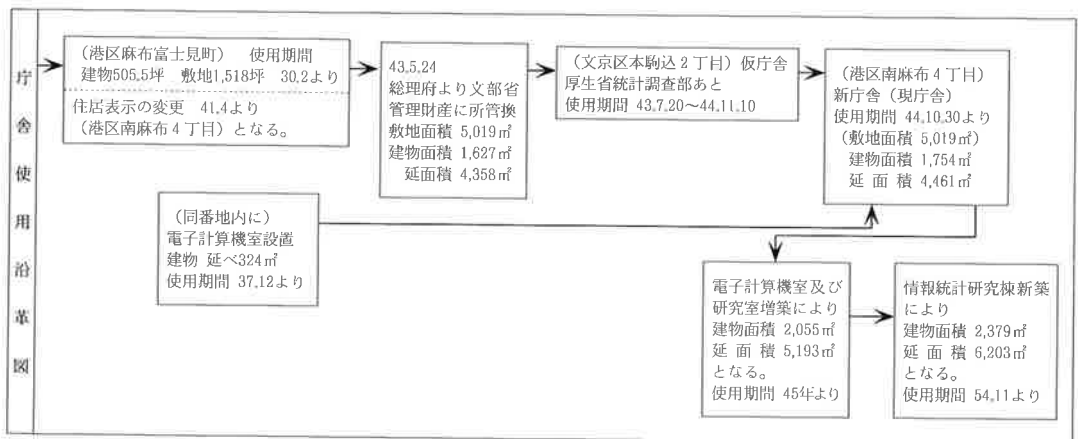
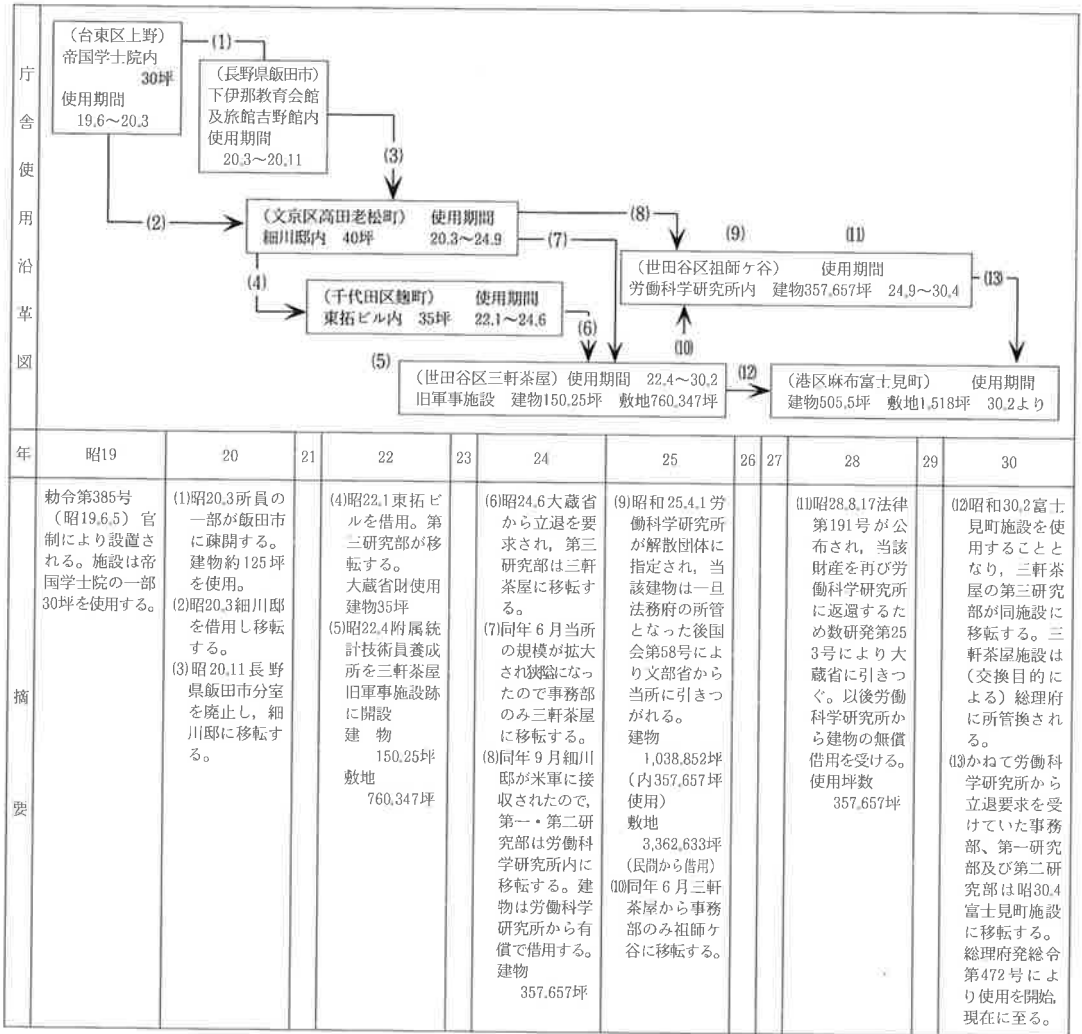
(1) 敷地・建物面積

平成6年4月1日現在

敷 地 面 積	5, 0 1 9 m ²
---------	----------------------------

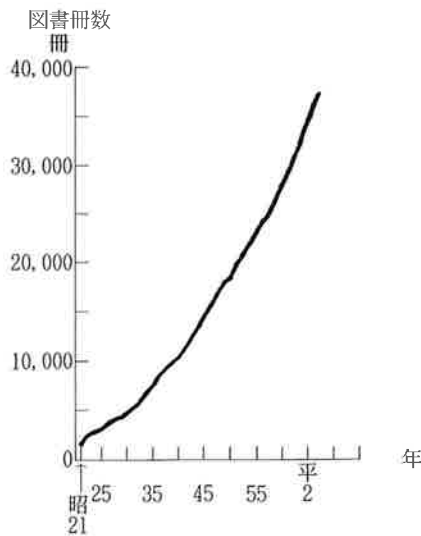
建 物	建築面積 m ²	延べ面積 m ²
庁 舎 (鉄筋3階建)	1, 7 0 2	4, 6 8 1
情報統計研究棟 (鉄筋3階建)	3 4 2	1, 0 2 8
電子計算機棟 (鉄筋2階建)	1 6 5	3 2 4
体 育 場 等	2 1 3	2 1 3
合 計	2, 4 2 2	6, 2 4 6

(2) 庁舎使用沿革

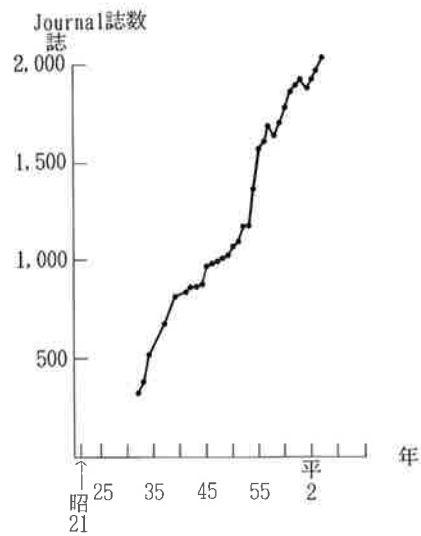


6 所蔵図書概要

本研究所の蔵書は、昭和21年当時1,448冊であったが、年を追って増加し、平成5年5月1日現在では洋書24,591冊、和書12,626冊、計37,217冊を数える。また購入・寄贈による逐次刊行物は2,038誌（国外：50ヶ国1,305誌、国内：738誌）に達する。

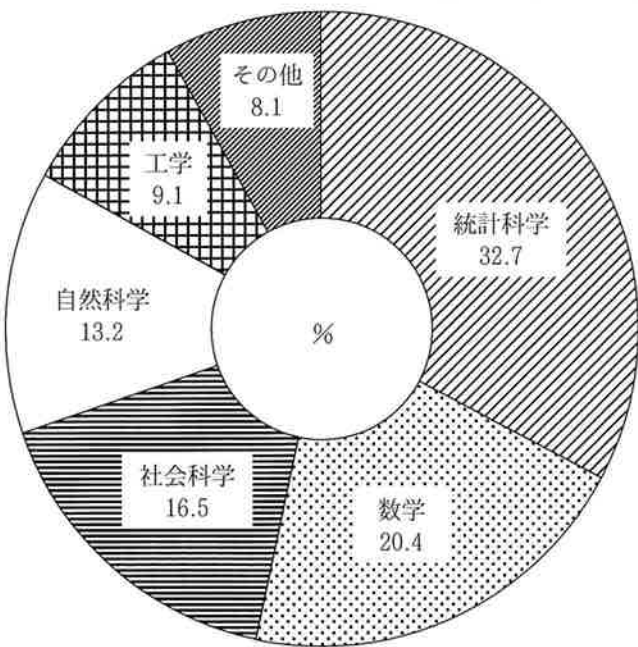


図書総冊数



逐次刊行物総誌数

所蔵図書の分類別構成
(平成5年5月1日現在)



7 研究課題等

(1) 特定研究経費等による研究課題

研 究 課 題	研 究 代 表 者	研 究 期 間	研 究 経 費
動く対象集団に対する標本調査と統計解析 一人を対象とした動く集団に対する統計的問題－	鈴木 達 三	昭和46年度	特別事業費
－森林成長モデル構成のための標本調査と施業OR－	石 田 正 次	昭和46年度	〃
－交通現象の標本調査と解析－	植 松 俊 夫	昭和47年度	〃
－人の集中離散に対する有効な調査法の研究－	西 平 重 喜	昭和47年度	〃
ソフトサイエンスにおける統計的情報処理の研究 －災害対策のためのシステム分析－	牧 野 都 治	昭和47年度	〃
－画像情報処理に関する統計的研究－	駒 澤 勉	昭和50年度	〃
－幾何学的構造の統計的研究－	樋 口 伊 佐 夫	昭和50年度	〃
国民性の統計的研究	林 知 己 夫	昭和48年度	〃
災害対策のためのシステム分析	青 山 博 次 郎	昭和49年度	〃
時系列の解析および制御のための予測プログラム・パッケージの開発研究	赤 池 弘 次	昭和49年度	〃
決定論及びその周辺領域の情報検索組織化に関する研究	藤 本 熙	昭和49年度	〃
多面情報に基づく統計的推論	藤 本 熙	昭和51年度	〃
安全性の評価と安全基準に関する統計学的研究	柳 本 武 美	昭和51年度	〃
ライフサイエンスにおける統計的モデル解析 －生態学における統計的方法の研究－	石 田 正 次	昭和54・55年度	特別研究費
－動物固体数推定となわばり形式の統計的研究－	林 知 己 夫	昭和56年度	〃
大量時系列データの統計的情報処理に関する研究	赤 池 弘 次	昭和54～59年度	〃
環境科学における統計的現象解析に関する研究 －大型哺乳動物固体数推定の統計的研究－	林 知 己 夫	昭和57～59年度 昭和60・61年度	特別研究費 臨時事業費
－動物固体群動態の統計的研究－			
－疾病の早期発見と予防に関する統計的現象解析－	林 知 己 夫	昭和58年度	特別研究費
－危険解析ための統計モデル－			

研 究 課 題	研 究 代 表 者	研 究 期 間	研 究 経 費
多次元動態現象の標本調査法	林 知 己 夫	昭和59年度	特別研究費
多次元動態現象の標本調査法 －資源量推定のための標本調査法の研究－ －水・土質・大気汚染度等動態現象に関する標本調査技法の研究－	林 知 己 夫	昭和60～62年度	臨時事業費
国民性の統計的研究	鈴 木 達 三	昭和58年度	特別研究費
情報資源と統計ソフトウェアの組織化に関する研究	駒 澤 勉	昭和62・63年度 平成元～3年度	臨時事業費 特定研究経費
日本人の国民性に関する調査研究	水 野 欽 司	昭和63年度 平成元年度	臨時事業費 特定研究経費
「日本人の国民性」に関する統計的研究	坂 元 慶 行	平成4・5年度	〃
データ解析支援システムの開発研究	石 黒 真 木 夫	平成元～5年度	〃
統計情報のデータベース化に関する基礎的研究	鈴 木 義 一 郎	平成2～4年度	〃
教育統計の分析手法の開発に関する総合的調査研究	馬 場 康 維	平成2年度	〃
教育地図システムの開発とその利用法の研究	馬 場 康 維	平成3年度	〃
継続的な教育・社会調査データの分析システムの開発に関する研究	中 村 隆	平成4年度	〃
教育・社会調査データの分析・統合システムの開発に関する研究	中 村 隆	平成5年度	〃

(2) 科学研究費補助金による研究課題

昭和60年度

	研究種目	研究代表者	研 究 課 題 名
1	自然災害特別研究(1)	林 知己夫	学童防災教育のあり方とその教育効果判定法に関する研究
2	一般研究 (B)	赤池 弘次	統計的モデル構成と情報量規準の組織的研究
3		鈴木 達三	社会調査データバンクの形成過程における二次的再分析システムに関する研究
4	一般研究 (C)	長谷川政美	DNA配列データ解析のための統計的方法の開発
5		種村 正美	点配置の空間配置に対する尤度法の開発とその応用
6		仁木 直人	数式処理システムの多変量解析理論への活用
7		石黒真木夫	局所降雨確率推定システムの開発
8	奨励研究 (A)	北川源四郎	非定常、非線形時系列のモデル構成
9	奨励研究 (A) (特別研究員)	大野 優子	社会(福祉・医療)政策立案のためのマクロモデルの理論的ならびに実証的研究

昭和61年度

	研究種目	研究代表者	研 究 課 題 名
1	特別推進研究(1)	林 知己夫	意識の国際比較方法論の研究－新しい統計的社会調査法の確立とその展開－
2	自然災害特別研究(1)	水野 欽司	学童防災教育のあり方とその教育効果判定法に関する研究
3	総合研究 (B)	鈴木義一郎	統計的データ解析とコンピュータ利用の接点における諸問題
4	一般研究 (B)	松縄 規	統計に於ける情報の意味と役割に関する研究
5	一般研究 (C)	種村 正美	点配置の空間配置に対する尤度法の開発とその応用
6		小西 貞則	多変量非正規モデルにおける統計手法の研究
7		柳本 武美	多くの母数を同時に扱う尤度法の規準と性能
8		伊藤 栄明	幾何学的対称性の統計的分布
9		馬場 康維	Directional Data の統計のグラフ多変量解析への応用の研究
10	奨励研究 (A) (特別研究員)	大野 優子	社会(福祉・医療)政策立案のためのマクロモデルの理論的ならびに実証的研究

昭和62年度

	研究種目	研究代表者	研 究 課 題 名
1	特別推進研究(1)	林 知己夫	意識の国際比較方法論の研究－新しい統計的社会調査法の確立とその展開－
2	重点領域研究	水野 欽司	社会組織の防災力に関する研究
3		長谷川政美	遺伝情報の解析
4	一般研究 (B)	松縄 規	統計に於ける情報の意味と役割に関する研究
5	一般研究 (C)	小西 貞則	多変量非正規モデルにおける統計手法の研究
6		伊藤 栄明	幾何学的対称性の統計的分布
7		種村 正美	点配置の空間的相関に対するステレオロジーの統計的研究
8		中村 隆	継続調査データのコホート分析に関する研究
9		清水 良一	漸近展開の誤差評価と確率分布の近似
10		馬場 康維	グラフ統計解析法の数理的基礎の研究
11	奨励研究 (A)	安楽 和夫	順序制約のある離散モデルにおける検定法とその評価
12		田村 義保	マイクロコンピュータ用統計パッケージに関する研究
13		土谷 隆	大規模数理モデル解析のためのスーパーコンピュータ向き数値計算手法の研究
14	海外学術研究	林 知己夫	意識の国際比較方法論の研究－連鎖的比較方法の確立とその展開－

昭和63年度

	研究種目	研究代表者	研 究 課 題 名
1	特別推進研究(1)	林 知己夫	意識の国際比較方法論の研究－新しい統計的社会調査法の確立とその展開－
2	重点領域研究(1)	水野 欽司	社会組織の防災力に関する研究
3		長谷川政美	遺伝情報の解析
4	一般研究 (C)	種村 正美	点配置の空間的相関に対するステレオロジーの統計的研究
5		清水 良一	漸近展開の誤差評価と確率分布の近似
6		平野 勝臣	多変量解析におけるノンパラメトリック統計手法の研究
7		柳本 武美	種々のモデルにおける条件付最尤法の性能と数理
8		石黒真木夫	ベイズ・モデルによる電波干渉計データからの画像形成
9		田村 義保	大量時系列データ情報検索システムの開発に関する研究
10	奨励研究 (A)	土谷 隆	スーパーコンピュータを利用した数理モデル解析手法の研究
11		宮里 義彦	非線形ロバスト適応制御の理論と応用に関する研究
12	試験研究 (B) (2)	北川源四郎	時系列解析統合ソフトウェアの研究
13	海外学術研究	林 知己夫	意識の国際比較方法論の研究－連鎖的比較方法の確立とその展開－

平成元年度

	研究種目	研究代表者	研 究 課 題 名
1	特別推進研究(1)	林 知己夫	意識の国際比較方法論の研究－新しい統計的社会調査法の確立とその展開－
2	重点領域研究(1)	水野 欽司	社会組織の防災力に関する研究
3		長谷川政美	遺伝情報の解析
4	一般研究 (C)	平野 勝臣	多変量解析におけるノンパラメトリック統計手法の研究
5		石黒真木夫	ベイズ・モデルによる電波干渉計データからの画像形成
6		田辺 國士	線形計画問題の微分幾何学の研究
7	奨励研究 (A)	田村 義保	時系列解析エキスパートシステムの開発に関する研究
8		土谷 隆	大規模数値計画問題に対する内点法の研究
9		宮里 義彦	学習機能を含む非線形ロバスト適応制御に関する研究
10	試験研究 (B) (2)	北川源四郎	時系列解析統合ソフトウェアの研究
11	国際学術研究	林 知己夫	意識の国際比較方法論の研究－連鎖的比較方法の確立とその展開－

平成2年度

	研究種目	研究代表者	研 究 課 題 名
1	特別推進研究(1)	林 知己夫	意識の国際比較方法論の研究－新しい統計的社会調査法の確立とその展開－
2	総合研究 (A)	馬場 康維	教育関連統計の統合化に関する研究－各省庁の教育関連統計を統合する教育指標体系とその多面的活用方法の開発－
3	一般研究 (C)	平野 勝臣	多変量解析におけるノンパラメトリック統計手法の研究
4		石黒真木夫	ベイズ・モデルによる電波干渉計データからの画像形成
5		柳本 武美	条件付尤度に基づく推論の拡張
6		伊藤 栄明	G o l a y 符号の確率模型による構成法の理論と応用
7		田辺 國士	数値的最適化法のアルゴリズムの研究
8	奨励研究 (A)	吉野 諒三	社会調査のためのテスト理論の拡張と応用
9		吉田 朋広	確率過程の統計的推測およびロバスト性の研究
10		土谷 隆	大規模な線形計画問題および凸2次計画問題に対する内点法の研究
11		樋口 知之	地球環境モニターデータへの時系列予測理論の応用
12	試験研究 (B) (2)	北川源四郎	時系列解析統合ソフトウェアの研究

平成3年度

	研究種目	研究代表者	研 究 課 題 名
1	総合研究（A）	馬場 康維	教育関連統計の統合化に関する研究－各省庁の教育関連統計を統合する教育指標体系とその多面的活用方法の開発－
2	一般研究（B）	長谷川政美	古細菌の進化的位置と真核生物の起源
3	一般研究（C）	伊藤 栄明	G o l a y 符号の確率模型による構成法の理論と応用
4		柳本 武美	推定方程式の理論によるモーメント法の再構成
5		清水 良一	応用確率論のための関数方程式の研究
6		田辺 國士	最適化の微分幾何学と最適化アルゴリズムの研究
7		高木 廣文	質的要因のリスク評価に関するシステム開発のための基礎的研究
8		水野 眞治	大規模ネットワーク問題の高速解法の開発と研究
9		土谷 隆	大規模数理計画問題に対する内点法の理論および実装に関する研究
10		宮里 義彦	周期時変フィードバックを用いた適応制御に関する研究
11		佐藤 俊哉	複数の曝露レベルが測定された場合のリスク測定

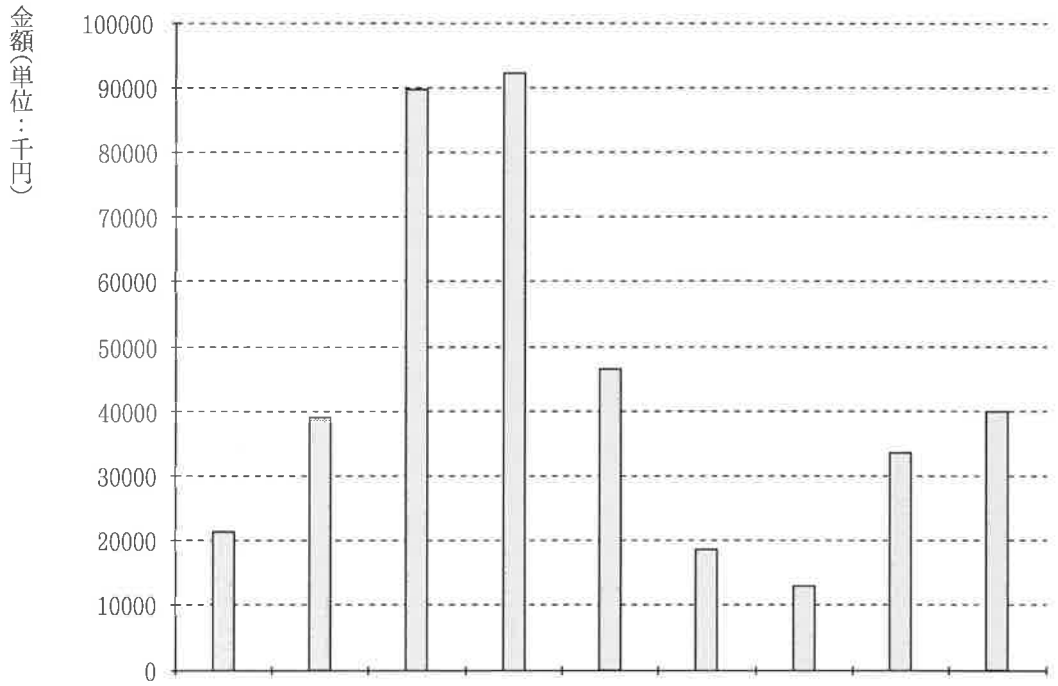
平成4年度

	研究種目	研究代表者	研 究 課 題 名
1	総合研究（A）	馬場 康維	教育関連統計の統合化に関する研究－各省庁の教育関連統計を統合する教育指標体系とその多面的活用方法の開発－
2	一般研究（B）	長谷川政美	古細菌の進化的位置と真核生物の起源
3	一般研究（C）	中村 隆	ベイズ型コホートモデルにおけるモデル選択に関する研究
4		田村 義保	経済時系列解析統合システムの開発に関する研究
5		清水 良一	多変量分布の近似に関する研究
6	奨励研究（A）	吉田 朋広	確率解析による統計的漸近理論の研究
7		志村 隆彰	正則変動関数に関連する極限定理の研究
8		伊藤 聡	関数空間上の準ニュートン法およびその応用に関する研究
9		宮里 義彦	多重サンプリングに基づく非最小位相系の適応制御に関する研究
10		佐藤 俊哉	ケース・ベース研究における相対リスクの推定
11	試験研究（A）(1)	鈴木 達三	意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究
12	国際学術研究	石黒真木夫	時系列データの季節調整のための統計的手法
13		鈴木 達三	日独両国および両国民の将来像－意識の実証的研究に基づく－

平成 5 年度

	研究種目	研究代表者	研 究 課 題 名
1	一般研究（C）	清水 良一	一般一変量及び多変量正規分布の混合分布に関する研究
2		馬場 康維	ランキングに基づく多変量解析法の研究
3		長谷川政美	ミトコンドリアをもたない真核生物の分子系統学的位置付けと真核生物の初期進化
4		小西 貞則	多変量解析における統計的数値計算法の研究
5		種村 正美	空間的ランダム密構造のシミュレーションとステレオロジー
6		中村 隆	学歴効果を含むコウホートモデルの開発に関する研究
7		上田 澄江	言語の文法構造の 2 パラメータモデル
8		吉野 諒三	認知心理学的アプローチによる人文・社会科学の為の新しい測定理論の開発
9	奨励研究（A）	吉田 朋広	確率過程の統計的推測の漸近理論の研究
10		土谷 隆	大規模非線形最適化問題に対する内点法の研究
11		宮里 義彦	次数と相対次数に依存しない非線形ロバスト適応制御に関する研究
12		佐藤 俊哉	エコロジカル・バイアスの発生要因と大きさの評価
13		樋口 知之	ノイズの強い影響下での時変周波数および時変振幅の性質をもった波信号のベイズ推定
14	試験研究（A）(1)	橋本 哲男	リボソーム蛋白質構造データの分子進化学的解析
15		吉野 諒三	意識の国際比較における連鎖的調査分析方法の実用化に関する研究
16		長谷川政美	遺伝子構造データ解析のためのソフトウェアの開発
17	国際学術研究	石黒真木夫	時系列データの季節調整のための統計的手法

(3) 年度別科学研究費補助金



	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度
科 研 費	21,410	39,080	89,700	92,210	46,400	18,700	12,900	33,600	39,900

(4) 元・現教官の主要論文リスト

この論文リストは、大学共同利用機関に改組転換された昭和60（1985）年4月以降、本研究所に在籍した教官及び現教官の主要な論文・著書等（各人10編以内）を自己申告に基づき掲載したものである。

- Akaike, H.: Fitting autoregressive models for prediction, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol.21 (1969) 243-247.
- : Statistical approach to computer control of cement rotary kilns, (with T. Otomo and T. Nakagawa), *Automatica*, Vol. 8 (1972) 35-48.
- : Information theory and an extension of the maximum likelihood principle, *2nd International Symposium in Information Theory*, B. N. Petrov and F. Csaki, eds., Akademiai Kiado, Budapest (1973) 267-282. Also included in *Breakthroughs in Statistics*, Vol. I, S. Kotz and N. L. Johnson, eds., Springer-Verlag, New York (1992) 610-624.
- : A new look at the statistical model identification, *IEEE Trans. Automat. Contrl.*, AC-19 (1974) 716-723.
- : Markovian representation of stochastic processes and its application to the analysis of autoregressive moving average processes, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 26(1974) 363-387.
- : A new look at the Bayes procedure, *Biometrika*, Vol. 65 (1978) 53-59.
- : Seasonal adjustment by a Bayesian modeling, *Journal of Time Series Analysis*, Vol. 1 (1980) 1-13.
- : Likelihood and the Bayes procedure, *Bayesian Statistics*, J. M. Bernardo, M. H. De Groot, D. V. Lindley and A. F. M. Smith, eds., University Press, Valencia, Spain (1980) 143-166.
- : Prediction and entropy, *A celebration of Statistics*, A.C. Atkinson and S. E. Fienberg, eds., Springer-Verlag, New York (1985) 1-24.
- : *Statistical Analysis and Control of Dynamic Systems*, (with T. Nakagawa), Kluwer Academic Publishers, Dordrecht, (1988).
- Aki, S.: Asymptotic distribution of a Cramér-von Mises type statistic for testing symmetry when the center is estimated, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 33 (1981) 1-14.
- : Asymptotic behavior of functionals of empirical distribution functions for the two-sample problem, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 33 (1981) 391-403.
- : On discrete distributions of order k , (with H. Kuboki and K. Hirano), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 36 (1984) 431-440.
- : Discrete distributions of order k on a binary sequence, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 37 (1985) 205-224.
- : Parametric estimation of a wider class of location-scale model of a symmetric distribution which also has asymmetric distributions, *Statistical Theory and Data Analysis, Proceedings of the Pacific Area Statistical Conference*, K. Matusita ed., North-Holland, Amsterdam, (1986) 43-51.
- : Some test statistics based on the martingale term of the empirical distribution function, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 38 (1986) 1-21.
- : On nonparametric tests for symmetry, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 39 (1987) 457-472.
- : Some characteristics of the binomial distribution of order k and related distributions, (with K. Hirano), *Statistical Theory and Data Analysis II, Proceedings of the 2nd Pacific*

- Area Statistical Conference*, K. Matusita ed., North-Holland, Amsterdam (1988) 211-222.
- : Estimation of parameters in the discrete distributions of order k , (with K. Hirano), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 41 (1989) 47-61.
- : Asymptotic properties of some goodness-of-fit tests based on the L_1 -norm, (with N. Kashiwagi), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 41 (1989) 753-764.
- Anraku, K.: Tests on 1 to K matched data of bivariate continuous variable, *Memoirs of the Faculty of Science, Kyushu University*, Ser. A, Mathematics, Vol. 39, No. 1 (1985) 35-47.
- : Tests for the marginal probabilities in the two-way contingency table under restricted alternatives, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 40, No.1 (1988).
- : Approximately somewhere most powerful tests for marginal homogeneity of a square table under restricted alternatives, *Behaviormetrika*, No. 25 (1989).
- : Estimation in the negative binomial distribution based on the conditional likelihood, (with T. Yanagimoto), *Communications in Statistics*, B, (1990).
- Arahata, E.: Program package for drawing graphs with an X-Y plotter, *Computer Science Monographs*, No. 18, The Institute of Statistical Mathematics, (1982).
- : A TIMSAC-84 Part 2, (with H. Akaike et al.), *Computer Science Monographs*, No. 23, The Institute of Statistical Mathematics, (1985).
- : The conversion of “Computer programs for computaional assistance in the study of linear control theory” into computer programs for VOS3 system, 統計計算技術報告 RSC-022 (1992).
- 荒畑恵美子: ベイズ型スプライン回帰, (石黒真木夫と共著), 統計数理研究所彙報, Vol. 30, No. 1 (1982) 29-36.
- : 時系列解析に現れる高次代数方程式へのMcAuley法の適用について, 統計数理, Vol. 34, No. 2 (1986) 233-239.
- : 玖珠川連接水系の流量解析, (田辺國士ほかと共著), 統計数理, Vol. 39, No. 1(1990)19-30.
- Baba, Y.: Conformationally “concerted” changes in nucleotide structures. A new description using circular correlation and regression analyses, (with Kitamura, K., Wakahara, H., Mizuno, H. and Tomita, K.), *Journal of the American Chemical Society*, Vol. 103 (1981) 3899-3904.
- : Locally oscillatory motion of RNA helix derived from linear relationship of backbone torsion angles, (with Kitamura, K., Mizuno, H., Amisaki, T. and Tomita, K.), *Biopolymers*, Vol. 23 (1984) 1169-1184.
- : Graphical analysis of rank data, *Behaviormetrika*, No. 19 (1986) 1-15.
- : Graphical prediction method based on categorical data, *Computational Statistics & Data Analysis*, Vol. 5, No.2 (1987) 85-101.
- : Effect of the reduction in grain size on electron transport properties in Cu-based FCC alloys, (with H. Sata et al.), *Journal of Non-Crystalline Solids*, No.117/118(1990)379-382.
- : Statistical methods based on direction, *Theory and Applications in Computational Statistics*, C. Asano et al. eds., Scientist Inc., (1991) 191-205.
- : Evaluation of cancer prevention strategies by computerized simulation model: an approach to lung cancer, (with N. Yamaguchi et al.), *Cancer Causes and Control*, Vol. 2 (1991) 147-155.
- : Classification by quantification of ranking pattern, *Computaional Statistics*, Vol. I, Y. Dodge and J. Whittaker eds., Physica-Verlag (1992) 125-129.
- 馬場康維: 不整脈の計量診断－RR間隔の統計的解析－, (駒澤勉, 村上征勝, 加藤貴雄と共著), 統計

- 研彙報, Vol. 25, No. 2 (1978) 87-105.
- : 角度データの統計—wrapped normal分布モデル—, 統計研彙報, Vol. 28, No. 1 (1981) 41-54.
- Chino, S.: Fortran programmes in the education of statistics, *Computer Science Monographs*, No. 21, The Institute of Statistical Mathematics, (1985).
- : Perception toward forest among nations, *Data Analysis and Informatics 5th International Symposium*, Institut National de Recherche en Informatique et en Automatique, (1987)
- 千野貞子: 少年の日常生活における自然とのかかわり(I)—日本人の森林観に関する国際比較を背景として—, 日本林学会大会発表論文集, (1986).
- : 少年の日常生活における自然とのかかわり—森林観に関する国際比較の視点からの分析, 森林文化研究論文1, Vol. 8, No. 1 (1987).
- : 少年の日常生活における自然とのかかわり(II)—関東地区在住の子供の生活実態を通して—, 日本林学会大会発表論文集, (1987).
- : 少年の日常生活における自然とのかかわり—第1版—, 数研研究リポート, No. 66 (1988).
- : “自然体験”による子供の心の教育効果に関する一考察—少年自然の家における野外活動—, 森林文化研究論文I, Vol. 9, No.1 (1988).
- : 少年の日常生活における自然とのかかわり(III)—台湾との比較—, 日本林学会大会発表論文集, (1988).
- : “自然体験”による子供の心の教育効果に関する統計的研究, 数研研究リポート, No. 67 (1989).
- Hasegawa, M.: Dating of the human-ape splitting by a molecular clock of mitochondrial DNA. (with H. Kishino, and T. Yano), *Journal of Molecular Evolution*, Vol. 22 (1985) 160-174.
- : Man's place in Hominoidea as inferred from molecular clocks of DNA. (with H. Kishino, and T. Yano), *Journal of Molecular Evolution*, Vol. 26 (1987) 132-147.
- : Confidence limits on the maximum-likelihood estimate of the hominoid tree from mitochondrial-DNA sequences. (with Kishino, H.), *Evolution*, Vol. 43 (1989) 672-677.
- : Mitochondrial DNA evolution in primates: transition rate has been extremely low in lemur. (with H. Kishino, K. Hayasaka, and S. Horai), *Journal of Molecular Evolution*, Vol. 31 (1990) 113-121.
- : Time of the deepest root for polymorphism in human mitochondrial DNA. (with Horai, S.), *Journal of Molecular Evolution*, Vol. 32 (1991) 37-42.
- : Early divergences in the evolution of eukaryotes: ancient divergence of *Entamoeba* that lacks mitochondria revealed by protein sequence data. (with T. Hashimoto, J. Adachi, N. Iwabe, and T. Miyata), *Journal of Molecular Evolution*, vol. 36 (1993) 380-388.
- : Toward a more accurate time scale for the human mitochondrial DNA tree. (with A. Di Rienzo, T.D. Kocher, and A.C. Wilson), *Journal of Molecular Evolution*, Vol. 37 (1993) 347-354.
- 長谷川政美: DNAからみた人類の起源と進化—分子人類学序説. 海鳴社, 東京 (1984).
- : DNAに刻まれたヒトの歴史. 岩波書店, 東京 (1991).
- : 遺伝子が語る君たちの祖先. あすなろ書房, 東京 (1992).
- Hashimoto, T.: Quantitative data analysis of chromosome abnormalities and clinical features on human hematopoietic neoplasms, *Proc. Hiroshima Univ., RINMB*, Vol. 29 (1988) 115-154.
- : Applications of log-linear model in inference on karyotypic evolution in chronic

- myelocytic leukemia, (with M. Ohtaki, N. Kamada, H. Yamamoto and M. Munaka), *Environmental Health Perspectives*, Vol 87, (1990) 135-141.
- : Yeast ribosomal proteins: XII. YS11 of *Saccharomyces cerevisiae* is a homologue to *E. coli* S4 according to the gene analysis, (with K. Mizuta, K. Suzuki and E. Otaka), *Nucleic Acid Research.*, Vol. 19 (1991) 2603-2608.
- : Survival analysis based on the multiple piecewise regression model: Illustrative data analysis of remission lengths in chronic myelocytic leukemia, (with M. Ohtaki, N. Kamada and M. Munaka), *Bulletin of the Biometric Soc. of Japan*, Vol. 12 (1991) 93-98.
- : Yeast ribosomal proteins: XIII. *Saccharomyces cerevisiae* YL8A gene, interrupted with two introns, encodes a homolog of mammalian L7, (with K. Mizuta and E. Otaka), *Nucleic Acids Research.*, Vol. 20 (1992) 1011-1016.
- : Yeast ribosomal proteins: XIV. Complete nucleotide sequence of the two genes encoding *Saccharomyces cerevisiae* YL16, (with K. Suzuki, K. Mizuta and E. Otaka), *Biochimica Biophysica. Acta*, No. 1132 (1992) 195-198.
- : Phylogenetic place of *Giardia lamblia*, a protozoan that lacks mitochondria, (with J. Adachi and M. Hasegawa), *Endocytobiosis & Cell Research.*, Vol. 9 (1992) 59-69.
- : The giant panda is closer to a bear, judged by α and β -hemoglobin sequences, (with E. Otaka, J. Adachi, K. Mizuta and M. Hasegawa), *Journal-of-Molecular-Evolution*, Vol. 36 (1993) 282-289.
- : Close phylogenetic relationship between Vestimentifera (tube worms) and Annelida revealed by the amino acid sequence of Elongation factor 1 α , (with S. Kojima, M. Hasegawa, S. Murata, S. Ohta, H. Seki and N. Okada), *Journal-of-Molecular-Evolution*, Vol. 37 (1993) 66-70.
- Hayashi, C.: A new statistitcal approach to estimating the size of animal population: The case of a hare population, *Mathematical Scientists*, Vol. 3 (1978) 117-130.
- : some statistical methods of estimating the size of an animal populations, *Recent Development in Statistical Inference and Data Analysis*, ed., K. Matusita, North-Holland, (1980) 85-91.
- 林知己夫: 日本人の読み書き能力, 読み書き能力調査委員会, (共著), 東大出版会, (1950).
- : サンプリング調査はどう行なうか, 東大出版会, (1951).
- : 心理学における数量化の研究, 高木貞二編, (共著), (1955).
- : 日本人の国民性, 国民性調査委員会, 至誠堂, (第1巻(1961), (第2巻(1970), 第3巻(1975); 出光書店, 第4巻(1982), 第5巻(1992).
- : 数量化の方法, 東洋経済新報社, (1974)
- : 社会調査と数量化, (鈴木達三と共著), 岩波書店 (1986), 英語版: C. Hayashi, T. Suzuki, M. Sasaki, Data analysis for comparative social research: international perspectives, North-Holland, (1992)
- : 行動計量学序説, 朝倉書店, (1993).
- : 数量化—理論と方法—, 朝倉書店, (1993).
- Hayashi, F.: Computer program series I of multidimensional quantification method, *Computer Science Monograph*, No. 4, (1974).
- : Computer programs of multidimensional quantification method, *Technical Notes*, (1985).
- 林文: 数量化理論とその応用例I—*eijk*型数量化とそのコンピュータプログラム—, 統計数理研究所彙報, Vol. 20, No.1 (1972).

- : 動く調査対象集団に対する標本調査について—IX—方探測定誤差に基づく位置決定誤差: 小型無線機を装着した野兔の行動決定のための基礎—, 統計数理研究所彙報, Vol. 22, No. 2, (1975).
- : PARAFACを解く二つのアルゴリズムの比較 (山岡和枝, 寺尾浩明と共著), 行動計量学, Vol.9, No.1, (1982).
- : 老人の精神的健康に関する統計的研究, (高倉節子と共著), 「喫煙と健康」健康財団研究助成報告書, (1987).
- : クマの生息数推定について, (林知己夫, 本間隆平と共著), 野兎研究会誌, Vol. 15, (1988).
- 樋口伊佐夫: 粒子統計における二, 三の研究, 統計数理研究所彙報, Vol. 12 (1965).
- : ランダムパッキングにおける統計的諸問題, 応用物理, Vol.41, No. 11 (1972)
- : 計量診断・F, 多次元分類の理論・要因分析 1, 最新医学, Vol. 25, No. 3 (1978).
- : 周波数帯ダイバーシチを用いた衛星通信回線における降雨減衰改善効果の推定, 電子通信学会論文誌, Vol. 61-B, No. 10 (1978).
- : ダイバーシチによるフェージング改善効果についての理論的考察, 電子通信学会論文誌 Vol. 63-B, No. 6 (1980).
- : ウミネコの生態調査I (長谷川政美らと共著), 統計数理研究所彙報, Vol. 20, No. 1 (1981).
- : ある生物化学の現象解析のモデルと分布に関する覚書, 統計数理研究所彙報, Vol. 30, No. 1 (1982).
- : 平面上のパターンの見かけの規則性について, 統計数理, Vol. 33, No. 1 (1985).
- : 粒子模型による振盪とパッキングの実験について—幾何学的構造・空間パターンと統計, 統計数理, Vol. 34, No. 1 (1986).
- Higuchi, T.: Harmonic structure of compressional Pc5 pulsations at synchronous orbit, (with S. Kokubun and S. Ohtani), *Geophys. Res. Lett.*, Vol. 13, No. 11 (1986) 1101-1104.
- : Approach to an irregular time series on the basis of the fractal theory, *Physica D*, Vol. 31 (1988) 277-283.
- : Bayesian statistical inference to remove periodic noises in the optical observation aboard a spacecraft, (with K. Kita and T. Ogawa), *Applied Optics*, Vol. 27, No. 21 (1988) 4514-4519.
- : Waveform and polarization of compressional Pc5 waves at geosynchronous orbit, (with S. Kokubun), *J. Geophys. Res.*, Vol. 93, No. A12, (1988) 14433-14443.
- : Bayesian statistical inference of airglow profiles from rocket observational data: Comparison with conventional methods, (with K. Kita and T. Ogawa), *Planetary Space Sci.*, Vol. 37, No. 11 (1989) 1327-1331.
- : Relationship between the fractal dimension and the power law index for a time series: A numerical investigation, *Physica D*, Vol. 46 (1990) 254-264.
- : Frequency domain characteristics of linear operator to decompose a time series into the multi-components, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 43, No. 3 (1991) 469-492.
- : Method to Subtract an Effect of the Geocorona EUV Radiation from the Low Energy Particle (LEP) Data by the Akebono (EXOS-D) Satellite, *J. Geomag. Geoelectr.*, Vol. 43 (1991) 957-978.
- 樋口知之: 時系列のフラクタル解析, 統計数理, Vol. 37, No. 2 (1989) 209-233.
- : 自己回帰 (AR) モデルの線形代数の観点からの解釈, 統計数理, Vol. 38, No. 1 (1990) 31-45.
- Hirano, K.: On the test estimators for estimating variance of a normal distribution, *Recent*

- Developments in Statistical Inference and Data Analysis*, K. Matusita ed., North-Holland, (1980) 105-115.
- : A preliminary test procedure for the scale parameter of exponential distribution when the selection parameter is unknown, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 36 A (1984) 1-9.
- : Some properties of the distributions of order k , *Fibonacci Numbers and Their Applications*, A.N. Philippou, G.E. Bergum and A. F. Horadam eds., D. Reidel, Dordrecht (1986) 43-53.
- : Properties of the extended distributions of order k , (with S. Aki), *Statist. Probab. Lett.*, Vol. 6 (1987) 67-69.
- : Some characteristics of the binomial distribution of order k and related distributions, (with S. Aki), *Statistical Theory and Data Analysis II: Proceedings of the Second Pacific Area Statistical Conference*, K. Matusita ed., North-Holland (1988) 211-222.
- : Minimum risk scale equivariant estimator: Estimating the mean of an inverse Gaussian distribution with known coefficient of variation, (with K. Iwase), *Commun. in Statist.*, Vol. 18 (1989) 189-197.
- : Conditional information for an inverse Gaussian distribution with known coefficient of variation, (with K. Iwase), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 41 (1989) 279-287.
- : On Ling's binomial and negative binomial distributions of order k , (with S. Aki, N. Kashiwagi and H. Kuboki), *Statist. Probab. Lett.*, Vol. 11 (1991), 503-509.
- : On number of occurrences of success runs of specified length in a two-state Markov chain, (with S. Aki), *Statistica Sinica*, Vol. 3 (1993) 313-320.
- : Distributions of numbers of failures and successes until the first consecutive k successes, (with S. Aki), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 46 (1994) 193-202.
- Iba, Y.: Bayesian statistics and statistical mechanics, *Proceedings of the second Yukawa International Symposium*, Springer-Verlag, Berlin, Heidelberg, New-York (1988).
- 伊庭幸人: 伝染病の確率セルオートマトンモデルと時空間パターンの解析, 統計数理, Vol. 36, No. 1 (1988).
- : 初心者のための大型計算機利用の手引(1), 統計計算技術報告RSC-016 (1990).
- : 大型計算機システム入門1991年版, 統計計算技術報告RSC-020 (1991).
- : メトロポリスのモンテカルロ法の巨視的パラメータ推定への応用—2次元イジング模型の場合, 統計数理, Vol. 39, No. 1 (1991) 1-22.
- : メトロポリスのモンテカルロ法の擬ベイズ法への応用—変化点問題を例として—, 統計数理, Vol. 39, No. 2 (1991) 225-244.
- Ishida, M.: Personal use of min-computer, *Computer Science Monographs*, No. 1 (1973) 1-94.
- 石田正次: 統計の基礎に関するFisherとNeymanの立場(植松俊夫らと共著), 統計数理研究所彙報, Vol. 7, No. 1 (1959) 23-42.
- : 統計推論に関するフィッシャーとネイマンの論争について, 科学基礎論研究, Vol. 5, No. 1 (1960) 17-30.
- : 動く調査対象集団に対する統計調査についてI—野兎数推定をめぐる—(林知己夫らと共著), 統計数理研究所彙報, Vol. 14 (1966).
- : コンピューターと情報科学, 科学基礎論研究Vol.10, No. 2, (1971) 25-28.
- : ダイオードノイズを利用した乱数発生装置, (佐藤俊男らと共著), 日立評論, Vol. 54, No. 10 (1972) 46-50.
- : 森林の成長モデルと天然林の年齢, 数理科学, No. 151 (1976) 60-66.

- : データ解析の基礎, 森北出版, (1977).
- : 森林をみる心, (共著), 共立出版, (1984).
- : 数値計算とデータ解析, NHK出版, (1985).
- Ishiguro, M.: BAYSEA, A Bayesian seasonal adjustment program, (with H. Akaike), *Computer Science Monographs*, No. 13, The Institute of Statistical Mathematics (1980).
- : A Bayesian approach to binary response curve estimation, (with Sakamoto, Y.), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 35, No. 1 (1983) 115-137.
- : A Bayesian approach to the analysis of earth tides, (with H. Akaike, H. Ooe and S. Nakai), *Proc. 9-th Int. Symp. on Earth Tides*, J. T. Kuo ed., E. Schweizerbart, New York (1983) 283-292.
- : A Bayesian approach to the probability density estimation, (with Y. Sakamoto), *Ann. Inst. Statist. Math.*, B, Vol. 36 (1984) 523-538.
- : Akaike Information Criterion Statistics, (with Y. Sakamoto and G. Kitagawa), D. Reidel, Dordrecht/Tokyo (1986).
- : DALL: Davidon's algorithm for log likelihood maximization, (with H. Akaike), *Computer Science Monographs*, No.25, The Inst. Statist. Math. (1989).
- : Application of an estimator-free information criterion (WIC) to aperture synthesis imaging, (with K. I. Morita and M. Ishiguro), *Radio Interferometry: Theory Techniques and Applications*, IAU coll. 131, ASP Conference Series, T. J. Cornwell and R. A. Perley eds., Vol. 19 (1991) 243-247.
- : System analysis and seasonal adjustment through model fitting, *Proc. First US/Japan Conference on the Frontiers of Statistical Modeling*, Knoxville (1992).
- : Bayesian analysis of lymphatic spreading patterns in cancer of the thoracic esophagus, (with A. Yafune and T. Matsubara), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 45, No. 3 (1993) 401-418.
- 石黒真木夫, 情報量統計学, (坂元慶行, 北川源四郎と共著), 共立出版 (1983).
- Ito, S.: Necessary conditions for constrained optimal control problems via mathematical programming, (with K. Shimizu), *Numerical Functional Analysis and Optimization*, Vol. 11, Nos. 3/4 (1990) 267-281.
- : A solution of optimal control problems with terminal state equality constraints by quasi-Newton method, (with K. Shimizu), *Proceedings of the 29th SICE Annual Conference* (1990) 717-720.
- : Optimization in Banach spaces with applications to constrained optimal control problems. *PhD dissertation, Keio University* (1991).
- : Constrained optimization in Banach space and a generalized dual quasi-Newton algorithm for state-constrained optimal control problems, (with K. Shimizu), *Proceedings of the 10th American Control Conference*, (1991) 364-369.
- : Quasi-Newton algorithms for constrained optimal control problems. Optimization: Modelling and Algorithms (3), *Cooperative Research Report*, No. 45, The Institute of Statistical Mathematics, (1992).
- : Satisfactory optimal control: formulation and algorithm, (with K. Shimizu), *Proceedings of the 2nd European Control Conference*, Vol. 3, (1993) 1404-1409.
- : Constrained optimization in Hilbert spaces and a generalized dual quasi-Newton algorithm for state-constrained optimal control problems, (with K. Shimizu), *IEEE Transactions on Automatic Control*, Vol. 39, No. 3 (1994) to appear.

- 伊藤聡: Hilbert空間における双対準Newton法とその状態制約最適制御問題への応用, (志水清孝と共著), 計測自動制御学会論文集, Vol. 26, No. 9 (1990) 1015-1022.
- : 無限制約最適化問題に対する双対Newtonアルゴリズム, (志水清孝と共著), 計測自動制御学会論文集, Vol. 27, No. 4 (1991) 452-457.
- Itoh, Y.: On a ruin problem with interaction, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 25, (1973) 635-641.
- : An H-theorem for a system of competing species, *Proceedings of the Japan Academy*, Vol. 51 (1975) 374-379.
- : Random collision models in oriented graphs, *Journal of Applied Probability*, Vol. 16 (1979) 36-44.
- : On the minimum of gaps generated by one-dimensional random packing, *Journal of Applied Probability*, Vol. 17 (1980) 134-144.
- : Non-associative algebra and Lotka-Volterra equation with ternary interaction, *Nonlinear Analysis*, Vol. 5 (1981) 53-56.
- : Random collision model for random genetic drift and stochastic difference equation, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 36, B, (1984) 353-362.
- : Integrals of a Lotka-Volterra system of odd number of variables, *Progress of Theoretical Physics*, Vol. 78, No.3 (1987) 507-510.
- : Random-generation model for statistical distribution of point groups, (with T. Matsumoto), *Acta Crystallographica*, Vol. A47 (1991) 204-206.
- : A unified model for Kakutani's interval splitting and Renyi's random packing, (with F. Komaki), *Advances in Applied Probability*, Vol.24 (1992) 502-505.
- : Stochastic model of an integrable nonlinear system, *Journal of the Physical Society of Japan*, Vol. 62 (1993) 1826-1828.
- 金藤浩司: パソコン端末化プログラムAKI-図形編集機能付き日本語対応システム, (佐々木紘ほかと共著), 計算機統計学, Vol. 1, No. 1 (1988) 5-10.
- Kanefuji, K.: Growth of height of height of Japanese girls, (with T. Shohoji), *Acta Medica Auxologica*, Vol. 21, (1989) 115-127.
- : On a growth model of human stature, (with T. Shohoji), *Development and Aging*, Vol. 54, No. 4 (1990) 155-164.
- : A prediction of individual growth of height accoring to an empirical Bayesian approach, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 43, No. 4 (1991).
- : Etimation for 3-parameter inverse Gaussian distribution with unknown origin, *Technical Report*, No. 92-D4, Department of Applied Mathematics, Faculty of Engineering, Hiroshima Univ. (1992).
- : Estimation for 3-parameter lognormal distribution with unknown shifted origin, *Technical Report*, No. 92-D5, Department of Applied Mathematics, Faculty of Engineering, Hiroshima Univ. (1992).
- Kashiwagi, N.: Statistical analysis of air pollutant data with graphical methods; location characteristics of the monitoring stations, *Statistical Theory and Data Analysis II*, (with K. Matusita et al.), Ed. Matusita, K., Elsevier Science Publishers B.V. (North-Holland), (1988) 59-70.
- : Selecting statistical models with information statistics, (with Y. Wada) *Journal of Dairy Science*, Vol.73 (1990) 3575-3582.
- : Bayesian detection of structural changes, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol.43(1991)77-93.

- : On the optimum design of a smoothing filter for geophysical tomography, (with Y. Honjo), *Soils and Foundations*, Vol. 31 (1991) 131-144,.
- : Smoothing serial count data through a state-space model, (with T. Yanagimoto,), *Biometrics*, Vol. 48 (1992) 1187-1194.
- : On use of the Kalman filter for spatial smoothing, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 45 (1993) 21-34.
- : Selection of fixed effects in sire evaluation models using Akaike's Bayesian information criterion, (with Y. Wada et al.), *Animal Science and Technology*, Vol. 64 (1993) 678-685.
- 柏木 宣久: 圃場試験に於ける地力の推定, 統計数理研究所彙報, Vol. 30, (1980) 1-10.
- : 順序統計量とベイズ型平滑化条件に基づく条件付き分布の百分位数の推定, (伊谷昭幸と共著), 統計数理, Vol. 34 (1986) 213-220.
- : 平滑化法とそのソフトウェア, (柳本武美と共著), 応用統計学, Vol.19 (1990) 79-92.
- 川崎能典: Johansen の共相分検定について, 金融研究, Vol. 11 (1992) 99-120.
- : 計量経済モデルと見せかけの回帰, 統計数理, Vol. 41, No. 1 (1993) 33-46.
- Kishino, H.: Evaluation of the maximum likelihood estimate of the evolutionary tree topologies from DNA sequence data. (with Hasegawa, M.), *Journal of Molecular Evolution*, Vol. 29 (1989) 170-179.
- : Maximum likelihood inference of protein phylogeny and the origin of chloroplasts. (with Miyata, T. and Hasegawa, M.), *Journal of Molecular Evolution*, Vol. 31(1990) 151-160.
- : Converting distance to time: Application to human evolution. (with Hasegawa, M.), In *Method in Enzymology* (Doolittle R. F. ed.): (1990) 550-570.
- : Detection of heterogeneity and estimation of population characteristics from the field survey data: 1987/88 Japanese feasibility study of southern hemisphere minke whales. (with Kato, H., Kasamatsu, F. and Fujise, Y.), 1991. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 43 (1991) 435-453.
- : An evolutionary model for maximum likelihood alignment of DNA sequences. (with Thorne, J. L. and Felsenstein, J.), *Journal of Molecular Evolution*, Vol. 33 (1991) 114-124.
- : Effectiveness of a stock enhancement program evaluated by a two-stage sampling survey of commercial landings. (with Kitada, S. and Taga, Y.), *Canadian Journal of Aquatic Sciences and Fisheries*, Vol. 49 (1992) 1573-1582.
- : Freeing phylogenies from artifacts of alignment. (with Thorne, J. L.), *Molecular Biology and Evolution*, Vol. 9 (1992) 1148-1162.
- : Inching toward reality: an improved likelihood model of sequence evolution. (with Thorne, J. L. and Felsenstein, J.), *Journal of Molecular Evolution*, Vol. 34 (1992) 3-16.
- : Is there something wrong with the bootstrap on phylogenies? A reply to Hillis and Bull. (with Felsenstein, J.), *Systematic Biology*, Vol. 42 (1993) 193-200.
- 岸野洋久: 社会現象の統計学. 朝倉書店, (1992).
- Kitagawa, G.: On the use of AIC for the detection of outliers. *Technometrics*, Vol. 21, No.2 (1979) 193-199.
- : A new ship's auto pilot design through a stochastic model. (with K.Ohtsu, and M.Horigome), *Automatica*, Vol. 15, No. 3 (1979) 255-268.
- : A nonstationary time series model and its fitting by a recursive filter. *Journal of Time Series Analysis*, Vol. 2, No. 2, (1981) 103-116.
- : Changing spectrum estimation. *Journal of Sound and Vibration*, Vol. 89, No. 4 (1983)

433-445.

- : A smoothness priors-state space approach to the modeling of time series with trend and seasonality. (with W.Gersch), *Journal of the American Statistical Association*, Vol.79, No.386 (1984) 378-389.
- : A smoothness priors long AR model method for spectral estimation. (with W.Gersch), *IEEE Transactions on Automatic Control*, Vol.30, No.2 (1985) 57-65.
- : Extraction of signal by a time series model and screening out micro earthquakes. (with T.Takanami), *Signal Processing*, Vol.8, No.2 (1985) 303-314.
- : Non-Gaussian state-space modeling of nonstationary time series. *Journal of the American Statistical Association*, Vol.82, No.400 (1987) 1032-1063 (with discussions)
- : Non-Gaussian seasonal adjustment, *Computers & Mathematics with Applications*, Vol.18, No.6/7 (1989) 503-514.
- : A nonlinear smoothing method for time series analysis, *Statistica Sinica*, Vol.1, No.2 (1991) 371-388.
- Komazawa, T.: On the medical application of quantification theory — Towards the improvement of collective health control, *Bulletin of the Biometric Soc. of Japan*, No. 6 (1985) 2-10.
- : A trial survey on the influence of social and psychological factors on coronary heart disease and stroke, (with Hayashi, C. et al.), *Behaviormetrika*, No. 17 (1985) 37-52.
- : The method of pattern classification and its application to prognosis of disease, *Recent Developments in Clustering and Data Analysis, Proceeding of the Japanese-French Scientific Seminar*, Academic Press (1988) 401-412.
- 駒澤 勉: 数量化理論による動脈硬化性疾患の予後予測に関する研究, 日本公衆衛生雑誌, Vol. 25 No. 3 (1977).
- : 数量化理論とデータ処理, 朝倉書店 (1982).
- : 医学統計解析の基礎, 朝倉書店 (1985).
- : パソコン数量化分析 (共著), 朝倉書店 (1988).
- : 脳血管障害患者に対するグレンディールの臨床効果—質的データ解析法(数量化第III類)によるところみー, (荒木五郎と共著), 薬理と治療, Vol. 18, No. 11 (1990) 427-443.
- : 順序尺度の探索的数量化の方法, 多変量解析の最近の動向7, 数理科学, No. 359 (1993) 82-90.
- : 数量化理論 (編著), 放送大学教育振興会 (1992).
- Konishi, S.: Normalizing transformations of some statistics in multivariate analysis. *Biometrika*, Vol. 68, No. 3 (1981) 647-651.
- : Testing hypotheses about interclass correlations from familial data. *Biometrics*, Vol. 41 (1985) 167-176.
- : Effects of transformations in higher order asymptotic expansions. (with N. Niki), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 38, No. 3 (1986) 371-383.
- : Transformations of statistics in multivariate analysis. In *Advances in Multivariate Statistical Analysis*, A.K.Gupta, Ed., D.Reidel Publishing Company, (1987) 213-231.
- : Testing the equality of several intraclass correlation coefficients. (with A.K. Gupta), *Journal of Statistical Planning and Inference*, Vol. 21 (1989) 93-105.
- : Inferences on interclass and intraclass correlations in multivariate familial data. (with C. G. Khatri), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 42, No. 3 (1990) 561-580.
- : Inferences on multivariate measures of interclass and intraclass correlations in familial

- data. (with C.G. Khatri and C. R. Rao), *Journal of the Royal Statistical Society*, Series B, Vol. 53, No. 3 (1991) 649-659.
- : Normalizing transformations and bootstrap confidence intervals. *Annals of Statistics*, Vol. 19, No. 4, (1991) 2209-2225.
- : Principal component analysis for multivariate familial data. (with C. R. Rao), *Biometrika*, Vol. 79, No. 3, (1992) 631-641.
- 小西貞則: ブートストラップ法と信頼区間の構成. 応用統計学, 第19巻, 3号 (1990) 137-162.
- Kuboki, H: A modification of C_π -consistent estimators of a location parameter, *Rep. Stat. Appl. Res. JUSE*, (1979) 1-5.
- : Unbiased estimators in the sense of Lehmann and their discrimination rates, *Ann. Inst. Statist. Math*, Vol. 34, No. 1, A (1982) 19-37.
- : Unbiased estimators in the sense of Lehmann and their discrimination rates (II), *Ann. Inst. Statist. Math*, Vol. 34, No. 3, A (1982) 339-409.
- : A generalization of the relative conditional expectation—further properties of Pitman's T^* and their applications to statistics, *Ann. Inst. Statist. Math*, Vol. 36, No. 2, A (1984) 181-197.
- : On the information for discrimination between two probability distributions, *statistical Theory and Data Analysis*, K. Matusita ed., North-Holland, Amsterdam, (1985) 355-367.
- : Analysis of marginal and conditional density functions for separate inference, *Ann. Inst. Statist. Math*, Vol. 39, No. 1, A (1987) 1-23.
- : On the conditions used to define the two measures of information in separate inference, *statistical Theory and Data Analysis II*, K. Matusita ed., North-Holland, Amsterdam, (1988) 259-271.
- : Inferential distributions for non-Bayesian predictive fit, *Ann. Inst. Statist. Math*, Vol. 45, No. 3, (1993) 567-578.
- Maruyama, N.: Some remarks on zero cycles on Abelian varieties, *Proceedings of the Japan Academy* Vol. 54 Ser. A No. 3 (1978) 83-85.
- : Remarques sur l'article de Bloch et Srinivas sur les cycles algebriques, (with Suwa, N.), *Journal of The Faculty of Science, The University of Tokyo*, Sec. IA, Vol. 35, No. 2 (1988) 371-380.
- Matsunawa, T.: Uniform ϕ -equivalence of probability distributions based on information and related measures of discrepancy, *Ann. Inst. Statist. Math*, Vol. 34, No. 1, A (1982) 1-17.
- : Some strong ε -equivalence of random variables, *Ann. Inst. Statist. Math*, Vol. 34, No. 2, A (1982) 209-224.
- : Modified information criteria for a uniform approximate equivalence of probability distributions, *Ann. Inst. Statist. Math*, Vol. 38, No. 2, A (1986) 205-222.
- 松縄規: エントロピー・情報・統計, 統計数理研究所彙報, Vol. 32, No. 2, (1984) 209-224.
- Miyasato, Y.: Non-linear adaptive control for robotic manipulators with continuous control inputs, (with Y. Oshima), *International Journal of Control*, Vol. 49, No.2 (1989) 545-559.
- : Model reference adaptive control for distributed parameter systems of parabolic type by finite dimensional controller, *Proceedings of the 29th IEEE Conference on Decision and Control*, Vol. 3, (1990) 1459-1464.
- : Model reference adaptive control for non-minimum phase system by periodic feedback, *Intelligent Tuning and Adaptive Control*, R. Devanathan ed., Pergamon Press, Oxford (1991)

- : Model reference adaptive control for distributed parameter systems of hyperbolic type by finite dimensional controllers, *Recent Advances in Mathematical Theory of Systems, Control, Networks and Signal Processing*, H. Kimura and S. Kodama eds., Mita Press, Vol. 2, (1992) 413-418.
- : Model reference adaptive control for non-minimum phase system by 2-delay feedback, *Adaptive Systems in Control and Signal Processing 1992: Selected Papers from the 4th IFAC Symposium*, L. Dugard, M. M'Saad and I. D. Landau eds., Pergamon Press, Oxford (1993) 197-202
- : Model reference adaptive control for non-minimum phase multivariable system by 2-delay feedback, *Preprints of IFAC 12th World Congress*, Vol. 3 (1993) 377-380.
- 宮里義彦: 放物型分布定数系のモデル規範型適応制御, (北森俊行と共著), 計測自動制御学会論文集, Vol. 21, No. 11 (1985) 1163-1170.
- : 学習制御系の一構成法, (大島康次郎と共著), 計測自動制御学会論文集, Vol. 23, No. 6 (1987) 576-583.
- : ロボットマニピュレータの非線形適応制御, (大島康次郎と共著), 計測自動制御学会論文集, Vol. 24, No. 1 (1988) 63-68.
- : 次数に依存しない非線形モデル規範型適応制御系の構成法 (相対次数が未知で 2 次以下の場合), 計測自動制御学会論文集, Vol. 30, No. 2 (1994) 158-164.
- 水野欽司: 偏差値の功罪, サイコロジー, No. 41.
- : テストの信頼性と妥当性 (共訳), 人間科学の統計学 7, 朝倉書店.
- : パネルデータの分析 (訳), 人間科学の統計学 8, 朝倉書店.
- : 統計ソフトウェアに期待するもの, 数理科学, No. 262 (1985).
- : 景観定量化の可能性と限界, 都市計画, No. 138 (1985).
- : 「稲むらの火」に学ぶ防災教育, 総合教育技術, No. 12 (1986).
- : 国民の統計意識に関する調査研究(1) —調査の概要, 一般市民の“統計”への認識, (共著), 統計情報, Vol. 37 (1988). 同(2) 市民の統計調査との係わり, 統計情報, Vol.38(1988).
- : 日本人の国民性調査からみた教育, 教育と情報, No. 389 (1990).
- : パネルディスカッション・統計教育カリキュラムの開発と評価, (共著), 統計教育研究, Vol. 24, No. 1 (1990).
- : “統計教育”への期待, 統計教育研究, Vol. 24, No. 2 (1991).
- Mizuno, S.: An analysis of the solution set to a homotopy equation between polynomials with real coefficients, *Mathematical Programming*, Vol. 28 (1984) 329-336.
- : Solution algorithms of a system of equations and minimization of a function by a branch and bound method, *Journal of the operations Research Society of Japan*, Vol. 30, No. 1 (1987) 41-58.
- : A primal-dual interior point algorithm for linear programming, (with Kojima, M. and Yoshie, A.), *Progress in Mathematical Programming*, Interior Point and Related Methods, Springer-Verlag (1989) 29-47.
- : An $O(n^3L)$ algorithm using a sequence for a linear complementarity problem; *Journal of the Operations Research Society of Japan* Vol.33, No.1 (1990) 66-75.
- : Strategic manipulation in a society with indivisible goods;(with Kimura, T. and Mori, M), *Journal of the Operations Research Society of Japan* Vol.33, No.3 (1990) 228-241.
- : Limiting behavior of trajectories generated by a continuation method for Monotone

- Complementarity Problems; (with Kojima, M. and Noma, T.), *Mathematics of Operations Research* Vol. 15, No. 4 (1990) 662-675.
- : $O(n^2L)$ iteration $O(n^2L)$ potential reduction algorithms for linear programming; *Linear Algebra and Its Applications* Vol.152 (1991) 155-168.
- : An $O(n^2L)$ adaptive path following algorithm for a linear complementarity problem; (with Todd, J.), *Mathematical Programming*, Vol.52 (1991) 587-595.
- : Strict monotonicity in Todd's low-complexity algorithm for linear programming; (with Nagasawa, A.), *Operations Research Letters* Vol. 12, No. 1 (1992) 59-64.
- : A primal-dual infeasible-interior-point algorithm for linear programming; (with Kojima, M. and Megiddo, N.), *Mathematical Programming*, Vol. 61, No.3 (1993) 261-280.
- Murakami, M.: On the reduction to a complete class in multiple decision problems, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 28, No. 2, (1976), 145-165.
- : On the reduction to a complete class in multiple decision problems (2), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 30, No. 1 (1978) 27-34.
- : Some properties of the risk set in multiple decision problems, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 35, No. 2, (1983) 175-183.
- : The selection of information in statistical decision problem with an application to predict the malignancy on bladder tumors, (with Mitani, G.), *Behaviormetrika*, No. 13 (1983) 23-30.
- : A comparison of the value of information in 2-state 2-action statistical decision problem, *Statistical Theory and Data Analysis*, North-Holland, (1985), 445-454.
- : Author's characterisitic writing styles as seen through their use of commas, (with Jin, M.) *Behaviormetrika*, Vol. 20, No.2 (1993) 63-76.
- 村上征勝: 工業統計学, 朝倉書店, (1985).
- : 日蓮遺文の数理研究, 東洋の思想と宗教 (伊藤瑞叡と共著), No. 8 (1991) 27-35.
- : 三大秘法稟承事の計量文献学的新研究 (伊藤瑞叡と共著), 大崎学報, No. 148, (1992) 1-52.
- : 読点と書き手の個性 (金明哲と樺島忠夫と共著), 計量国語学, Vol. 18, No. 8 (1993) 382-391.
- Nakamura, T.: Bayesian cohort models for general cohort table analysis, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 32, No. 2, B (1986) 353-370.
- : A Bayesian cohort model for catch-at-age data obtained from research takes of whales, (with Ohnishi, S. and Matsumiya, Y.), *Rep. Int. Whal. Commn.*, Vol. 39 (1989) 375-382.
- : Simulation trials of a Bayesian cohort model for time-series data obtained from research takes of whales, *Rep. Int. Whal. Commn.*, Vol. 42 (1992) 421-427.
- 中村 隆: ベイズ型コウホート・モデルー標準コウホート表への適用ー, 統計数理研究所彙報, Vol. 29, No. 2 (1982) 77-97.
- : 下顎第1大臼歯齲蝕経験のコウホート分析ー歯科疾患実態調査報告資料によるー, (那須郁夫・森本 基と共著), 口腔衛生学会雑誌, Vol. 34, No. 3 (1984) 240-247.
- : 犯罪・非行者率に及ぼす年齢・時代・コウホート効果の分析, (市川 守と共著), 犯罪心理学研究, Vol. 26, No. 2 (1988) 12-31.
- : 継続調査によって社会の変化を捉えるコウホート分析の方法, 理論と方法, Vol. 4, No. 2 (1989) 5-23.
- : 年齢組成データのベイズ型モデルによる鯨類の資源解析, 鯨類資源の研究と管理(桜本和美・加藤秀弘・田中昌一編), 恒星社厚生閣, 東京 (1991) 159-169.
- : 男女の差異, 第5日本人の国民性 (統計数理研究所国民性調査委員会編), 出光書店, 東京

- (1992) 120-138.
- : 世帯主年齢階層別米消費量変化の分析, (松田友義と共著), 農業経済研究, Vol. 64, No. 4 (1993) 213-220.
- Niki, N.: Multi-folding the normal distribution and mutual transformation between uniform and normal random variables. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 31 No. 1 (1979) 125-140.
- : APL programmes for canonical correlation analysis of categorical data. *Comput. Sci. Mon.*, Vol. 16 (1981) 1-32.
- : Higher order asymptotic expansions for the distribution of the sample correlation coefficient. (with S. Konishi). *Commun. Statist.- Simula. Computa*, Vol. 13, No. 2 (1984) 169-182.
- : Effects of transformations in higher order asymptotic expansions. (with S. Konishi), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 38A No. 3 (1986) 371-383.
- 仁木直人: 工学的乱数発生. 統計数理研究所彙報, Vol. 27, No. 1 (1980) 115-131.
- : カテゴリカルなデータにおける正準相関分析—特性グループ間の相関に基づく数量化—. 統計数理研究所彙報, Vol. 28, No. 1 (1981) 13-26.
- : パーソナル・コンピュータのための物理乱数発生器. 統計数理研究所彙報, vol. 30, No.1 (1982) 33-49.
- : A P L 未組み込み演算の代替処理. 統計数理研究所彙報, Vol. 31, No. 2 (1983) 159-174.
- : 有限体での演算と多次元擬似乱数. 統計数理研究所彙報, Vol. 32, No. 2 (1984) 231-239.
- : 確率分布漸近展開の数式処理. 数学, Vol. 38 No. 1, (1986).
- Noda, K.: Bayes and minimax estimation methods for the optimum decomposition of a sample space based on prior information, (with Y. Taga), *Review of the International Statistical Institute*, Vol. 38 (1970), 344-350 .
- : Bayes decision functions for selections of subpopulations, *Recent Developments in Statistical Inference and Data Analysis*, K. Matusita, ed, North-Holland, Amsterdam (1980), 227-236.
- : A model selection approach to the two-phase regression estimation and the human sensitivity analysis in urban ecosystem, (with M. Itoh, Y. Shinoda and N. Tachibana), *Behaviormetrika*, No. 13 (1983), 1-18.
- : A vector space approach for obtaining a condition for the admissibility of statistical decision functions, (with K. Ishii), *Statistical Theory and Data Analysis*, K. Matusita, ed., North-Holland, Amsterdam (1985), 291-313.
- : Optimal construction of a selection of a subpopulation, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 37 (1985), Part A, 415-435.
- : UMP invariant tests for a generalized linear model, (with Y. Ukita and E. Miyaoka), *Journal of Multivariate Analysis*, Vol. 40, (1992), 1-12.
- : A scaling method of quantitative multiple responses corresponding to doses of stimuli (with M. Murakami, T. Mino and S. Terao), *Behaviormetrika*, Vol. 19, No.1, (1992), 43-63.
- : On F-tests and linear hypothesis in a generalized linear model, (with Y. Ukita and E. Miyaoka), *Communications in Statistics*, Vol. 21, No. 7 (1992), 1857-1870.
- : Statistical test of the latent periods in experimental radiation carcinogenesis under competing risks, (with F. Sato et al.), *J. Radiat. Res.*, Vol. 34 (1993), 1-11.
- : On stability of two-phase segmented regression model selection, (with M. Itoh), *SUT Journal of Mathematics*, Vol. 29, (1993), 113-141.
- Ogata, Y.: The asymptotic behavior of maximum likelihood estimator of stationary point

- processes. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol.30, No.2, A, (1978) 243-261
- : On Lewis' simulation method for point processes. *IEEE Transactions on Information Theory*, Vol.IT-27 (1981) 23-31
- : Estimation of the parameters in the modified Omori formula for aftershock frequencies by the maximum likelihood procedure. *Journal of Physics of the Earth*, Vol.31 (1983) 115-124.
- : Likelihood analysis of point processes and its applications to seismological data. *Bulletin of the International Statistical Institute*, Vol.50, Book 2 (1983) 943-961
- : Statistical models for earthquake occurrences and residual analysis for point processes. *Journal of American Statistical Association*, Application, Vol. 83 (1988) 9-27.
- : A Monte Carlo method for high dimensional integration, *Numerische Mathematik*, Vol.55 (1989) 137-157.
- : A Monte Carlo method for the objective Bayesian procedure, *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*, Vol. 42 (1990) 403-433.
- : Maximum likelihood estimates of the fractal dimension for spatial patterns (with K.Katsura), *Biometrika*, Vol. 78 (1991) 463-467.
- : Detection of precursory relative quiescence before great earthquakes through a statistical model, *Journal of Geophysical Research*, Vol. 97 (1992) 19845-19871.
- : Analysis of temporal and spatial heterogeneity of magnitude frequency distribution inferred from earthquake catalogs (with K. Katsura), *Geophysical Journal International*, Vol. 113 (1993) 727-738.
- Ohsumi, N.: A note on the evaluation of the agglomerative hierarchical clustering methods, (with H. Moroi), *Behaviormetrika*, No.2 (1975) 61-72.
- : Evaluation procedure of agglomerative hierarchical clustering methods by fuzzy relations, in *Data Analysis and Informatics*, E.Diday and others (eds.), North-Holland (1980) 509-522.
- : Role of computer graphics in interpretation of clustering results, in *Recent Developments in Clustering and Data Analysis*, C. Hayashi et al. eds., Academic Press (1988) 201-222.
- : Circumstances surrounding survey data and statistical application software in Japan, in *La Qualité l'Information dans les Enquêtes*, L. Lebart ed., Dunod (1992) 401-426.
- 大隅昇: データ解析と管理技法 —現代人の統計(6)—, 朝倉書店, (1979).
- : 統計的データ解析とソフトウェア, 日本放送出版協会, (1989).
- : 数値的地域区分法:NTAP, (渋谷 政昭と共著), 統計数理研究所彙報, 25巻, 1号, (1978) 41-63.
- : 分類系統樹の性質とその比較評価方式, (中村隆と共著), 統計数理研究所彙報, 28巻, 1号, (1981) 117-133.
- : 都市住民の環境意識の計量化法の研究—領域クラスタリング・システムとその応用—, (水野欽司と共著), 統計数理, 33巻, 2号, (1985) 175-198.
- : 分類結果の色彩表現 —探索的データ解析におけるカラー・グラフィックスの利用法—, 品質管理 (日本品質管理学会誌), 16巻, 4号 (1986)46--54.
- 岡崎卓: 射影子法によるFokker-Planck方程式の一般化—付加的外乱を受ける確率過程の研究—, 統計数理, Vol. 38, No1 (1990), 1-18.
- : 不連続抵抗係数をもつブラウン運動の特性汎関数による解析, 統計数理, Vol. 38, No2 (1991), 149-170.

- Ozaki, T.: Modelling nonlinear random vibrations using an amplitude-dependent autoregressive time series model, (with V. Haggan), *Biometrika*, Vol. 68, No. 1 (1981) 189-196.
- : Nonlinear time series and dynamical systems, *Handbook of Statistics*, E.J. Hannan et al. eds, North-Hollans, Amsterdam, Vol. 5 (1985) 25-83.
- : Statistical identification of storage models with application to stochastic hydrology, *Water Resources Bulletin*, Vol. 21, No. 4 (1985) 663-675.
- : Local Gaussian modelling of stochastic dynamical systems in the analysis of nonlinear random vibrations, *Essay in Time Series and Allied Process* (Festschrift in honour of Prof. Hannan), Gani, J. and Priestley, M. B. eds., Applied Probability Trust (1986) 241-255.
- : Statistical identification of nonlinear random vibration systems, *Journal of Applied Mechanics*, Vol. 56 (1989) 186-191.
- : Statistical identification of nonlinear dynamics in macroeconomics using nonlinear time series models, (with V. H. Ozaki), *Statistical Analysis and Forecasting of Economic Structural Change*, P. Hackel ed., Springer-Verlag (1989) 345-365.
- : A bridge between nonlinear time series models and nonlinear stochastic dynamical systems: a local linearization approach, *Statistical Sinica*, Vol. 3, No. 1 (1992) 113-135.
- : Identification of nonlinearities and non-Gaussianities in time series, *New Directions in Time Series Analysis, Part I*, IMA Volumes in Mathematics and Its Applications, E. Parzen ed., Vol. 45 (1992) 227-264.
- : Non-Gaussian characteristics of exponential autoregressive processes, *Developments in Time Series Analysis, in honour of M. B. Priestley*, T. S. Rao ed, Chapman & Hall (1993) 257-273.
- : A local linearization approach to nonlinear filtering, *International Journal of Control*, Vol. 57, No. 1 (1993) 75-96.
- Sakamoto, Y.: A study of Japanese national character—Part 5, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Sup. 8 (1974) 1-57.
- : Analysis of cross-classified data by AIC, (with H. Akaike), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 30, No.1 (1978) 185-197.
- : CATDAP, A categorical data analysis program package, (with K. Katsura), *Computer Science Monographs*, No. 14, The Inst. Statist. Math. (1980) 1-73.
- : Efficient use of Akaike's information criterion for model selection in high dimensional contingency table analysis, *Metron*, Vol. 40, No. 1-2 (1982) 257-275.
- : A Bayesian approach to nonparametric test problems, (with M. Ishiguro), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 40, No. 3 (1988) 587-602.
- 坂元慶行: 第3～第5日本人の国民性, (林知己夫ほかと共著), 出光書店 (1975, 1982, 1992).
- : 情報量統計学, (石黒真木夫, 北川源四郎と共著), 共立出版 (1983). (英語版: Akaike Information Criterion Statistics, D. Reidel, Dordrecht, (1986).)
- : カテゴリカルデータのモデル分析, 共立出版, (1985). (英語版: Categorical data analysis by AIC, Kluwer Academic Publishers, Dordrecht (1991))
- : 「情報量統計学」の現状と課題, 経済学研究, 九州大学経済学会, Vol. 53, No. 4-5, (1987) 189-209.
- : 「階層帰属意識」の実像, 統計数理, Vol. 35, No. 2 (1987) 233-255.
- Sato, T.: Confidence limits for the common odds ratio based on the asymptotic distribution of the Mantel-Haenszel estimator, *Biometrics*, Vol. 46 (1990) 71-80.
- : An estimating equation approach for the analysis of case-control studies with exposure

- measured at several levels, *Statistics in Medicine*, Vol. 10 (1991) 1037-1042.
- : Elementary methods of cohort analysis with several exposure levels, *Biometrics*, Vol. 47 (1991) 1165-1170.
- : On inconsistency of the common rate difference estimators from sparse follow-up data, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 44 (1992) 529-535.
- : Estimation of a common risk ratio in stratified case-cohort studies, *Statistics in Medicine*, Vol. 11 (1992) 1599-1605.
- : Maximum likelihood estimation of the risk ratio in case-cohort studies, *Biometrics*, Vol. 48 (1992) 1215-1221.
- 佐藤俊哉: コホート研究で生じる関連性の指標のバイアスについて, 日本公衆衛生雑誌, Vol. 36 (1989) 237-242.
- : 結果に順序がついている前向き研究での効果の指標, 応用統計学, Vol. 20 (1991) 77-87.
- Shimizu, R.: Characteristic functions satisfying a functional equation I, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 20 (1968) 187-209.
- : Solution to a functional equation and its application to some characterization problem, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 40 (1978) 319-332.
- : Functional equation with an error term and the stability of some characterizations of the exponential distribution, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 32 (1980) 1-16.
- : On the stability of characterizations of the normal distribution, *Statistics and Probability: Essays in Honor of C.R. Rao*, North Holland, (1981) 661-670.
- : General characterization theorems for the Weibull and the stable distributions, (with P. Laurie Davies), *Sankhya, A*, Vol. 43, 282-310, (1981).
- : Error bounds for asymptotic expansion of the scale mixtures of the normal distribution, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 39 (1987) 611-622.
- : Expansion of the scale mixtures of the gamma distribution, *Journal of Statistical Planning and Inference*, Vol. 21 (1989) 305-314.
- : Asymptotic expansions of some mixtures of the multivariate normal distribution and their error bounds, (with Y. Fujikoshi), *Annals of Statistics*, Vol. 17 (1989) 1124-1132.
- : Expansion of the scale mixture of the multivariate normal distribution with error bound evaluated in L_r -norm, *Jour. of Multivariate Analysis* (1994) to appear.
- 清水良一: 中心極限定理, 教育出版, (1976).
- Shimura, T.: The strict domain of attraction of strictly stable law with index 1, *Japanese Journal of Mathematics*, New Series 16, No. 2 (1990) 351-363.
- : Decomposition of non-decreasing slowly varying functions and domain of attraction of Gaussian distributions, *Journal of the Mathematical Society of Japan*, Vol. 43, No. 4 (1991) 775-793.
- : Decomposition problem of probability measures related to monotone regularly varying functions, *Nagoya Math. J.*, (1994) to appear.
- Suzuki, G.: On the Glivenko-Cantelli Theorem, *Ann. Inst. Statist. math.*, Vol. 18 (1966) 29-37.
- : On exact probabilities of some generalized Kolmogorov's D-statistics, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 19 (1967) 373-388.
- : Kolmogorov-Smirnov test of fit based on some general bounds, *Journal of the American Statistical Association*, Vol. 63 (1968) 919-924.
- : Distributions of Kac-statistics, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 24 (1972) 415-421.

- : Robustness of Bayes classification region, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 26 (1974) 1-13.
- : Modified empirical Bayes solutions for two-way classification problem, *Recent Developments in Statistical Inference and Data Analysis*, (1980) 259-267.
- : On a stochastic game with one-chance recovery, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 32 (1980) 53-64.
- : Further modified forms of binomial and Poisson distributions, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 32 (1980) 143-159.
- : On some concepts of a dependent convolution and a dependent outlier, *Statistical Theory and Data Analysis*, (1985) 701-708.
- 鈴木義一郎: 2×2 分割表に対するモデルの図的表現と潜在構造分析, 統計数理研究所彙報, Vol. 32 (1984) 173-195.
- 鈴木達三: 社会調査と数量化 (林知己夫と共著) 岩波書店 (東京), (1986)
- : 標本抽出の計画と方法 (高橋宏一と共著) 放送大学教育振興会, (1991)
- Suzuki, T.: Data Analysis for comparative social research: International perspectives (with C. Hayashi, and M. Sasaki), Elsevier North Holland, (1992)
- : Ways of life and social milieus in Japan and the United States: A Comparative study *Behaviormetrika* No. 15 (1984) 77-108.
- : Changes in belief systems, quality of life issues and social conditions over 25 years in post war Japan (with C. Hayashi) *Annals of the Institute of Statistical Mathematics*, part B, Vol. 36, No. 1, (1984) 135-161.
- : Changes in Religious Commitment in the United States, Holland and Japan, (with M. Sasaki) *American Journal of Sociology*, Vol. 92, No. 5 (1987) 1055-1076.
- : Cultural link analysis: Its application to social attitudes—A study among five nations, *Bulletin of the International Statistical Institute*, Vol. 53, Book, (1989) 363-379.
- : Trend and cross-national study of general social attitudes (with M. Sasaki) *International Journal of Comparative Sociology*, Vol. 31, No. 3, 4, (1990) 193-205.
- : A trend study of the problem of public acceptance of science and technology in Japan, (with M. Sasaki) *Behaviormetrika*, No. 29, (1991) 61-71.
- : A Comparative analysis of the Arab culture: Arabic, English and Japanese languages and values (with Yasumasa Kuroda) *Behaviormetrika*, No. 30, (1992) 35-53.
- Taguchi, T., On the two dimensional concentration surface and extensions of concentration coefficient and Pareto distribution to the two dimensional case—I, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 24 No. 2 (1972).
- : On a generalization of Gaussian distribution, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 30, No. 2 A (1978).
- : On a multiple Gini's coefficient and some concentrative regression, *Metron*, Vol. XXXIX (1982).
- : A characterization of Gini's statistics: on a system of vector analysis of distribution, *Metron*, Vol. XLIX (1991).
- : A concentration analysis of income distribution model and consumption pattern—Introduction of logarithmic gamma distribution and statistical analysis of Engel elasticity, *Statistica*, Anno III, No. 1 (1993). 3-57
- 田口時夫: 日本の国富構造, 東洋経済新報社 (1959).
- : 経済分析と多次元解析, 東洋経済新報社 (1984).

- : 二次元離散型分布の集中多面体, 集中係数及び新たな各種相関係数について, 統計数理研究所彙報, Vol. 20, No. 2 (1972).
- : 標本調査論の研究—有意選出法の基礎について, 統計数理研究所彙報, Vol. 34, No. 2 (1987).
- : 集中多様体と集中解析のシステム(I)—ジーニの統計方法論の幾何学的展開—, (II)—相対的ベクトル積率と非線形集中統計量—, Vol. 36, No. 1 (1988), Vol. 36, No. 2 (1989).
- Takagi, H.: An algorithm for causal modeling in epidemiological studies, *Behaviormetrika*, No. 8 (1980) 41-55.
- : Construction of the life habits inventory, (with Saiki, K., Hinohara, S., Yanai, H., Douba, N. and Mizuguchi, M.), eds. Suzuki, S. and Roberts, R. E., *Methods and Applications in Mental Health Surveys: The Todai Health Index*, University of Tokyo Press Tokyo, (1991), 103-121 & 297-306.
- : Program on the conditional maximum likelihood estimate of the common odds ratio and the AIC in the analysis of $K \times 2$ tables, *Computer Science Monographs*, No. 26 (1991) 1-25.
- 高木廣文: ナースのための統計学, 医学書院(東京), (1984).
- : 編著, 多変量解析ハンドブック, (柳井晴夫と共著), 現代数学社(京都), (1986).
- : HALBAUによるデータ解析入門, (佐伯圭一郎, 中井里史と共著), 現代数学社(京都), (1989).
- : よくわかる医療・看護のための統計学入門, (三宅由子と共著), メディカ出版(大阪), (1991).
- : 厚生省特定疾患の全国疫学調査による患者数推定と推定誤算について, (佐藤俊哉, 稲葉裕と共著), 日本公衆衛生雑誌, Vol. 35, No. 6, (1988) 275-285.
- : 統計パッケージHALBAUについて, 計算機統計学, Vol. 5, No. 2, (1992) 165-169.
- : 質問紙を用いた食塩摂取量推定について, (金子俊, 佐伯圭一郎, 西山悦子, 平野真澄, 道場信孝, 日野原重明と共著), 民族衛生, Vol. 59, No. 3 (1993) 113-122.
- Tamura, Y.: Remarks on noise-induced long-time tail, (with Muto, K.), *Progress of Theoretical Physics*, Vol. 69 (1983) 451-463.
- : An asymptotic solution of stochastic differential equation, *Progress of Theoretical Physics*, Vol. 70 (1983) 1014-1023.
- : An approach to the nonstationary process analysis, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 39B (1987) 227-241.
- : Evaluation of cancer prevention strategies by computerized simulation model: An approach to lung cancer, (with Yamaguchi, N. et al), *Cancer Causes and Control*, Vol. 2 (1991) 147-155.
- : Stochastic learning equation in a neural field, (with Hara, H.), *Thermal Field Theories*, Elsevier Science Publishers B.V. eds. H. Ezawa, T. Arimitsu, Y. Hashimoto, (1991) 507-512.
- : Dynamic control of breathing during exercise and hypercapnia, (with Oku, Y.), *Medical & Biological Engineering & Computing*, (1992) 51-56.
- : Non-linear autoregressive model based on fuzzy relation and neural network, (with Ikoma, N. et al), *Fuzzy Systems and A. I.*, (1992) 25-32.
- 田村義保: 非定常スペクトル解析について統計数理研究所彙報 Vol. 32 (1984) 45-58.
- : 視聴覚的情報検索システムについて, (山田貢己, 蓬萊尚幸と共著), 統計数理 Vol. 33 (1985) 101-109.
- : パソコンによるデータ解析(監修: 赤池弘次, 編集: 村上征勝, 田村義保) 朝倉書店(1988).

- Tanabe, K.: Projection method for solving a singular system of linear equations and its applications, *Numerische Mathematik*, Vol. 17 (1971) 203-214.
- : Neuman-type expansion of reflexive generalized inverses of a matrix and the hyperpower iterative method, *Linear Algebra and Its Applications*, Vol. 10 (1975) 163-175.
- : Continuous Newton Raphson method for solving an underdetermined system of nonlinear equations, *Nonlinear Analysis, Theory, Methods & Applications*, Vol. 3 (1979) 495-503.
- : Geometric method in nonlinear programming, *Journal of Optimization Theory and Applications*, Vol. 30 (1980) 181-210.
- : Feasibility-improving gradient-acute-projection methods: A unified approach to nonlinear programming, *The Newton Method and Related Topics*, T. Yamamoto and K. Tanabe eds., Kinokuniya (1981) 57-76.
- : Statistical procedure for deconvoluting experimental data, (with Y. Hiragi and H. Urakawa), *Journal of Applied Physics*, Vol. 58 (1985) 5-11.
- : Centered Newton method for mathematical programming, *System Modelling and Optimization*, M. Iri and K. Yajima eds., Springer-Verlag (1988) 197-206.
- : An exact Cholesky decomposition and the generalized inverse of the variance-covariance matrix of the multinomial distribution, with applications, (with M. Sagae), *Journal of Royal Statistical Society, B*, Vol. 54 (1992) 211-219.
- : Pivoting strategy for rank one modification of LDM⁺-like factorization, (with M. Sagae), *Numerical Algorithms*, Vol. 2 (1992) 137-154.
- 田辺國士: 岩波講座 応用数学「最適化法」, (藤田宏, 今野浩と共著), 岩波書店 (1994).
- Tanemura, M.: Geometrical considerations on hard core problems, (with T.Ogawa), *Progress of Theoretical Physics*, Vol.51, No.2 (1974), 399-417.
- : On the pattern of space division by territories, (with M.Hasegawa), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol.28, No.2, Part B (1976), 509-519.
- : Geometrical analysis of crystallization of the soft-core model, (with Y.Hiwatari et. al) *Progress of Theoretical Physics*, Vol.58, No.4 (1977), 1079-1095.
- : On random complete packing by discs, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol.31, No.2, Part B (1979), 351-365
- : Geometrical models of territory I—Models for synchronous and asynchronous settlement of territories, (with M.Hasegawa), *Journal of Theoretical Biology*, Vol.82, No.3 (1980), 477-496.
- : Estimation of interaction potentials of spatial point patterns through the maximum likelihood procedure, (with Y.Ogata), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol.33, No.2, Part B (1981), 315-338.
- : A new algorithm for three-dimensional Voronoi tessellation, (with T.Ogawa and N.Ogita), *Journal of Computational Physics*, Vol.51, No.2 (1983), 191-207.
- : Likelihood analysis of spatial point patterns, (with Y.Ogata), *Journal of the Royal Statistical Society, Series B*, Vol.46, No.3 (1984), 496-518.
- : Models and simulations of random structure of particles, *Acta Stereologica*, Vol.11, Supp. I (1992), 41-52.
- 種村 正美:『なわばりの生態学—生態のモデルと空間パターンの統計』, (長谷川政美と共著), 東海大学出版会, (1986).

- Tsuchiya, T.: Automatic Computation of Partial Derivatives and Rounding Error Estimates with Applications to Large-Scale Systems of Nonlinear Equations. (with M.Iri and M.Hoshi), *Journal of Computational and Applied Mathematics*, Vol.24 (1988), 365-392.
- : Local Convergence Properties of New Methods in Linear Programming. (with Tanabe, K.), *Journal of the Operations Research Society of Japan*, Vol.33, No.1 (1990), 22-45.
- : Quadratic Convergence of Iri and Imai's Algorithm for Degenerate Linear Programming Problems. *Research Memorandum*, No.412, The Institute of Statistical Mathematics, (1991). (To appear in the *Journal of Optimization Theory and Applications*.)
- : Global Convergence of the Affine Scaling Methods for Degenerate Linear Programming Problems. *Mathematical Programming*, Vol.52 (1991) 377-404.
- : Global Convergence of a Long-Step Affine Scaling Algorithm for Degenerate Linear Programming Problems. (with Muramatsu, M.), *Research Memorandum*, No.423, The Institute of Statistical Mathematics, (1992) (To appear in *SIAM Journal on Optimization*.)
- : Global Convergence Property of the Affine Scaling Methods for Primal Degenerate Linear Programming Problems. *Mathematics of Operations Research*, Vol.17, No.3 (1992), 527-557.
- : Global Convergence of the Affine Scaling Algorithm for the Primal Degenerate Strictly Convex Quadratic Programming Problems. *Annals of Operations Research*. Vol. 46 (1993)
- : Identifying the Optimal Face of a Network Linear Program with a Globally Convergent Interior Point Method. (with M. Resende, G. Veiga), in *Large Scale Optimization: State of the Art (Proceedings of the Symposium on Large Scale Optimization held on February, 1993 at the University of Florida, eds: W.W.Hager, D.W.Hearn and P.M.Pardalos, Kluwer Academic Publishers)*, (1994) 371-396.
- 土谷 隆: 伊理-今井法, 山下法およびAdler-Karmarkar法の解近傍での振舞について. (田辺 國士と共著), 統計数理研究所共同研究リポート5 “線形計画問題の新解法” (1987) 99-117.
- : 土谷 隆: 線形計画問題に対する内点法の大域的および局所的収束性に関する研究. 学位論文(東京大学), (1991).
- Ueda, S.: A random packing model for elections(共著), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol.31, No.1 (1979) 157-167.
- : NOLLS1, a FORTRAN subroutine for nonlinear least squares by a quasi-Newton method (共著), *Computer Science Monographs*, No.17, (1981).
- 上田 澄江: 一次元ランダムパッキングモデル-参議院全国区得票率分布への適用例-, (共著), 統計数理研究所彙報, Vol.25, No.1, (1978) 23-27.
- : 立体視の適用例-微分方程式の解の動きと主成分分析の結果の解釈- (共著), 統計数理研究所彙報, Vol.28, No.1 (1981) 55-59.
- : 多次元立方体の離散的ランダムパッキングによる充填率について (共著), 統計数理研究所彙報, Vol.31, No.1 (1983) 65-69.
- : Touch and enjoy Sun3/80 S入門-統計データ解析- (共著), RSC-019, (1990).
- : 語順規則による世界の言語の階層クラスタリング, 応用統計学 (共著), Vol.20, No.3 (1991) 155-166.
- : 統計数理研究所PC&WSカタログ~第5回パソコン等(ハードウェア)使用状況調査報告~ (共著), RSC-023, (1992).
- Yanagimoto, T. : Inverse binomial distribution as a statisical model. *Comm. in Statist. -Theory and Methods*, Vol. 18 (1989) 3625-3633.
- : Combining moment estimates of a parameter common through strata. (with discussion)

- J. Statist. Plan. Inf.*, Vol. 25 (1990) 187-198.
- : Empirical Bayes methods for smoothing data and simultaneous estimation of many parameters, (with Kashiwagi, N.), *Env. Health Persp.*, Vol. 8 (1990) 109-114.
- : Estimation for the negative binomial distribution based on the conditional likelihood, (with Anraku, K.), *Comm. in Statist. -Simula.*, Vol. 19 (1990) 771-786.
- : The role of unbiasedness in estimating functions, (with Yamamoto, E.), in *Estimating Function*, ed. V.P. Godambe, Oxford University Press (1991) 89-101.
- : Constructing elementary procedures for inference of the gamma distribution, (with Yamamoto, E.), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 43 (1991) 539-550.
- : Estimating a model through the conditional MLE. *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 43 (1991) 735-746.
- : The Mantel-Haenszel statistics for the extended odds ratio in the negative binomial distribution, *J. Japan Statist. Soc.*, Vol. 22 (1992) 7-17.
- : Moment estimators for the beta-binomial distribution, (with Yamamoto, E.), *J. Appl. Statist.*, Vol. 19 (1992) 273-283.
- : A criterion of sensitivity of an estimating function, (with Yamamoto, E.), *Comm. in Statist.-Theory and Methods*, Vol. 22 (1993) 451-460.
- Yoshida, H.: On crossed products and the relative entropy, *Math. Japon.*, Vol. 30 (1985), 981-988.
- : Actions of finite groups on finite von Neumann algebras and the relative entropy, (with S. Kawakami), *J. Math. Soc. Japan*, Vol. 39 (1987), 609-626.
- : The constituents of Jones' index analysed from the structure of the Galois group, (with S. Kawakami), *Math. Japon.*, Vol. 33 (1988), 551-557.
- : Reduction theory on the relative entropy, (with S. Kawakami), *Math. Japon.*, Vol. 33 (1988), 975-990.
- : Relative commutant algebras of Powers' binary shifts on the hyperfinite II₁ factor, *Math. Scand.*, Vol. 68 (1991), 115-130.
- : Irreducible subfactors from some symmetric graphs, *Math. Ann.* Vol. 295 (1993), 589-625.
- : Connections on special 5-star graphs, *Nat. Sci. Rep. Ochanomizu Univ.*, Vol. 44 (1993), 126-148.
- 吉田裕亮:「数学例題によるパスカル入門」(翻訳), 現代数学社 (1986).
- : 非可換解析学と相対エントロピー, 統計数理, Vol. 38 (1990), 49-61.
- Yoshida, N.: Robust M-estimators in diffusion processes, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 40, No.4 (1988) 799-820.
- : On the robust estimation in the Poisson processes with periodic intensities, (with T. Hayashi), *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 42, No.3 (1990) 489-507.
- : Asymptotic behavior of M-estimator and related random field for diffusion process, *Ann. Inst. Statist. Math.*, Vol. 42, No.2 (1990). 221-251.
- : Asymptotic expansion for small diffusion — an application of Malliavan-Watanabe theory, *Research Memorandum*, No. 383 (1990).
- : Conditional Fisher information and non-ergodic statistical inference, *Proceedings of the 13th Symposium on Applied Functional Analysis*, (1991). 14-21.
- : Asymptotic expansion for small noise system on Wiener space I: Maximum likelihood estimators, *Research Memorandum*, No. 422 (1991).

- : Estimation for diffusion processes from discrete observation, *J. Multivariate Analysis*, Vol. 41, No. 2 (1992). 220-242.
- : Asymptotic expansion of maximum likelihood estimators for small diffusions via the theory of Malliavin-Watanabe, *Probab. Theory Relat. Fields*, Vol. 92 (1992).
- : Asymptotic expansion for statistics related to some diffusions, *J. Japan Statistical Society*, Vol. 22, No. 2 (1992). 139-159.
- : Asymptotic expansion of Bayes estimators for small diffusions, *Probab. Theory Relat. Fields*, Vol. 95 (1993). 429-450.
- Yoshino, R.: On the degree of stability of psychophysical laws, *Behaviormetrika*, No. 25 (1989).
- : On the possible and stable psychophysical laws, *The Journal of Mathematical Psychology*, Vol. 33, No. 1 (1989) 68-90.
- : A note on cognitive maps: an optimal spatial knowledge representation, *The Journal of Mathematical Psychology*, Vol. 35, No. 3 (1991) 371-393.
- : Superculture as a frame of reference for cross-national comparisons of national characters, *Behaviormetrika*, No. 31 (1992).
- : The unbiased BIGHT model and its application to the distinction of responses to a free-answer question in a social survey, *Behaviormetrika*, Vol. 19, No. 2 (1992).
- : Magical numbers of human short-term memory—efficient designs of biological memory systems?—, *Behaviormetrika*, Vol. 21, No.1 (1993), 171-186.
- 吉野諒三: 公理的測定論の歴史と展望, *心理学評論*, Vol. 32, No.2 (1989).
- : 「BatchelderとRomneyの正答のないテスト理論」と拡張とアンケート調査法への応用, *統計数理*, Vol. 37, No. 2 (1990).171-188.
- : 社会調査データの国際比較の枠組みのための “superculture” , *統計数理*, Vol. 40, No. 1 (1992).1-16.

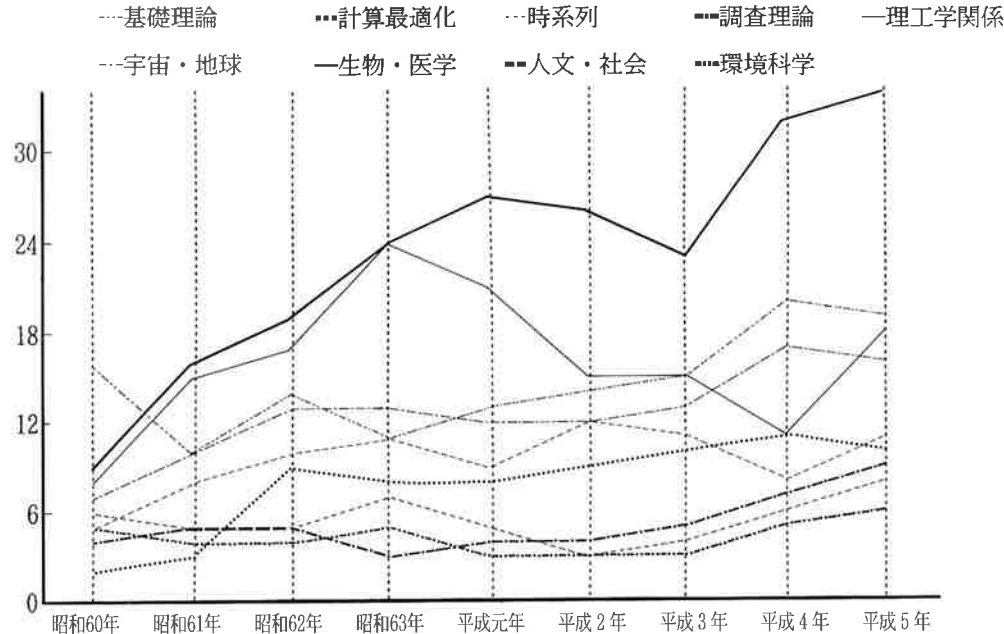
8 共同研究

(1) 採択件数等年度別推移



注 平成6年3月現在で作成した。また、経費総額の金額は10万円未満を四捨五入した。

(2) 分野別採択件数の経年変化



(3) 分野別採択比率経年一覽

縦基礎理論

計算最適化

時系列

調査理論

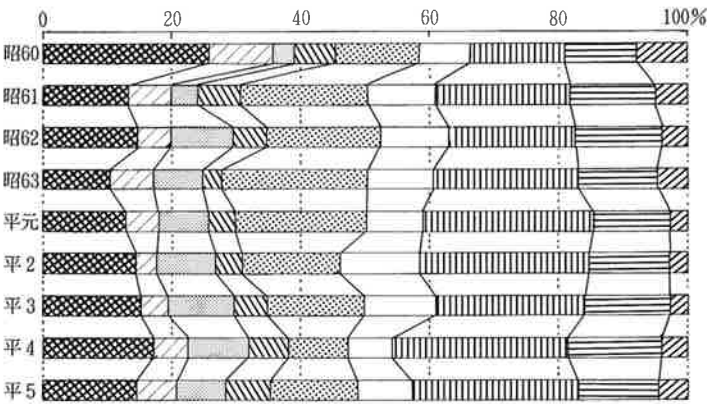
理工学関係

宇宙・地球

生物・医学

人文・社会

環境科学



(4) 共同研究レポート一覧

登録番号	課 題 番 号	題 名	研 究 代 表 者
No.1	共 ー 9	複雑な構造をもつ統計モデルにおけるデータ縮約問題	久保木久孝（統計数理研究所）
No.2	共 ー 34	数理地震学 地震学における統計数理モデル研究会	斎藤 正徳（東京工業大学理学部）
No.3	61ー共研ー 39	数理地震学（Ⅱ） フラクタルと破壊現象の数理	斎藤 正徳（東京工業大学理学部）
No.4	61ー共会ー 14	グラフ理論の数値計算への応用	伊理 正夫（東京大学工学部）
No.5	61ー共研ー 11	線型計画問題の新解法	刀根 薫（埼玉大学）
No.6	62ー共会ー 48	確率過程論の工学・生物学への応用	小倉 久直（京都工芸繊維大学）
No.7	61ー共会ー 46	前兆異常検出の統計的手法	尾池 和夫（京都大学防災研究所）
No.8	62ー共会ー 60	数理地震学（Ⅲ） フラクタルと地震現象の数理	斎藤 正徳（東京工業大学理学部）
No.9	62ー共研ー 55	全マントルP波トモグラフィー 地球物理学データのインバージョン	深尾 良夫（名古屋大学理学部）
No.10	62ー共研ー 18	線型計画問題の新解法 2	刀根 薫（埼玉大学）
No.11	62ー共研ー 90	バレート・ジーニをめぐる統計的諸問題	田口 時夫（統計数理研究所）
	63ー共研ー 88	二次元集中度に関する若干の計算	
No.12	63ー共会ー 52	工学・生物学における不規則変動現象の数理的解析	佐藤 俊輔（大阪大学基礎工学部）
No.13	61ー共研ー 22	統計環境に関する住民意識調査Ⅰ，報告集	田口 時夫（統計数理研究所）
No.14	62ー共研ー 31	統計環境に関する住民意識調査Ⅱ，資料集	田口 時夫（統計数理研究所）
No.15	62ー共研ー 31	統計環境に関する住民意識調査Ⅲ，自由回答の分析と結果の利用	田口 時夫（統計数理研究所）
No.16	63ー共研ー 100	自然環境についての標本調査法の研究	多賀 保志（横浜市立大学）
No.17	63ー共研ー 78	歯科疾患実態調査データのコウホート分析	中村 隆（統計数理研究所）
No.18	63ー共研ー 99	多重比較方式の諸問題	吉村 功（名古屋大学）
No.19	63ー共研ー 15	線型計画問題の新解法 3	田辺 國士（統計数理研究所）
No.20	1ー共会ー 50	工学・生物学における不規則現象解析の諸問題	吉川 昭（東邦大学）
No.21	1ー共会ー 19	非定常又は非線形な時系列の推測に関する研究	藤井 光昭（東京工業大学）
No.22	1ー共会ー 102	毒性・薬効データ解析における多重比較法の利用	吉村 功（名古屋大学）
No.23	1ー共研ー 101	自然環境についての標本調査法の研究	多賀 保志（日本鯨類研究所）
No.24	1ー共研ー 64	Mathematical Seismology（Ⅴ）：Fracture, Form and Fractals	斎藤 正徳（東京工業大学理学部）
No.25	1ー共研ー 28	日本に於る統計学研究の研究環境に関する調査研究	鈴木義一郎（統計数理研究所）
No.26	2ー共会ー 26	時系列解析の研究	岡本 雅典（広島大学）
No.27	2ー共会ー 97	リスク評価のための毒性・薬効データ解析法の研究	吉村 功（名古屋大学）
No.28	2ー共会ー 56	数理地震学（Ⅵ）	斎藤 正徳（東京工業大学理学部）
No.29	1ー共研ー 16	非線形最適化：モデルとアルゴリズム	田辺 國士（統計数理研究所）
No.30	2ー共研ー 10	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武（早稲田大学）
No.31	3ー共会ー 3	時系列に関する推測の理論とその応用	藤井 光昭（東京工業大学）
No.32	3ー共会ー 7	工学・生物学における不規則現象とその情報処理	太田 光雄（近畿大学）
No.33	3ー共会ー 10	考古学における計量分析	堅田 直（帝塚山大学）
No.34	3ー共会ー 8	数理地震学（Ⅶ）	斎藤 正徳（東京工業大学理学部）
No.35	2ー共研ー 15	最適化：モデルとアルゴリズム	田辺 國士（統計数理研究所）
No.36	3ー共研ー 1	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武（早稲田大学）
No.37	3ー共会ー 6	球面上の形態形成と情報処理	小川 泰（筑波大学）
No.38	4ー共会ー 8	考古学における計量分析Ⅱ	堅田 直（帝塚山大学）
No.39	4ー共会ー 2	時系列に関する推測の理論と応用	酒井 英昭（京都大学）
No.40	4ー共会ー 6	工学・生物学における不規則現象のモデル化とその解析処理手法	八名 和夫（法政大学）
No.41	4ー共研ー 94	日本人の意識調査のコウホート分析	中村 隆（統計数理研究所）
No.42	4ー共研ー 8	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武（早稲田大学）
No.43	4ー共研ー 6	確率過程の大域的性質の研究	大倉 弘之（京都工芸繊維大学）
No.44	4ー共研ー 14	安定分布・安定過程およびその周辺の研究	志村 隆彰（統計数理研究所）
No.45	3ー共会ー 2	最適化：モデリングとアルゴリズム 3	田辺 國士（統計数理研究所）
No.46	5ー共会ー 11	考古学における計量分析ー計量考古学への道ー	堅田 直（帝塚山大学）
No.47	5ー共会ー 3	時系列解析の理論と応用	中野 純司（一橋大学）
No.48	5ー共会ー 7	確率モデルと非線形可積分系	中村 佳正（同志社大学）

登録番号	課題番号	題名	研究代表者
No.49	5-共会- 6	工学・理学に関する不規則現象の解析—理論と応用—	杉山 宏 (湘南工科大学)
No.50	5-共研A-49	結晶の対称性の統計的分布	伊藤 栄明 (統計数理研究所)
No.51	5-共研A-11	加法過程に関する諸問題	志村 隆彰 (統計数理研究所)
No.52	5-共会- 9	地震と不均質媒質の変形破壊現象にみる非線形過程のモデル化とその数理	大内 徹 (神戸大学)
No.53	5-共会- 2	最適化：モデリングとアルゴリズム	田辺 國士 (統計数理研究所)
No.54	4-共研- 19	データ解析の電子ジャーナル (E J D A)	柴田 里程 (慶應義塾大学)
No.55	5-共会- 1	MHD数値モデルによる核融合計算と最適設計	牛島 照夫 (電気通信大学)
No.56	5-共研A- 3	確率過程の大域的性質の研究	大倉 弘之 (京都工芸繊維大学)
No.57	5-共研A-10	確率過程における統計的推測の基礎的構造の研究	鈴木 武 (早稲田大学)
No.58	4-共研- 11	無限次元空間上の統計学の研究	吉田 朋広 (統計数理研究所)
No.59	5-共研A-30	非線形現象のシステム設計と予測解析の確率過程論研究	岡部 靖憲 (北海道大学)
No.60	5-共研B- 2	拡張された非平衡熱力学とOnsager-Machlup関数	北原 和夫 (東京工業大学)

9 研究者等の在籍状況

区 分		昭60	61	62	63	平元	2	3	4	5
		人	人	人	人	人	人	人	人	人
外国人研究員		1	2	2	2	1	3	1	1	2
日本学術振興会 研 究 員		2	2	1	1	—	1	1	2	1
内地研究員		1	—	—	—	1	—	—	1	—
外来研究員	日本人	2	6	2	3	2	3	2	7	5
	外国人	3	10	5	3	4	13	11	11	7
受 託 研 究 員		—	—	2	1	2	2	5	4	2
大 学 院 受 託 学 生 大学院特別研究学生		3	7	6	3	4	—	4	1	1
大 学 院 研 修 生		2	3	—	—	—	—	—	—	—

備考 (1) 外来研究員は、統計数理研究所外来研究員取扱い要項の2-(4)に該当するもの。

(2) 大学院受託学生は、平成4年度から大学院特別研究学生と改められた。

10 統計数理研究所で開発されたソフトウェア

- ADAR**
(尾崎 統)
Amplitude-dependent AR Model (in TIMSAC-84) / 振幅従属型非線形ARモデルをあてはめるプログラム [1984年]
- AFC/PC**
(大隅 昇)
Analyse Factorielle des Correspondances pour PC / 対応分析法 (あるいは数量化III類) のプログラム。入力データの書式の自由度があり, 2元クロス表型であればよい。[1978年]
- AIDER**
(岡崎 卓)
汎用計算支援システム / 数値解析, I/O処理, 描画のための支援ルーチン群。[1974年]
- APL/PAC**
(中村 隆)
APL Programs for Bayesian Cohort Models / ベイズ型コウホート・モデル分析のためのAPLプログラム。[1983年]
- APM**
(林知己夫, 林 文)
Arrow and Point Method (Graphic Representation of Opinion Structure by Breakdown) / 要素とその各種計測上での順序があるとき, 順序の類似性から要素と計測の同時分類を平面上の布置と矢印であらわす。社会調査において各回答に各属性がどの程度効いているのかへの応用をあつかう。[1978年]
- ARdock**
(石黒真木夫)
Dock for AR Models - AR Model Analyzer - / TIMSACによるシステム解析を対話的に行えるようにしたプログラム。[1992年]
- BAYSEA**
(赤池弘次, 石黒真木夫)
Bayesian Seasonal Adjustment Program / ベイズ手法を用いて季節調整を行うプログラム。経済データに限らず任意の周期成分を含むデータの解析に使える。
- BDSC**
(柏木宣久)
Bayesian Detection of Structural Changes / ベイズ的方法により, 系列データにおける構造的変化を検知する。[1988年]
- BNDE**
(田辺國土, 寒河江雅彦, 上田澄江)
Bayesian Nonparametric Density Estimation / 1変量および2変量の確率密度関数の推定のためのプログラム。[1986年]
- BPPN**
(千野貞子)
物品管理 / 物品購入状況についての情報処理。[1977年]

CATDAP (坂元慶行, 桂 康一)	Categorical Data Analysis Program／特定のカテゴリカルな目的変数に対して最も有効な情報を持つ説明変数を探索する。[1980年]
CFHPRF (林知己夫, 林 文)	CFH・PARAFAC／PARAFACの林知己夫によるアルゴリズムのプログラム。3元のデータをあつかう。[1981年]
COMPAN (駒澤 勉, 北村秀子)	Principal Component Analysis／主成分分析と相関行列の対角要素を対角以外の行の最大要素で置き換えた因子分析の一つのモデル分析。[1970年]
CONREG (田口時夫, 岸野洋久, 山田晴美)	Concentrative Regression／ジニー係数や集中度等を多次元化することによって得られた集中解析のための諸ソフトウェア。多次元ジニー係数, 多次元平均差とともに, 集中線形相関係数, 多次元完全および不完全線形回帰係数, エンゲル弾力性係数等の諸統計量に関係する。[1981年]
CONTAX (大隅 昇, 日科技研)	Conversational Taxonomy System／対話型のクラスター分析手法, 多変量解析手法を含む統合化システム。簡易エディタを持ち, データ編集や実行ジョブの割り付けなどができる。[1984年]
CORRSPON (大隅 昇, 他)	Correspondence Analysis／対応分析法(数量化Ⅲ類)の一般型プログラムで, クロス表を含む各種のデータ表から実行可能という特徴がある。PC用, マッキントッシュ用がある。[1980, 1989年]
CSM18 (荒畑恵美子)	A Program Package for Drawing Graphs with an X-Y Plotter／グラフを描くために必要な基本的なものから時系列解析に適用したもの等。[1981年]
CSM19, CSM20 (平野勝臣, 久保木久孝, 安芸重雄, 栗林敦子)	XYプロッタを用いて, 種々の密度関数, 確率関数のグラフを描いたグラフ集(CSM19(連続型), CSM20(離散型))。それぞれの号に分布の特性量などの解説を載せ, 典型的なプログラムはCSM19に掲載。[1983, 1984年]
DALL (石黒真木夫, 赤池弘次)	Davidon's Algorithm for Log Likelihood Maximization／最尤法によるモデルあてはめのためのDavidon法による対数尤度最大化のプログラム。数値微分を行うので微係数計算のルーチンは不要。[1989年]

DSCRMN (駒澤 勉, 北村秀子)	Discriminated Analysis／説明変量が数量である場合の相関比を利用した判別分析。[1971年]
DTPI (柏木宣久)	Discrete Thin Plate Interpolation／離散薄板補間法により, 平面補間を実現する。[1987年]
DTPS (柏木宣久)	Discrete Thin Plate Smoothing／離散薄板平滑化法により, 2次元格子上のデータからトレンドを推定する。[1991年]
EDUCATE (千野貞子)	FORTTRAN Programmes in the Education of Statistics ／(1) Moments, (2) Distribution, (3) Correlation and Regression, (4) Sampling, (5) Quantification以上の各項目につき任意のパラメータ或はデータを与えて画面表示する教育用プログラム。[1984年]
EPCD (柏木宣久)	Estimating Percentiles of Conditional Distribution／順序統計量と平滑化条件により, 条件付き分布の百分位数を推定する。[1986年]
ESP (中村 隆)	Estimation of Sampling Precision／多段層別サンプリングの推定精度を計算する。[1980年]
FAD (土谷 隆)	Fast Automatic Differentiation／関数を計算グラフとして与えた時にそのJacobi行列やHesse行列等および関数値に含まれる丸め誤差を自動的に, 高速に計算するプログラム。[1986年]
GALTHY (赤池弘次, 荒畑恵美子)	A Probability Density Estimator／データの密度関数の推定。[1977年]
GRGNL2D (種村正美)	Graphical Statistics for General 2D Spatial Point Patterns ／所与の2次元点配置の空間構造を記述するグラフの統計量(動径分布関数, L -統計量, p -統計量など)を求め, グラフを出力するプログラム・パッケージ。[1981年]
IMAGEPR (種村正美, 金子 靖)	Image Processor／予め入力した画像をディスプレイ上で, メニュー方式で処理する。画像の合成, 拡大・縮小, 細線化・微分等のマスク処理, 寸法計測などが可能。[1985年]

KLTYPE (林知己夫, 林 文)	KL-type Quantification/ d_{ij} が要素 i, j 間の非親近性であるとき d_{ij} を $\sum K_s(x_{is} - x_{js})^2 + L$ で近似する。[1968年]
LEUKEM (田村義保)	急性白血病患者の薬効の推定のためのプログラム。[1986年]
LOGLIN (大隅 昇, 柳澤幸雄)	Log-linear Model Analysis/対数線形モデルによる分析を行うプログラム。クロス表の生成, クロス表からの分析など機能が多様。AICによるモデル選択が可能。総当たり法, 変数選択法を含めたモデル選択のオプションがある。PC用, マッキントッシュ用がある。[1979, 1989年]
LOGLIN/SPAD (大隅 昇, CISIA)	フランスのCISIAで開発された統合化統計システムであるSPAD (Système Portable pour l'Analyse des Données) の課題として編入された対数線形モデルのプログラム。SPADの他の機能, 課題と一体に利用できる。[1993年]
LSAR (北川源四郎)	Locally Stationary AR Modeling/局所定常ARモデルに基づいて時系列モデルの変化時点を精密に推定するためのプログラム (一変量, 多変量版がある)。[1993年]
MAQUM (駒澤 勉, 北村秀子)	Multidimension Analysis by Quantification Method/数量化理論第Ⅲ類を拡張した, 予測, 分類, 成分分析のための総合プログラム。[1986年]
MDAOR (林知己夫, 林 文, 他)	Minimum Dimension Analysis by Ordered Class Belonging/ D_{ij} が要素 i, j 間の非親近性の意味でランク付けされたクラスであらわされているとき, 要素間の距離でクラス分けを再現するような布置を求める。[1973年]
MDAUO (林知己夫, 林 文)	Minimum Dimension Analysis by Un-ordered Class Belonging/ D_{ij} が要素 i, j 間の関係をあらわすクラスであるとき (ランクオーダーがついていないクラス), そのクラス分けを再現する要素の布置を求める。[1975年]
MDPS (中村 隆)	My Own Data Processing System/個人的なプログラムパッケージ。基本統計量, クロス集計, データ編集, 回帰, 主成分, 数量化。

MDSA

(大隅 昇, 日科技研)

Multivariate Descriptive Statistical Analysis System／日科技研 (JUSE) との共同開発による多次元統計解析システム。データの特徴抽出 (データ・モニタリング), 主成分分析法, 対応分析法, 一般化重回帰分析法, 自動分類法 (非階層的分類法, ハイブリッド法) などを含む。副次的な機能 (データ一時除去・再配置, 同時布置, 対話的変数選択など) が豊富なことが特徴。DOS系の多くのPCで利用できる。[1990-1994年]

MINERVA

(大隅 昇, 他)

Mini-Package for Evaluating and Rating the Validity of Survey Data／社会調査データの基本集計, データ検証, プレイクダウン機能, クロス表解析 (対数線形モデルを含む) などを専用の簡易言語により利用できる統合化システム。[1980年]

MINTS-80/85

(大隅 昇)

Mini-Numerical Taxonomy System／クラスター分析の各種手法 (階層的分類法, 非階層的分類法, AID法など), 主成分分析法などを含む統合化システム。専用のコマンドを用いてジョブを指定できるという特徴がある。[1980, 1985年]

MISISM

(馬場康維, 田村義保, 国際航業)

Map Information System of ISM／統計数理研究所地図情報システム。都道府県別人口のように“エリア”に付随した情報と, 建物の位置のような点の情報を地図上で描くことができる。[1993年]

MLARIN

(田村義保)

多変量時系列データに自己回帰モデルを最小2乗法を用いてFITするためのプログラム。[1986年]

MNSPAN

(大隅 昇, CISIA)

Minimum Spanning Tree and Clustering／フランスのCISIAと共同開発の, 最小張り木 (MST) を利用してデータのクラスタリングを行うプログラム。比較的データ数が多い場合でも処理が可能という特徴がある。PC用, マッキントッシュ用がある。[1989年]

MOLPHY

(足立 淳, 長谷川政美)

Program Package for Molecular Phylogenetics／アミノ酸配列およびDNA配列データから最尤法により分子系統樹を推定するためのプログラム。UNIXワークステーション用 (C言語)。[1993年]

MONTE.CARLO.2D (種村正美)	Monte Carlo Simulation of 2D Gibbsian Point Patterns ／所与の相互作用ポテンシャル，外場の下での，一種または 多種の粒子系の二次元平衡配置を生成するプログラム・パッ ケージ。[1980年]
MULCRO (中村 隆)	Multiple Crosstabulation Program for Survey Data／調 査データの多重クロス集計を行うプログラム。継続調査の結 果を比較するのに便利のように工夫されている。
NLQNT (馬場康維)	グラフィカル非線形数量化Ⅰ類。
NOLLS1 (田辺國土，上田澄江)	Nonlinear Least Squares Method／非線形最小2乗法のプ ログラム（関数群の2乗和を最小にするパラメータの値を数 值的に求める）。[1981年]
NONSPA (田村義保)	Nonstationary Spectrum Analysis by Minimum ABIC Procedure (in TIMSAC-84)／非定常時系列データのスペク トルの時間変化を求めるベイズ型モデル。[1985年]
NONST (尾崎 統)	Nonstationary Power Spectral Analysis (in TIMSAC-74) ／非定常時系列を区分的に区切って各区分に定常自己回帰モ デルをあてはめていくプログラム。[1975年]
NORM (清水良一，湯浅もと子)	Normal Random Numbers／正規乱数の生成。ガンマ変数 の正規変数への変換。（いずれも正確なものと近似的なもの）。 [1976年]
NTAP (大隅 昇，他)	Numerical Techniques for Areal Partition／リモートセン シング画像データ，ランドサット・データなどの画像データ から地域分類を行うプログラム集合体。独自の分類法に加え て，判別分析法，ISODATA法などが含まれる。[1978年]
OUTLAP (北川源四郎，赤池弘次)	Outlier Analysis Program／ベイズ型モデルを用いて異常値 の検出（posterior probabilityの意味で），処理を行う。[1980 年]
PATCLAS (大隅 昇，電通)	Pattern Classification Program／SASプロシージャとして， 対応分析法（数量化Ⅲ類），多重クロス表の対応分析法 （Multiple correspondence analysis），クロス表のサブテーブ

ル，それらの変形など各種のデータ表の生成とその数量化を行う。SASの他の機能と連結して利用できる。[1981年]

PATTERN

(大隅 昇，他)

Pattern Classification Program／数量化Ⅲ類（対応分析法），多重クロス表の対応分析法，クロス表の切り出しとその数量化等の分析を簡易言語を用いて行う。[1982年]

POLYGN

(種村正美)

Voronoi Polygon Analysis／所与の二次元点配置に対して，平面をVoronoi多角形で効率良く分割する。[1975，1990年]

POLYGN.STAT

(種村正美)

Voronoi Polygon Statistics Package／所与の二次元点配置に対して，平面領域を分割するプログラムPOLYGNで得られたデータの基本統計量を取り，Voronoi および Delaunay ネットワークを作図する。[1975年]

POLYHD

(種村正美，小川 泰 (筑波大)，
荻田直史 (富士通))

Tessellation of Three-Dimensional Space by Voronoi Polyhedron／三次元空間に配置された点集合に対するVoronoi多面体を効率よく構成して，空間を分割する。[1974，1984年]

POLYHD.STAT

(種村正美)

Voronoi Polyhedron Statistical Package／3次元Voronoi多面体解析プログラムPOLYHDで得られた結果の基本統計量を作り，ヒストグラム，個々の多面体の図形の出力を行う。[1975，1984年]

PROFISS

(石黒真木夫)

Programming and Filing Support System／プログラム，データなどの磁気テープファイルとDISKファイルを統轄的に管理する機能を持ったシステム。もともと大型計算機用に開発したものであるが，UNIX版も作った。

QEIJK

(林知己夫，林 文)

e_{ijk} -type Quantification／3つの要素間の関係 e_{ijk} が非親近性であらわされているとき，平面上の3点のなす三角形の面積で e_{ijk} を再現するような要素の布置を求める。[1971年]

QNTV1

(馬場康維)

数量化Ⅰ類の星座グラフ表現。

QNTV1A

(馬場康維)

AICによる変数間の独立性のチェックルーチンを含む数量化Ⅰ類。

QUANT-MSDOS (駒澤 勉)	Quantification Analysis for MS-DOS／MS-DOS版パソコン数量化分析。[1988年]
QUANT1 (林知己夫, 駒澤 勉, 北村秀子)	Quantification Theory Type I／外的規準が数量である場合の数量化(予測, 要因的分析)。[1962年]
QUANT2 (林知己夫, 駒澤 勉, 北村秀子)	Quantification Theory Type II／外的規準が非数量である場合の数量化(判別, 予測のための分析)。[1962年]
QUANT3 (林知己夫, 駒澤 勉, 北村秀子)	Quantification Theory Type III／パターン分類のための数量化。[1962年]
RANK (BASIC版) (馬場康維)	順位データのグラフ解析。[1984年]
RANK (FROTRAN版) (馬場康維)	順位データのグラフ解析。[1985年]
RCON (石黒真木夫, ISAC)	Remote Consultation System／遠隔地にいる研究者との共同研究を支援するためのプログラム。ワークステーションの画面とキーボードを共有することによって, あたかもワークステーションの前で議論をしながら研究を進めるような感覚で情報交換が行える。声による意志疎通には電話を利用する。[1993年]
REGAN (駒澤 勉, 北村秀子)	Regression Analysis／回帰分析用のプログラム。[1970年]
REGRESS (北川源四郎)	Regression Models Fitting by MAICE Procedure／MAICE法により回帰モデルを同定する。(変数の採用順序が決まっている場合)。[1977年]
REGSCD (馬場康維)	Directional Dataの散布図と回帰直線を描く(ラインプリンタ) サブルーチンの集合。[1978年]
REMTERM (石黒真木夫, ISAC)	Remote Terminal Management System／遠隔ログイン管理システム。遠隔地にいる研究者と統計数理研究所のワークステーションの間のインターフェース。一般に公衆回線からのログインを許すと, 意図しないあるいは悪意のユーザの侵入経路となりえる。本システムは, ユーザ名およびパスワード

ドチェックや、あらかじめ登録された電話番号へのコールバックなどの方法により不法侵入者を回避する。

S-TIMSAC

(石黒真木夫, 田村義保, ISAC)

TIMSAC on S/TIMSACによるシステム解析をワークステーション上で対話的, グラフィカルに行えるようにしたプログラム。ARdockが組み込んである。線形システムの解析のために用いることができる。[1992年]

SANGD

(馬場康維)

Statistics of Angular Data/Directional Dataの解析用サブルーチンの集合。基本統計量の計算のためのもの。[1978年]

SNDE

(尾崎 統)

Stochastic Nonlinear Differential Equation Model (in TIMSAC-84) /局所線形化法により非線形確率微分方程式モデルをあてはめるプログラム。[1984年]

SORT1

(駒澤 勉, 北村秀子)

Sorting/カテゴリカルデータの集計用。[1960年]

SORT3

(駒澤 勉, 北村秀子)

Sorting/カテゴリカルデータの多重集計用。[1960年]

SSAPLR

(柏木宣久)

State Space Approach to Polygonal Line Regression/状態空間法により, 系列データから折れ線状のトレンドを推定し, 線形トレンドにおける構造的変化を検知する。[1993年]

SSCD

(柏木宣久)

Smoothing Serial Count Data/状態空間法により, 系列計数データからトレンドを推定し, 一様性の検定を行う。[1990年]

STABLE

(田村義保, 矢田誠司)

飛行機の翼の安定性を解析するためのプログラム。汎用的なバンドパス・フィルターのサブルーチンを含む。[1982年]

STATS

(北川源四郎)

State-Space Analysis of Time Series with Various Characteristics/非定常性, 非ガウス性, 非線形性, 欠測値, 異常値などの様々な特性を持つ時系列を状態空間モデルを用いて解析するためのプログラム集。(15本のプログラムからなる)。[1991年]

SUBREG (北川源四郎)	Subset Regression Analysis／回帰モデルのMAICE法による同定 (Subset regressionによる)。[1978年]
TERM98TN (中村 隆)	Terminal Program for HITAC／VOS3 TSS on NEC／PC-9800 Series／画面編集機能を持つパソコン用端末プログラム。[1984年]
TEST (駒澤 勉)	Testing Statistical Hypothesis／基本的な統計的仮説検定のPC用プログラム。[1984年]
TIMSAC-72 (赤池弘次, 荒畑恵美子)	A Time Series Analysis and Control Program Package／時系列解析に必要な基本的なものから, 多次元ARモデルによるシステム解析と最適制御系設計等のプログラムを含むパッケージ。[1971年]
TIMSAC-74 (赤池弘次, 荒畑恵美子, 尾崎 統)	A Time Series Analysis and Control Program Package 74／ARMAモデル, 局所定常ARモデル等による時系列解析のためのプログラム・パッケージ。[1975年]
TIMSAC-78 (赤池弘次, 北川源四郎, 荒畑恵美子, 多田富貴子)	A Time Series Analysis and Control Program Package 78／Householder法にもとづく最小2乗法や最尤法による時系列モデル推定のためのプログラム・パッケージ。[1979年]
TIMSAC-84 (赤池弘次, 尾崎 統, 石黒真木夫, 尾形良彦, 北川源四郎, 田村義保, 荒畑恵美子, 桂 康一, 田村良明)	A Time Series Analysis and Control Program Package 84／ベイズモデリングによる, 非定常モデル, 非線形モデル, 点過程モデル推定のためのプログラム・パッケージ。[1985年]
VAC&VACSUB (大竹和雄, 湯浅もと子)	個人用情報検索システム／研究者個人用に開発された情報検索システム。検索されるべきベースファイルとその更新はテキスト・エディタで行う。[1982年]
VARMOD (石黒真木夫)	Variance Analysis Model Fit Program／分散分析モデルをあてはめるプログラム。
VPOLYGON (種村正美)	Voronoi Polygon Package for Personal Computer／所与の二次元点配置に対して, 平面をVoronoi多角形で分割し, 結果をグラフィック・ディスプレイに表示, 解析に供する。PC-9800シリーズ用。[1985年]

11 旧参与，評議員，運営協議員等

()内は在任期間

(1) 旧参与

秋	月	康	夫	(昭24. 4~25. 3)
伊	藤	清		(昭24. 4~25. 3)
弥	永	昌	吉	(昭22. 8~24. 5)
岡	田	武	松	(昭20. 1~22. 6)
亀	山	直	人	(昭22. 8~24. 5)
角	谷	静	夫	(昭24. 4~25. 3)
河	田	龍	夫	(昭24. 4~25. 3)
河	田	敬	義	(昭24. 4~25. 3)
齋	藤	齐		(昭20. 1~24. 5)
佐	藤	良	一郎	(昭24. 4~25. 3)

清水	勤二	(昭22. 8~24. 5)
末綱	恕一	(昭20. 1~22. 5)
園	正造	(昭20. 1~22. 6)
藤原	松三郎	(昭20. 1~21.10)
丸山	儀四郎	(昭24. 4~25. 3)
森田	優三	(昭22. 9~24. 3)
山内	二郎	(昭20. 1~24. 5)
保科	善四郎	(昭20. 1~23. 1)
吉積	正雄	(昭20. 1~23. 1)

(2) 評議員

① 旧評議員

阿部裕	(昭58. 6～60. 3)
有澤 広巳	(昭24. 9～36.11)
弥永昌吉	(昭24. 9～42.11)
印東太郎	(昭50. 4～56. 5)
宇野利雄	(昭26.10～43.11)
小田原登志郎	(昭32.11～40. 2)
尾高邦雄	(昭47.12～52. 3)
大内兵衛	(昭24. 9～32. 8)
大石泰彦	(昭51. 6～60. 3)
岡部秀一	(昭42. 3～46.11)
鍵山 覚	(昭29. 9～32. 8)
片山一郎	(昭42. 6～44.11)
亀山直人	(昭24. 9～28. 8)
茅 誠司	(昭24. 9～29. 8)
	(昭31.12～35. 2)
河合三良	(昭44.11～60. 3)
河田龍夫	(昭29. 9～31. 8)
河田敬義	(昭29. 9～31. 8)
	(昭42.11～46. 2)
京極純一	(昭52. 5～60. 3)
久保亮五	(昭48.11～60. 3)
国澤清典	(昭47.12～60. 3)
黒田俊夫	(昭48.11～60. 3)

正	田	建次郎	(昭46.11~52. 3)
末	綱	恕 一	(昭24.10~33. 4)
杉	本	栄 一	(昭24. 9~27. 9)
田	宮	博	(昭33.12~49.11)
高	木	貞 二	(昭29. 9~47.11)
高	橋	秀 俊	(昭50. 4~60. 3)
館		稔	(昭43.12~47. 3)
千	葉	雄次郎	(昭32.11~48.11)
東	畑	精 一	(昭37.12~39.11)
中	川	友 長	(昭26.10~29. 8)
中	山	伊知郎	(昭36. 6~37.11)
野	田	章	(昭39. 4~44. 2)
菱	沼	從 伊	(昭50. 4~60. 3)
平	田	種 男	(昭51. 6~60. 3)
平	田	森 三	(昭28. 9~30. 8)
美濃部	亮 吉		(昭26. 2~34.11)
水	原	泰 介	(昭56. 6~60. 3)
安	井	琢 磨	(昭46.11~60. 3)
山	下	英 男	(昭33. 9~49.11)
山	本	正	(昭50. 4~56. 5)
山	内	二 郎	(昭24. 9~33.11)
			(昭39.12~49.11)
山	内	恭 彦	(昭32.11~48.11)

小 平 邦 彦 (昭46.11～60. 3)
 小 山 栄 三 (昭26.10～30.10)
 後 藤 正 夫 (昭34. 6～42. 5)
 近 藤 次 郎 (昭51. 6～60. 3)
 齋 藤 齊 (昭24.10～36. 1)
 佐 藤 良一郎 (昭26.10～29. 8)
 (昭31.11～52. 3)

森 口 繁 一 (昭29. 9～31. 8)
 森 田 優 三 (昭24. 9～50.11)
 吉 田 洋 一 (昭31.12～49.11)
 吉 田 耕 作 (昭32.11～50.11)
 和 達 清 夫 (昭28. 9～30. 8)

【改組轉換後】

阿 部 裕 (昭60.6～ 62.5)
 阿 部 正 和 (平元.6～ 5.5)
 朝 倉 孝 吉 (昭60.6～平 5.5)
 伊 藤 清 (昭60.6～ 62.5)
 石 原 智 男 (昭60.6～平 3.5)
 稲 田 獻 一 (昭60.6～平 5.5)
 小 田 琢 三 (昭60.6～平 5.5)
 河 合 三 良 (昭60.6～ 62.5)
 河 田 敬 義 (昭60.6～ 62.5)
 木 村 等 (昭62.6～平 3.5)

久 保 亮 五 (昭60.6～平 5.5)
 佐 藤 幹 夫 (昭62.6～平 5.5)
 島 田 信 夫 (昭60.6～ 62.5)
 鈴 木 勲 (平元.6～ 5.5)
 辻 村 明 (昭60.6～ 62.5)
 西 川 哲 治 (昭60.6～平元.5)
 辺 見 謙 三 (昭60.6～ 62.5)
 松 田 武 彦 (昭60.6～平 5.5)
 松 永 英 (昭60.6～平元.5)
 水 原 泰 介 (昭60.6～ 62.5)

② 現評議員

荒 木 不二洋 (平 5.6～)
 有 馬 朗 人 (平 5.6～)
 猪 瀬 博 (昭60.6～)
 岩 崎 俊 一 (平 5.6～)
 宇 澤 弘 文 (平 5.6～)
 大 崎 仁 (平 5.6～)
 奥 野 忠 一 (昭60.6～)
 兼 重 一 郎 (平 3.6～)
 京 極 純 一 (昭60.6～)
 小 泉 明 (平 5.6～)

古 在 由 秀 (平元.6～)
 近 藤 次 郎 (昭60.6～)
 佐 倉 尚 (昭62.6～)
 穴 戸 駿太郎 (平 5.6～)
 長 倉 三 郎 (昭60.6～)
 西 澤 潤 一 (平 3.6～)
 林 知己夫 (昭62.6～)
 飛 田 武 幸 (昭62.6～)
 三 隅 二不二 (昭62.6～)
 諸 井 虔 (平 5.6～)

(3) 運営協議員

① 旧運営協議員

[所外]

浅 野 長一郎 (昭60.6～ 62.5)
 有 本 卓 (平元.6～ 5.5)
 伊 藤 孝 一 (昭60.6～ 62.5)
 木 下 富 雄 (昭62.6～平 3.5)
 小 泉 明 (昭60.6～ 62.5)

菅 原 聰 (昭60.6～平元.5)
 田 口 友 康 (昭62.6～平 5.5)
 竹 内 啓 (昭62.6～平 3.5)
 藤 井 光 昭 (昭60.6～平元.5)
 三 隅 二不二 (昭60.6～ 62.5)

一 松 信 (昭60.6～ 62.5)
柴 田 碧 (昭60.6～平元.5)
渋谷 政 昭 (昭62.6～平 3.5)

[所内]

赤 池 弘 次 (昭60.6～ 62.5)
石 田 正 次 (昭60.6～ 62.5)
清 水 良 一 (昭60.6～平 6.3)
鈴 木 達 三 (昭60.6～平 5.5)

三 宅 一 郎 (昭60.6～平元.5)
村 田 昭 治 (昭60.6～ 62.5)
脇 本 和 昌 (昭62.6～平 3.5)

田 口 時 夫 (昭60.6～平 6.3)
林 知己夫 (昭60.6～ 62.5)
樋 口 伊佐夫 (昭60.6～ 62.5)
水 野 欽 司 (昭60.6～平 3.7)

② 現運営協議員

[所外]

甘 利 俊 一 (平 5.6～)
池 田 央 (平元.6～)
尾 池 和 夫 (平 3.6～)
加 地 紀臣男 (平 3.6～)
開 原 成 允 (昭62.6～)

[所内]

伊 藤 栄 明 (平 5.6～)
尾 崎 統 (昭62.6～)
大 隅 昇 (平 3.9～)
北 川 源四郎 (平 6.4～)
駒 澤 勉 (昭60.6～)
鈴 木 義一郎 (昭60.6～)

佐 和 隆 光 (平 3.6～)
杉 浦 成 昭 (平 3.6～)
杉 山 高 一 (平元.6～)
南 雲 秀次郎 (平元.6～)
美 添 泰 人 (平 5.6～)

田 辺 國 士 (昭60.6～)
長谷川 政 美 (昭62.6～)
平 野 勝 臣 (平 6.4～)
松 縄 規 (昭62.6～)
柳 本 武 美 (昭62.6～)

(4) 共同利用委員会委員

① 旧共同利用委員会委員

[所外]

安 達 元 明 (昭63.7～平 2.6)
有 本 卓 (昭60.7～ 62.6)
井 上 通 敏 (昭62.7～ 63.6)
石 黒 正 人 (平 3.7～ 5.6)
稲 垣 宣 生 (平 4.7～ 5.6)
臼 井 支 朗 (昭62.7～平元.6)
海 野 道 郎 (昭63.7～平 3.6)
小 倉 久 直 (平元.7～ 2.6)
小 柳 義 夫 (平 2.7～ 5.6)
岡 部 靖 憲 (平 3.7～ 4.6)
開 原 成 允 (昭60.7～ 62.6)
國 友 直 人 (昭62.7～平元.6)
久 保 泉 (昭60.7～ 63.6)

佐 藤 健 一 (昭63.7～平元.6)
佐 野 昭 (平 2.7～ 4.6)
佐 和 隆 光 (昭60.7～ 62.6)
柴 田 里 程 (昭62.7～平 2.6)
嶋 本 喬 (平 2.7～ 5.6)
田 栗 正 章 (平 2.7～ 4.6)
高 田 和 彦 (昭60.7～ 62.6)
竹 村 彰 通 (平元.7～ 2.6)
内 藤 勲 夫 (平 2.7～ 3.6)
直 井 優 (昭60.7～ 63.6)
深 尾 良 夫 (昭62.7～平 2.6)
水 田 正 弘 (平 4.7～ 5.6)
脇 本 和 昌 (昭60.7～ 62.6)

河 野 敬 雄 (平元.7～ 3.6)

[所内]

赤 池 弘 次 (昭60.7～ 61.6)

伊 藤 栄 明 (昭61.7～平 5.6)

石 黒 真木夫 (平元.7～ 4.6)

石 田 正 次 (昭60.7～ 61.6)

尾 形 良 彦 (昭61.7～平 4.6)

尾 崎 統 (昭60.7～ 61.6)

(昭63.7～平 3.6)

大 隅 昇 (平 3.7～ 5.6)

小 西 貞 則 (平 4.7～ 6.3)

坂 元 慶 行 (昭63.7～平 4.6)

清 水 良 一 (昭60.7～ 63.6)

鈴 木 達 三 (昭60.7～ 63.6)

田 口 時 夫 (昭61.7～平元.6)

松 縄 規 (昭60.7～ 61.6)

(昭63.7～平 5.6)

長谷川 政 美 (昭60.7～ 63.6)

馬 場 康 維 (昭62.7～平 3.6)

水 野 欽 司 (平元.7～ 3.6)

村 上 征 勝 (昭60.7～ 61.6)

柳 本 武 美 (昭61.7～平元.6)

② 現共同利用委員会委員

[所外]

小 野 雅 司 (平 4.7～)

大 津 皓 平 (平 5.7～)

大 橋 靖 雄 (平 5.7～)

小 林 信 一 (平 5.7～)

近 田 義 弘 (平 5.7～)

原 純 輔 (平 3.7～)

室 田 一 雄 (平 5.7～)

[所内]

尾 崎 統 (平 4.7～)

佐 藤 俊 哉 (平 4.7～)

種 村 正 美 (平 3.7～)

長谷川 政 美 (平 3.7～)

馬 場 康 維 (平 5.7～)

平 野 勝 臣 (平 5.7～)

村 上 征 勝 (平 5.7～)

吉 田 朋 広 (平 6.4～)

12 歴代所長等

(1) 所 長

掛 谷 宗 一 (兼 任)	昭19. 6. 5～ 21.10.11
掛 谷 宗 一	昭21.10.12～ 22. 1. 8
河 田 龍 夫 (事務取扱)	昭22. 1. 9～ 22. 5.16
末 綱 恕 一 (兼 任)	昭22. 5.17～ 23. 4. 9
北 川 敏 男 (事務取扱)	昭23. 4.10～ 24. 7.19
剣 木 亨 弘 (事務取扱)	昭24. 7.20～ 24.11.16
窪 田 忠 彦	昭24.11.17～ 27. 8.31
佐々木 達治郎	昭27. 9. 1～ 33. 3.31
	(昭31.10.18～ 34.10.17休職)
稲 田 清 助 (事務取扱)	昭31.10.18～ 31.11.21
緒 方 信 一 (事務取扱)	昭31.11.22～ 32. 5.15
松 下 嘉米男 (事務取扱)	昭32. 5.16～ 33. 3.31
末 綱 恕 一 (兼 任)	昭33. 4. 1～ 34. 3.30
末 綱 恕 一	昭34. 3.31～ 45. 8. 5
渋谷 敬 三 (事務取扱)	昭45. 8. 6～ 46. 2.28
河 田 敬 義 (兼 任)	昭46. 3. 1～ 49. 2.28
林 知己夫	昭49. 3. 1～ 61. 3.31
赤 池 弘 次	昭61. 4. 1～平 6. 3.31
清 水 良 一	平 6. 4. 1～

(2) 研究部長

第一研究部 (昭24.6.1～30.3.31研究第一部)

松 下 嘉米男 (職務命令)	昭22.12.15～ 24. 5.31
松 下 嘉米男	昭24. 6. 1～ 56. 3.31
清 水 良 一	昭56. 4. 1～ 60. 3.31

第二研究部 (昭24.6.1～30.3.31研究第二部)

小 川 潤治郎 (職務命令)	昭22.12.15～ 24. 5.31
菅 原 正 巳	昭24. 6. 1～ 27.11.30
佐々木 達治郎 (事務取扱・所長)	昭27.12. 1～ 30. 3.31
青 山 博次郎 (兼 任)	昭30. 4. 1～ 30. 9.14
林 知己夫	昭30. 9.15～ 49. 2.28
林 知己夫 (事務取扱・所長)	昭49. 3. 1～ 49. 7.31
樋 口 伊佐夫	昭49. 8. 1～ 60. 3.31

第三研究部（昭24.6.1～30.3.31研究第三部）

水 野 坦（職務命令）	昭22.12.15～ 24. 5.31
水 野 坦	昭24. 6. 1～ 26. 5.31
林 知己夫	昭26. 6. 1～ 30. 9.14
青 山 博次郎	昭30. 9.15～ 52. 3.31
林 知己夫（事務取扱・所長）	昭52. 4. 1～ 52. 5.31
藤 本 熙	昭52. 6. 1～ 59. 3.31
田 辺 國 士	昭59. 4. 1～ 60. 3.31

第四研究部

石 田 正 次	昭46. 4. 1～ 60. 3.31
---------	---------------------

第五研究部

赤 池 弘 次	昭48. 4.12～ 60. 3.31
---------	---------------------

第六研究部

鈴 木 達 三	昭50.10. 1～ 60. 3.31
---------	---------------------

(3) 養成所長

末 綱 恕 一（兼任・所長）	昭22.10. 8～ 23. 4. 9
北 川 敏 男（兼任・所長事務取扱）	昭23. 4.10～ 24. 7.19
剣 木 亨 弘（兼任・所長事務取扱）	昭24. 7.20～ 24.11.16
窪 田 忠 彦（兼任・所長）	昭24.11.17～ 27. 8.31
佐々木 達治郎（兼任・所長）	昭27. 9. 1～ 27.12.31
青 山 博次郎（兼 任）	昭28. 1. 1～ 30. 3.31
青 山 博次郎（兼任・第二研究部長）	昭30. 4. 1～ 30. 9.14
青 山 博次郎（兼任・第三研究部長）	昭30. 9.15～ 35. 3.31
菅 原 正 巳	昭35. 4. 1～ 39. 9.30
末 綱 恕 一（兼任・所長）	昭39.10. 1～ 41. 2.28
西 平 重 喜	昭41. 3. 1～ 58. 3.31
鈴 木 達 三（事務取扱・第六研究部長）	昭58. 4. 1～ 59. 3.31
鈴 木 義一郎	昭59. 4. 1～ 60. 3.31

(4) 企画調整主幹（併任）

清 水 良 一	平 5. 4. 1～ 6. 3.31
駒 澤 勉	平 6. 4. 1～

(5) 研究主幹・センター長（併任）

統計基礎研究系

樋 口 伊佐夫	昭60. 4. 1～ 61. 3.31
---------	---------------------

清 水 良 一
松 縄 規

昭61. 4. 1～平 5. 3.31
平 5. 4. 1～

調査実験解析研究系

石 田 正 次
田 口 時 夫
大 隅 昇

昭60. 4. 1～ 62. 3.31
昭62. 4. 1～平 6. 3.31
平 6. 4. 1～

予測制御研究系

赤 池 弘 次
田 辺 國 士 (事務取扱)
田 辺 國 士
尾 崎 統

昭60. 4. 1～ 61. 3.31
昭61. 4. 1～ 61. 6.30
昭61. 7. 1～平 6. 3.31
平 6. 4. 1～

領域統計研究系

鈴 木 達 三
柳 本 武 美

昭60. 4. 1～平 5. 3.31
平 5. 4. 1～

統計データ解析センター長

田 辺 國 士
駒 澤 勉
北 川 源四郎

昭60. 4. 1～ 61. 6.30
昭61. 7. 1～平 6. 3.31
平 6. 4. 1～

統計教育・情報センター長

鈴 木 義一郎
長谷川 政 美

昭60. 4. 1～平 6. 3.31
平 6. 4. 1～

(6) 技術課長

駒 澤 勉 (併任)
水 野 欽 司 (併任)
大 隅 昇 (併任)
平 野 勝 臣 (併任)

昭60. 4. 1～ 61. 6.30
昭61. 7. 1～平 3. 6.30
平 3. 7. 1～平 6. 3.31
平 6. 4. 1～

13 名譽所員・名譽教授

(1) 名譽所員

青 山 博次郎

松 下 嘉米男

西 平 重 喜

藤 本 熙

(2) 名譽教授

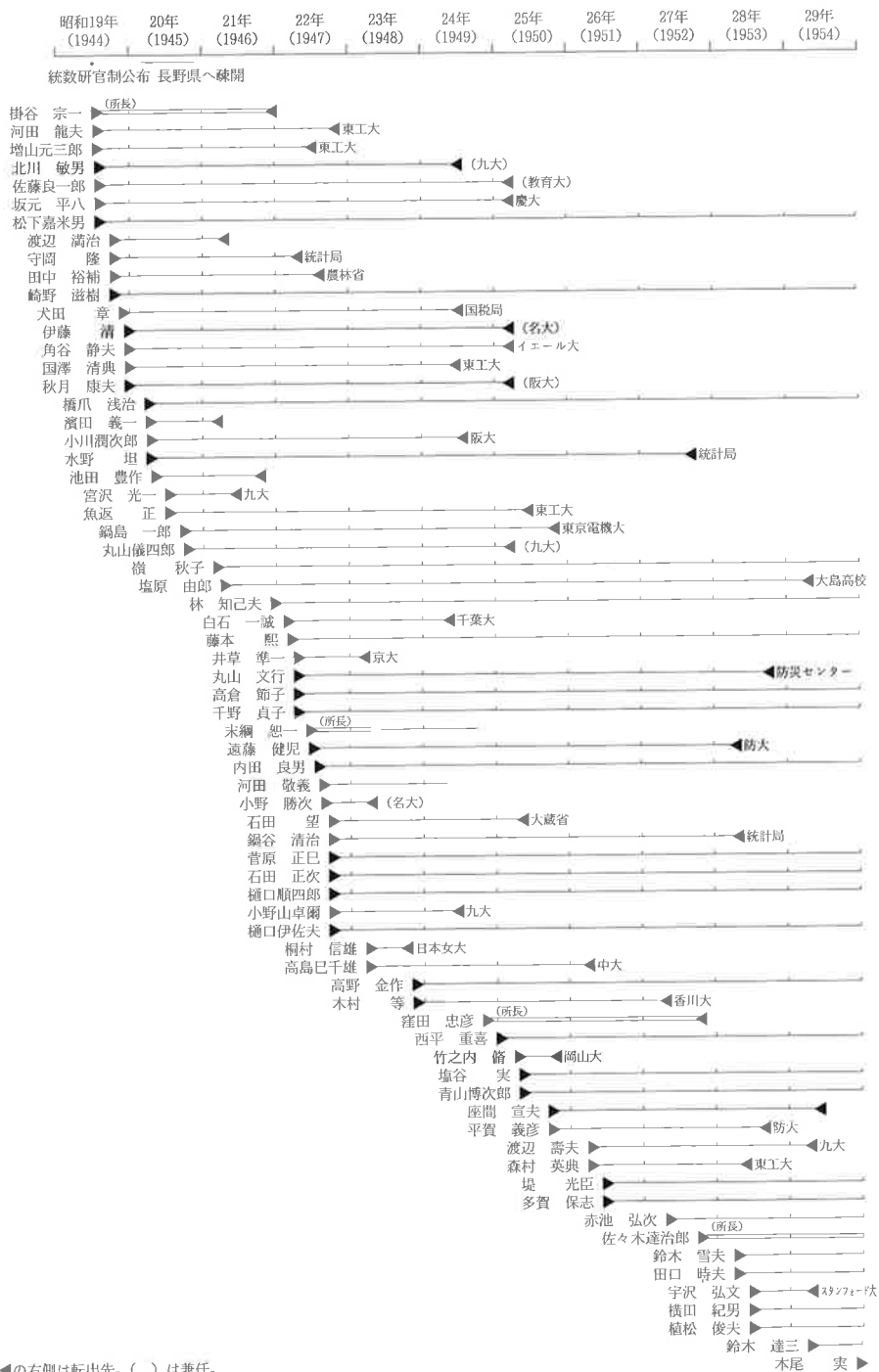
林 知己夫

樋 口 伊佐夫

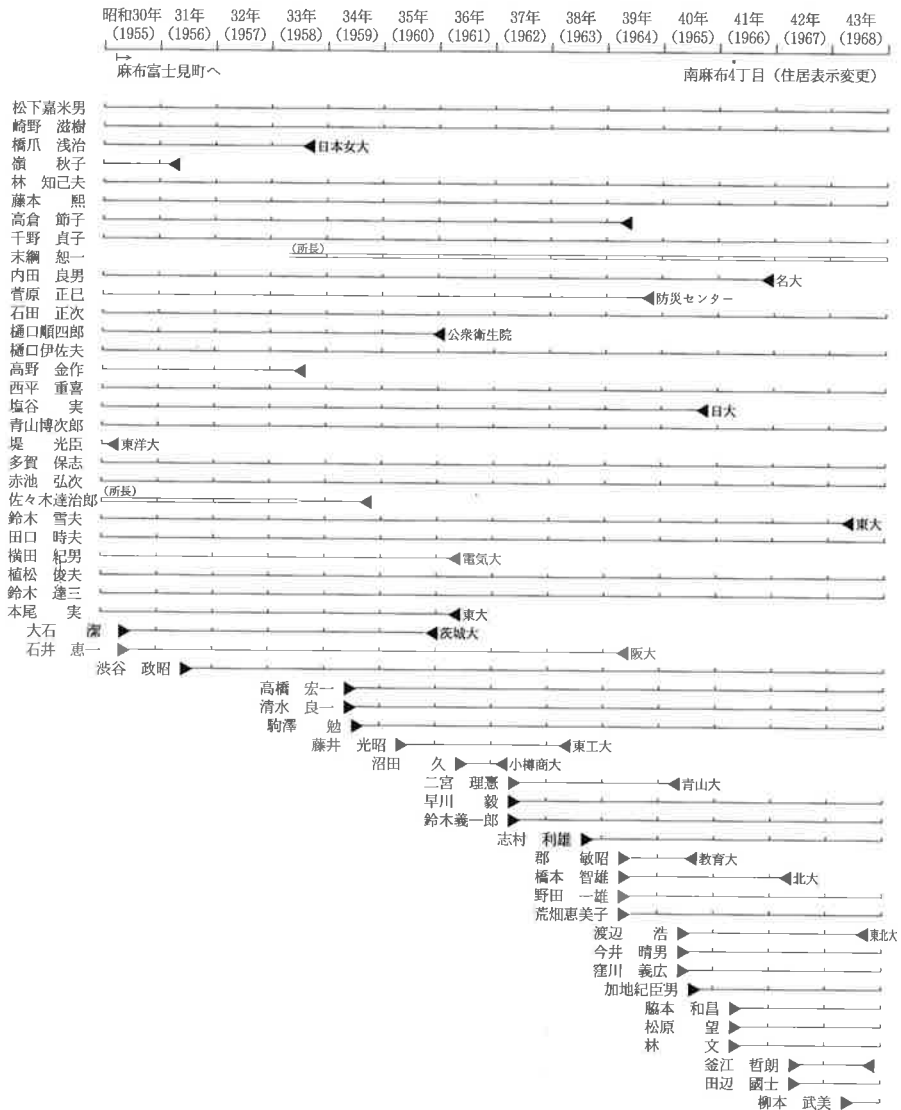
鈴 木 達 三

14 歴代研究員・教官

(昭和19 (1944) 年～昭和29 (1954) 年)



(昭和30 (1955) 年～昭和43 (1968) 年)



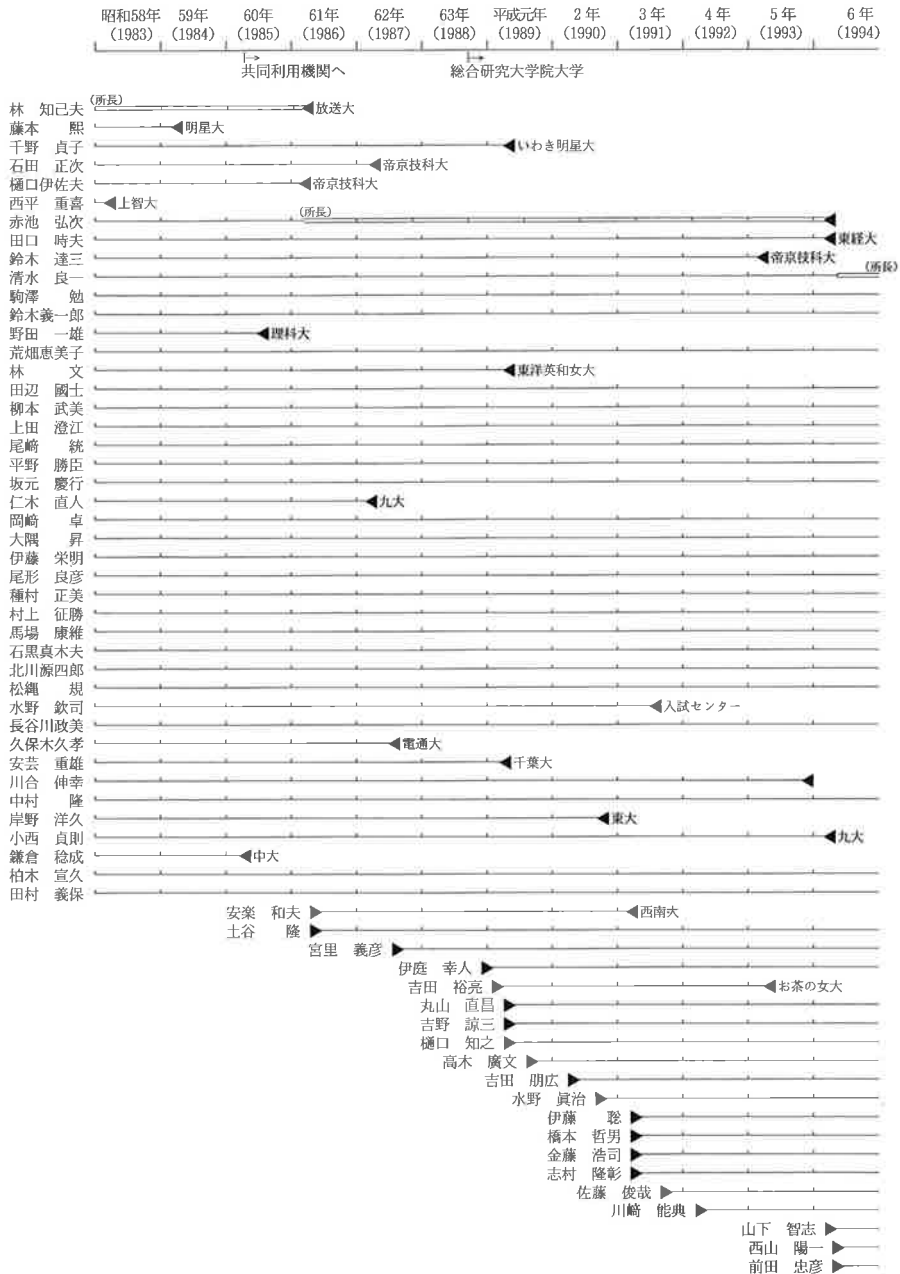
◀の右側は転出先。

(昭和44 (1969) 年～昭和57 (1982) 年)



◀の右側は転出先。

(昭和58 (1983) 年～平成6 (1994) 年)



◀の右側は転出先。

15 元 職 員

(五十音順)

氏 名

最終所属等

(在任期間)

あ

相 場 螢 子	雇	昭 21. 5.20 ~ 23. 3.31
赤 秀 品 枝	研 究 補 助 員	昭 42. 1. 1 ~ 44.12.31
浅 見 勝 実	庶 務 課	昭 31.10. 1 ~ 32. 3.31
浅 見 豊 治	雇	昭 19. 9.18 ~ 20. 9.30
鯉 坂 緑	雇	昭 20. 3.30 ~ 不 明
阿 部 脊	庶 務 課 長	平 元. 4. 1 ~ 2.12. 1
雨 宮 多賀子	研 究 補 助 員	昭 38. 4. 1 ~ 41. 3.31
新 井 志津江	技 術 雇	昭 26. 6.11 ~ 27. 2.15
荒 井 孝	庶 務 課 長	昭 53. 4. 1 ~ 57. 3.31
新 井 恒 夫	雇	昭 22. 2.10 ~ 22. 2.23
有 浦 郁 子	研 究 補 助 員	昭 37. 4. 1 ~ 40. 3.31

い

飯 田 登代子	庶 務 課	昭 26. 4. 2 ~ 26. 8.31
飯 塚 太美雄	会 計 課	昭 39. 8.31 ~ 45. 3.31
飯 塚 道 子	研 究 補 助 員	昭 43. 4. 1 ~ 47. 3.31
飯 沼 健 司	技 術 雇	昭 24. 5.31 ~ 28. 9. 1
池 田 温 子	研 究 補 助 員	昭 41. 4. 1 ~ 49. 4.18
池 田 近	庶 務 課 長	昭 22. 8.31 ~ 26. 9.30
池 田 ス イ	雇	昭 21. 3.15 ~ 22. 8.31
池 田 威 人	庶 務 部 長	昭 42. 9.21 ~ 45. 3.31
石 井 富 江	研 究 補 助 員	昭 27. 4. 1 ~ 39. 9.15
石 井 芳 子	技 術 雇	昭 26. 6.11 ~ 28. 6.30
石 川 温 子	研 究 補 助 員	昭 27. 4.16 ~ 33. 4. 5
石 川 恭 子	雇	昭 24. 7.31 ~ 26. 3. 5
石 川 弘 美	会 計 課	昭 48. 9. 1 ~ 49. 3.31
石 澤 鑛 吉	会 計 課	昭 24.11.18 ~ 25. 4.30
石 田 望	雇	昭 22.10. 1 ~ 25. 5.15
石 原 きよ江	雇	昭 20. 9.25 ~ 20.12.31
泉 田 俊 男	庶 務 課 長	昭 48. 4. 1 ~ 53. 3.31
井 田 喜美子	雇	昭 19.11.30 ~ 不 明
市 川 一 郎	管 理 部 長	昭 62.10. 1 ~ 平 元.11.30

市川悦朗	会計課	昭 26. 6.11 ~ 35. 6.30
伊藤愛子	会計課	昭 38. 4. 1 ~ 42. 3.31
伊藤清子	技術雇	昭 20. 3.31 ~ 20.10.31
伊藤さゆり	技術課	平 3. 1. 1 ~ 5. 2.28
伊藤黎子	研究補助員	昭 51. 4. 1 ~ 53. 4.10
乾たまえ	雇	昭 26. 9. 1 ~ 30. 4.20
井上久仁子	研究補助員	昭 25. 5.15 ~ 36.12.31
井上みよ子	研究補助員	昭 36. 4. 1 ~ 37.12.31
猪瀬太郎	雇	昭 19. 8.31 ~ 不明
今井文子	雇	昭 19. 9.30 ~ 不明
今村和子	庶務部	昭 28. 3. 1 ~ 32. 6.15
岩佐裕子	研究補助員	昭 46. 4. 1 ~ 50. 1.13
岩瀬祥子	研究補助員	昭 48. 4. 1 ~ 49. 3.31
岩鶴美恵子	技術雇	昭 27. 4. 1 ~ 28. 6.15

う

植島綾子	庶務課	昭 41. 2. 1 ~ 57. 3.31
植田恒三郎	事務官	昭 25.11.24 ~ 26. 6.30
宇賀田洋子	雇	昭 25. 4. 1 ~ 28. 5.31
内田文子	技術雇	昭 22. 3.31 ~ 24. 8.31
内田眞雄	総務係長	昭 22. 2.10 ~ 54. 4. 1
内野節子	研究補助員	昭 40. 4. 1 ~ 44. 3.31
内山恵子	庶務課	昭 27. 9. 1 ~ 41. 2. 1
内山三郎	会計課	昭 26. 6.11 ~ 41. 1.31
内山日出男	会計課長	昭 59. 4. 1 ~ 60. 3.31
梅枝干城	会計課長	昭 60. 4. 1 ~ 61. 7. 9
鵜沼浜子	研究補助員	昭 26. 4. 1 ~ 37. 4.15

え

江上利雄	庶務課	昭 28.10. 1 ~ 30. 9.30
江原徳三	会計課長	平 元. 4. 1 ~ 4. 3.31
遠藤一夫	養成所事務長	昭 22. 3.31 ~ 59. 9.30
遠藤健児	文部技官	昭 22. 5.31 ~ 28. 4.30
遠藤健三	庶務課	昭 61. 4. 1 ~ 平 5. 3.31

お

大石典子	研究補助員	昭 40. 8.19 ~ 43. 3.31
------	-------	-----------------------

大久保 道 子
大久保 八 八
大 澤 政 子
大 島 頼 年
太田原 武
大 塚 久 夫
大 場 正 夫
大 平 和 子
大 森 信 子
岡 田 泰 子
岡 部 健 一
岡 本 紘 子
岡 本 律 平
小 川 正 明
荻 原 隆 治
尾 崎 睿 子
小 沢 勝
小 澤 優
小 田 元 子
乙 訓 寛 仁
小 野 眞 海
小山田 和 枝

研 究 補 助 員
庶務課課長補佐
雇
庶 務 課
会計課課長補佐
管 理 部 長
養成所事務長
技 術 雇
技 術 雇
技 術 雇
庶務課課長補佐
研 究 補 助 員
庶 務 部 長
会 計 課
庶 務 係 長
研 究 補 助 員
研 究 補 助 員
会 計 課 長
研 究 補 助 員
会 計 課 長
庶 務 係 長
技 術 課

昭 45. 1. 1 ~ 49. 1.31
昭 28. 5. 1 ~ 6. 3.31
昭 25. 4.10 ~ 26. 3.31
昭 25. 6. 5 ~ 25. 8.28
平 元. 4. 1 ~ 4. 2.29
平 元.12. 1 ~ 4. 3.31
昭 24.10. 5 ~ 56. 4. 1
昭 22. 3.31 ~ 24. 2.10
昭 21. 4. 1 ~ 24. 1.17
昭 25. 6.26 ~ 26. 2.28
昭 60. 4. 1 ~ 63. 3.31
昭 39. 4. 1 ~ 41. 3.31
昭 40. 4. 1 ~ 41. 3.31
昭 49. 4. 1 ~ 54. 3.31
平 元. 4. 1 ~ 4. 3.31
昭 27. 4. 1 ~ 40. 3.31
昭 32. 6. 1 ~ 34. 3.31
昭 26.12.26 ~ 29.11.22
昭 38. 4. 1 ~ 40. 3.31
昭 43. 4. 1 ~ 47. 3.31
昭 26. 5.16 ~ 28. 9.15
昭 51. 4. 1 ~ 61. 4.10

か

垣 屋 江里子
片 海 ひろ子
勝 山 ヨシ子
金 沢 弘 雄
金 子 和 弥
金 子 千 春
金 子 弥榮子
金 子 弥太郎
金 原 文 彦
金 本 明 子
釜 范 節 子
神 谷 ふ よ
川 上 尚 子
川 崎 直 哉

研 究 補 助 員
会 計 課
研 究 補 助 員
嘱 託
研究協力係長
雇
雇
嘱 託
会 計 課
研 究 補 助 員
研 究 補 助 員
庶 務 課
研 究 補 助 員
嘱 託

昭 49. 4. 1 ~ 58. 5. 6
不 明 ~ 26. 5. 4
昭 26. 4. 1 ~ 39. 9.30
昭 19.10.15 ~ 22. 7.31
平 4. 4. 1 ~ 6. 3.31
昭 20. 1.31 ~ 20. 9.30
昭 21. 3.15 ~ 21. 8.22
昭 20. 8.15 ~ 20.11.15
昭 40. 4. 1 ~ 45. 3.31
昭 54. 7. 1 ~ 58. 5.18
昭 46. 8. 1 ~ 47. 1.31
昭 22. 9. 9 ~ 50. 4. 1
昭 35. 4. 1 ~ 36.10.31
昭 22. 9.18 ~ 22.10.31

き

菊池由美子	研究補助員	昭 49. 4. 1 ~	55. 4. 1
北浦静彦	庶務部長	昭 26.10. 1 ~	29. 9. 3
北爪富美子	研究補助員	昭 44. 4. 1 ~	44.12.31
北根幸道	会計課課長補佐	昭 56. 4. 1 ~	60. 3.31
北村秀敏	会計課	昭 26. 4. 1 ~	28. 6.15
木村健司	会計課	昭 39. 4. 1 ~	39. 8.30

く

草野美恵子	研究補助員	昭 29. 3.24 ~	32. 3.31
久世行雄	庶務係長	昭 28.11. 1 ~	29. 9.15
久保島慶子	庶務課雇	昭 27. 3. 1 ~	28. 4.30
久保田晃	庶務課課長補佐	昭 35. 3.10 ~	39. 9.30
倉岡堯昌	会計主任	昭 20. 6.10 ~	21. 1.15
倉林敬	研究協力係長	昭 57. 5. 1 ~	平 3. 3.31
栗田定男	庶務課	昭 41. 2. 1 ~	42.10.11
栗原義雄	会計課雇	昭 22. 3. 7 ~	不明
黒岩洋子	技術雇員	昭 22. 9.30 ~	27. 3.31
黒川昌勇	庶務課	昭 24. 3.10 ~	28. 4. 6
桑田博	雇	昭 19.10.15 ~	不明
桑原道子	雇	昭 19. 9.30 ~	不明

こ

小池篤史	庶務課長	昭 62. 4. 1 ~	平元. 3.31
小市きよ	雇	昭 20. 3.30 ~	不明
高金地	技術雇	昭 22. 4. ~	25.12.28
越谷和子	研究補助員	昭 26. 6.11 ~	34.12.31
小篠妙子	雇	昭 20. 3.30 ~	不明
小杉雄二	庶務課課長補佐	平 2. 4. 1 ~	4. 5.31
小林章子	技術雇	昭 20. 3.31 ~	20.10.31
小間道博	庶務課	昭 43. 7. 8 ~	45.12.31
駒澤淳江	会計課	昭 34. 3. 1 ~	38.12.31
近藤延太郎	嘱託	昭 19.12.31 ~	20.10.15
近藤淑子	技術雇	昭 28. 6. 1 ~	29. 3.31
今野浩	会計課	昭 37. 3.23 ~	48. 5.15
金野衣子	庶務課	昭 21. 6. 5 ~	25. 3.31
郷古輝子	研究補助員	昭 36. 4.13 ~	39. 4.30

後藤 岑 夫
五味 津賀吉

会計課長
庶務課

昭 61. 7. 1 ~ 平元. 3.31
昭 22. 2.27 ~ 22. 8.31

さ

斉藤 敏子
斎藤 伸子
坂本 久実子
坂本 静子
桜井 勝三
桜井 晴美
佐藤 清
佐藤 敬子
佐藤 文子
佐藤 祐子
佐藤 洋子
猿渡 敏子

庶務課
研究補助員
研究補助員
研究補助員
庶務部長
技術課
会計課
研究補助員
研究補助員
研究補助員
技術雇

昭 27. 4.21 ~ 29. 2.15
昭 43. 3.16 ~ 45. 3.31
昭 37. 1. 1 ~ 37.11.20
昭 38. 4. 1 ~ 39. 3.31
昭 38. 4. 1 ~ 40. 3.31
昭 57. 4. 1 ~ 平 2. 6. 1
昭 37. 7.16 ~ 39. 2.29
昭 38. 4. 1 ~ 40. 3.31
昭 53. 6.16 ~ 58. 3. 1
昭 43. 4. 1 ~ 48. 1.31
昭 32. 4. 1 ~ 33.12.31
昭 22. 7.31 ~ 24. 5.25

し

塩生 コト
篠崎 八重子
篠原 祐子
篠本 弘子
渋谷 晃
島田 武彦
清水 正之
下田 イチ子
白石 一誠
進藤 玲子

技術雇
研究補助員
研究補助員
庶務課
庶務課
庶務課長
雇
雇
総務主任
研究補助員

昭 22. 3.31 ~ 27. 4.29
昭 28. 7.16 ~ 38.12.31
昭 40. 4. 1 ~ 41. 3.31
昭 23. 4.30 ~ 26. 2.28
昭 25. 1.15 ~ 26.12. 4
昭 37. 4. 1 ~ 44. 3.31
昭 25. 5. 4 ~ 25. 6. 7
昭 21. . ~ 21. 5.13
昭 22. 1.10 ~ 24. 5.31
昭 33. 4. 7 ~ 35. 3.31

す

末木 典子
杉浦 正光
杉山 文子
鈴木 沙代子
鈴木 幸
須藤 慧子

技術雇
会計課課長補佐
研究補助員
研究補助員
雇
研究補助員

昭 20. 6.30 ~ 20.11.30
昭 25.10. 4 ~ 54. 4. 1
昭 41. 7. 1 ~ 46. 7.31
昭 43. 4. 1 ~ 48. 4.30
昭 20. 4.30 ~ 不明
昭 38. 4. 1 ~ 39. 9.30

せ

瀬川正己	管理部長	昭 60. 4. 1 ~	62. 9.30
関谷孝	人事係長	平 元. 5.29 ~	4. 3.31
瀬戸衣子	研究補助員	昭 32. 4. 1 ~	40. 8.31

そ

曽我寿子	会計課	昭 46. 9. 6 ~	50. 6.10
袖崎淑子	研究補助員	昭 34. 4. 1 ~	37.12.31
染谷三郎	会計課長	昭 47. 4. 1 ~	51. 3.15

た

高島巳千雄	雇	昭 23. . ~	26. 4.16
高瀬喜太郎	庶務課	昭 27. 1.16 ~	27. 2.15
高瀬洋四郎	庶務部長	昭 49. 4.16 ~	51. 6. 1
高橋耕貴	技官	昭 38. 4. 1 ~	45. 2. 1
高橋力	庶務部長	昭 45. 4. 1 ~	49. 3.31
高橋昌江	技術雇	昭 20. 7.31 ~	21. 3.31
高橋裕子	研究補助員	昭 40. 4. 1 ~	43. 7.31
高橋淑子	研究補助員	昭 51. 4. 1 ~	56.11. 6
多賀三千代	研究補助員	昭 22. 2.15 ~	51. 3.31
田熊英子	研究補助員	昭 35. 4. 1 ~	37.12.20
田熊雅子	技術雇	昭 22. 2.15 ~	31. 5.31
田口玄一	技術雇	不明 ~	25.11.15
竹内松雄	会計課	昭 23. 1.15 ~	23.10.26
竹村三和子	会計課	昭 54. 4. 1 ~	平 2. 9.30
田中勇	会計課課長補佐	昭 60. 4. 1 ~	62. 3.31
田中シズ江	雇	昭 22. 3.31 ~	不明
田中政人	雇	昭 20. 6. 6 ~	22. .
谷内利一	庶務課	昭 42.11. 1 ~	43. 6.10
谷口富士子	研究補助員	昭 29. 3.31 ~	34. 2.28
田村智子	技術雇	昭 21. 9.20 ~	22. 1.25
田村武史	会計課	平 2. 4. 1 ~	6. 3.31

つ

土屋徹郎	養成所事務長	昭 22.10.31 ~	29. 4.30
角田静江	雇	昭 19. 8.31 ~	不明

釣 谷 純 子	研 究 補 助 員	昭 25. 5.15 ~ 36. 2.15
津 脇 功	庶務課課長補佐	昭 63. 4. 1 ~ 平 2. 3.31

て

寺 木 良 子	研 究 補 助 員	昭 49. 5. 1 ~ 54. 6. 5
寺 崎 公 子	研 究 補 助 員	昭 32. 4. 1 ~ 36. 3.31
寺 島 美知代	研 究 補 助 員	昭 48. 5.16 ~ 50.11.10

と

東 条 早 苗	研 究 補 助 員	昭 39. 4. 1 ~ 40. 8.18
十 倉 淳 子	研 究 補 助 員	昭 44. 4. 1 ~ 46. 3.31

な

内 藤 孝 子	研 究 補 助 員	昭 35. 4. 1 ~ 42. 3.31
中 川 か よ	作 業 員	昭 22.12.10 ~ 22.12.31
中 川 学	研 究 補 助 員	昭 39. 5. 1 ~ 39. 8.31
中 沢 君 子	雇	昭 19. 7.26 ~ 不 明
中 島 章	会 計 主 任	昭 20.10.15 ~ 22. 9. 5
中 島 かおる	事 務 雇	昭 19. 8. 8 ~ 不 明
中 嶋 俊 雄	庶 務 主 任	昭 19. 7.25 ~ 22. 8. 1
中 島 綾 子	研 究 補 助 員	昭 30. 1. 1 ~ 32. 3.31
中 谷 千 蔵	庶 務 部 長	昭 36. 4. 1 ~ 38. 3.31
中 野 吟二郎	庶 務 課	昭 33. 2.17 ~ 54. 4. 1
中 村 治 子	技 術 雇	昭 25. 5.19 ~ 26. 9.15
中 村 秀 子	技術第二係長	昭 47. 1. 1 ~ 平 4. 3.31
中 村 廣 子	事 務 雇	昭 25. 3. 9 ~ 27. 7.30
中 本 宏	会 計 課 長	昭 57. 9. 1 ~ 59. 3.31
成 井 和 男	出 納 係 長	平 2. 4. 1 ~ 5. 3.31
永 井 義 美	会 計 課	昭 54. 4. 1 ~ 56. 4.30
長 坂 和 子	研 究 補 助 員	昭 46. 4. 1 ~ 55. 4. 1
永 原 慰 子	研 究 補 助 員	昭 43. 8. 1 ~ 44. 3.31
行 田 襄	庶 務 部 長	昭 24. 8.15 ~ 25. 4.30

に

西鳥羽 一 子	研 究 補 助 員	昭 33. 4. 7 ~ 35. 9.30
西 野 喜久子	会 計 課	昭 19. 9.30 ~ 24. 4. 8

ね

根 本 浩 三

出 納 主 任

昭 56. 4. 1 ~ 平 5. 3.31

の

野 上 佳 子

研 究 補 助 員

昭 41. 4. 1 ~ 44. 3.31

野 口 直 子

技 術 課

昭 63. 4. 1 ~ 平 5. 3.31

能 城 昌 子

研 究 補 助 員

昭 28. 9. 7 ~ 49.12.31

野 村 清 子

技 術 雇

昭 23. 6.30 ~ 23.10.31

は

長谷川 寛

会 計 課 長

昭 54. 4. 1 ~ 57. 8.31

畑 和 子

庶 務 課

昭 39. 3.16 ~ 50. 3.31

浜 田 純 子

研 究 補 助 員

昭 41. 4. 1 ~ 42. 3.31

浜 田 展 子

技 術 雇

昭 28. 1. 5 ~ 28. 6.30

林 清 子

研 究 補 助 員

昭 48. 4. 1 ~ 49. 3.31

林 功 二

雇

昭 22. 3.31 ~ 23. 4.30

林 辰四利

雇

昭 20.10. 2 ~ 20.11.30

林 美 郷

出 納 係 長

昭 62. 4. 1 ~ 平 2. 3.31

原 田 明

雇

昭 22. 3.31 ~ 22. 6.30

番 原 秀三郎

会 計 課 長

昭 29.11.22 ~ 34. 3.31

ひ

引 間 フジ子

雇

昭 19. 9.30 ~ 不 明

菱 山 美知子

研 究 補 助 員

昭 29. 5. 1 ~ 32. 1.31

日 水 俊 夫

研 究 補 助 員

昭 39. 4. 1 ~ 41. 3.31

兵 藤 勇 一

庶 務 課 長

昭 44. 4. 1 ~ 48. 4. 1

平 石 すみ子

研 究 補 助 員

昭 40. 4. 1 ~ 43. 3.15

平 木 典 子

研 究 補 助 員

昭 34. 4. 1 ~ 35. 3.31

ふ

福 沢 恭 純

庶 務 課 長

昭 29. 7. 1 ~ 30.10.17

福 島 和 子

技 術 雇

昭 23. 4.15 ~ 不 明

福 田 律 子

研 究 補 助 員

昭 55. 4. 1 ~ 55. 9.15

藤 井 寿美子

庶 務 部

昭 27. 9. 2 ~ 28. 2.28

藤 井 裕 子

技 術 雇

昭 20. 3.30 ~ 21. 4. 8

藤崎洋子	研究補助員	昭 39.12. 1 ~ 40. 7.31
藤本和子	研究補助員	昭 24. 9.20 ~ 41. 3.31
藤原長司	研究補助員	昭 23.12.31 ~ 34. 3.31

ほ

細谷亮子	研究補助員	昭 40. 4. 1 ~ 42. 3.31
本田多美子	雇	昭 20. 3.30 ~ 不明
本田弥生	研究補助員	昭 44. 4. 1 ~ 48. 3.31

ま

牧田辰男	雇	昭 19. 8.22 ~ 不明
増田末太郎	庶務部長	昭 41. 4. 1 ~ 42. 9.20
松倉郁夫	技術職員	昭 44. 4. 1 ~ 50. 3. 2
松坂弘	庶務課長	昭 57. 4. 1 ~ 62. 3.31
松永鶴博	会計課	昭 62. 1.16 ~ 平 2. 3.31
松原源吉	庶務課	昭 26. 5.21 ~ 34. 7.31
松村美子	技術雇	昭 28. 7. 1 ~ 28. 7.15
松本和子	研究補助員	昭 42. 4. 1 ~ 43. 3.31
丸山明	会計課	昭 54. 4. 1 ~ 60. 8.31
丸山愛子	研究補助員	昭 28. 6. 1 ~ 41. 6.30
丸山一弥	会計課課長補佐	昭 50. 4. 1 ~ 平 元. 3.31
丸山登	庶務課長	昭 30.12.28 ~ 37. 3.31

み

水谷マサ子	会計課	昭 26. 4.16 ~ 27. 3.31
水野喜四郎	庶務課	昭 34.11. 4 ~ 62. 3.31
三戸梅代	研究補助員	昭 40. 4. 1 ~ 43. 3.31
蓑輪三郎	会計課	昭 27. 3. 8 ~ 60. 3.31
三宅亮三	雇	昭 22. 3. 1 ~ 22. 4.30
宮崎久敬	会計課長	昭 51. 4. 1 ~ 54. 3.31
宮田教子	研究補助員	昭 35.10. 1 ~ 38. 7.31
宮良哲男	研究補助員	昭 38.10.14 ~ 39. 3.31
三好清勝	庶務課	昭 32. 7. 1 ~ 35. 3.10
三好嘉江	研究補助員	昭 20. 3.30 ~ 51. 4. 1

む

村岡充子	技術 雇	昭 21. 4.15 ~ 29. 1.31
村田タカエ	庶務 課	昭 23. 4.12 ~ 33. 8.31

も

望月登志子	研究補助員	昭 41. 4. 1 ~ 44. 3.31
茂手木勝巳	雇	昭 21. 3.15 ~ 21. 3.26
森茜	庶務課長	平 2.12. 1 ~ 5. 6.30
森次郎	会計課長	昭 49. 3.16 ~ 51. 3.31
森秀雄	会計課	昭 21. 4. 6 ~ 24. 4.30
森川冨子	技術 雇	昭 22. 3.31 ~ 24. 4.25
茂呂勝郎	庶務部長	昭 29. 9. 3 ~ 36. 3.31
茂呂陽子	研究補助員	昭 39. 8.31 ~ 40. 3.31

や

八尋フジエ	雇	昭 23. 4. 1 ~ 24. 9.30
山浦信治	会計課長	昭 34. 4. 1 ~ 43. 3.31
山崎光子	雇	昭 19. 7.24 ~ 不明
山下重明	庶務部長	昭 51. 6. 1 ~ 60. 3.31
山下祐三	技術職員	昭 42. 4. 1 ~ 44. 3.31
山田数江	雇	昭 19. 9.30 ~ 不明
山田喜恵子	庶務課	昭 30. 6. 1 ~ 41. 3.31
山田幸江	研究補助員	昭 42. 4. 1 ~ 43. 6.20
山中敏子	技術 雇	昭 26. 4. 1 ~ 27. 3.31
山中信子	研究補助員	昭 49. 4. 1 ~ 51. 4. 1
山本梅子	研究補助員	昭 43. 4. 1 ~ 44. 3.31
山本博	庶務課	昭 25. 6.17 ~ 25. 9.11
山本義人	会計課	昭 25. 6.19 ~ 25.11.20

ゆ

湯浅扶子	技術第二係長	昭 47. 4. 1 ~ 63. 3.31
------	--------	-----------------------

よ

横山季世	研究補助員	昭 44. 4. 1 ~ 46. 3.31
吉岡タケコ	技術 雇	昭 19. 9.30 ~ 20. 8.20

吉 兼 實
 吉 沢 タツ子
 吉 田 薫
 吉 田 高 志
 吉 田 礼 子
 吉 野 四 郎
 吉 橋 明 男

雇
 雇
 研 究 補 助 員
 庶務課課長補佐
 雇
 庶 務 課
 会 計 課

昭 26. 6.11 ~ 26.12.31
 昭 19. 8. 4 ~ 不 明
 昭 28. 8. 1 ~ 38. 3.31
 昭 22. 2. 1 ~ 56. 4. 1
 昭 25. 3.31 ~ 29. 6.30
 昭 23. 1. 1 ~ 27. 4.10
 昭 22. 2.27 ~ 40. 5.19

わ

渡 辺 一 郎
 渡 辺 亨 英
 渡 辺 宏 俱
 渡 辺 節 子
 渡 辺 知 子
 和 田 泰 江

技 術 雇
 庶 務 課
 技 術 雇
 雇
 研 究 補 助 員
 技 術 雇

昭 26. 6.12 ~ 27.12.31
 昭 21. 3.15 ~ 29. 2.15
 昭 21. 4.15 ~ 27. 3.31
 昭 23. 6. 5 ~ 24. 5.25
 昭 38. 2. 1 ~ 40. 3.31
 昭 22. 3.31 ~ 23. 4.15

16 現教職員

平成6年4月1日現在

【所長】 清水 良一

【企画調整主幹】 駒澤 勉（併任）

【管 理 部 長】 三 浦 猛 夫

〔庶務課〕

課長	村田 武
課長補佐	野田 恭二
〃	西 顯一
庶務係長	佛圓 和俊
係員	山崎 義夫
事務補佐員	中村 麻里
〃（所長室）	中村 和子
人事係長	奥 拔 義弘
人事主任	矢嶋 史子
研究協力係長	横田 恭
係員（総研大併任）	菅 哲郎
事務補佐員	長嶋 智代
共同利用係長	飯塚 英一郎
事務補佐員	福永 祐子

〔会計課〕

課長	島田 良雄
課長補佐	三好 明
総務係長	菅野 耕二
係員	佐野 進
出納係長	風間 勉
係員	内田 淳一郎
事務補佐員	市原 育代
用度係長	須藤 文雄
係員	鈴木 誠
事務補佐員	高木 祥子
管財係長	石橋 格司
事務補佐員	館野 章子

【技術課】

課長（併任）	平野 勝臣
技術第一係長	桂 康一
係員	太田 岭子
〃	松野 秀夫
技術第二係長	香田 健二
係員	高崎 久則
〃	中村 和博
技術第三係長	清水 恵子
係員	中島 詞子
〃	田中 さえ子
技術補佐員	渡邊 静子

技術第四係長
係員

〃
技術補佐員

寺尾 節子
渡邊 百合子
長嶋 昭子
宮岡 朝海

【統計基礎研究系】

研究主幹（併任） 松 縄 規

〔推測決定理論研究部門〕

教 授 平 野 勝 臣 助 手 西 山 陽 一

〔基礎概念研究部門〕

教 授 松 縄 規 助教授 尾 形 良 彦

〔応用確率論研究部門〕

助教授 吉 田 朋 広 助 手 志 村 隆 彰

〔確率・分布理論研究部門〕（客員）

教 授 築 瀬 靖 子 助教授 鎌 倉 稔 成

【調査実験解析研究系】

研究主幹(併任) 大 隅 昇

〔標本調査研究部門〕

教 授 坂 元 慶 行 助 手 前 田 忠 彦

〔空間事象研究部門〕

教 授 種 村 正 美 助教授 丸 山 直 昌 助 手 金 藤 浩 司

〔多次元解析研究部門〕

教 授 駒 澤 勉 助教授 馬 場 康 維

〔パターン解析研究部門〕

教 授 大 隅 昇 助教授 高 木 廣 文

〔系列事象研究部門〕

助教授 柏 木 宣 久

〔実験計画研究部門〕（客員）

教 授 正法地 孝 雄 講師（非常勤） 椿 広 計

【予測制御研究系】

研究主幹(併任) 尾 崎 統

〔システム解析研究部門〕

教 授 北 川 源四郎 助 手 川 崎 能 典

〔予測理論研究部門〕

教 授 長谷川 政 美 助 手 樋 口 知 之

〔制御理論研究部門〕

教 授 尾 崎 統 助教授 宮 里 義 彦 助 手 土 谷 隆

〔数値的最適化研究部門〕

教 授 田 辺 國 士 助教授 水 野 眞 治 助 手 伊 藤 聡

〔統計計算システム研究部門〕

教 授 鈴 木 義一郎 助教授 石 黒 真木夫 助 手 伊 庭 幸 人

〔非数値的情報処理研究部門〕

〔大規模システム研究部門〕（客員）

助教授 照 井 伸 彦 助教授 松 本 則 夫

【領域統計研究系】

研究主幹(併任) 柳 本 武 美

〔自然科学領域研究部門〕

教 授 柳 本 武 美 助教授 佐 藤 俊 哉

教 授 伊 藤 栄 明

〔人文社会科学領域研究部門〕

教 授 村 上 征 勝 助教授 吉 野 諒 三

〔複合領域研究部門〕(客員)

教 授 前 原 潤 助教授 猪 原 正 守

教 授 佐々木 正 道

教 授 千 野 直 仁(前期) 助教授 林 文(後期)

【統計データ解析センター】

センター長(併任) 北 川 源四郎

〔データ解析室〕

室長(助教授) 中 村 隆 助 手 上 田 澄 江

〔ソフトウェア開発室〕

室長(助教授) 田 村 義 保 助 手 荒 畑 恵美子

【統計教育・情報センター】

センター長(併任) 長谷川 政 美

〔教育指導室〕 助 手 橋 本 哲 男

〔研究情報室〕

室長(助教授) 岡 崎 卓 助 手 山 下 智 志

17 総合研究大学院大学数物科学研究科統計科学専攻

(1) 入学状況（入学定員 4 名）

講座名\年月	平 元.4	平 2.4	平 3.4	平 3.10	平 4.4	平 5.4	平 6.4
統 計 基 礎	—	—	—	—	2 (2)	1	1 (1)
調査実験解析	—	—	3	—	—	—	—
予 測 制 御	1	1 (1)	2	—	4	2	1
領 域 統 計	1	2	—	1 (1)	—	1	1
計	2	3 (1)	5	1 (1)	6 (2)	4	3 (1)

備考 () は外国人留学生で内数。

(2) 在学者数（各年度 5 月 1 日現在）

年度\入学年月	平元.4	平2.4	平3.4	平3.10	平4.4	平5.4	平6.4	計
平 元	2							2
2	2	3 (1)						5 (1)
3	2	3 (1)	5 * 1					10(1) * 1
4		3 (1)	5	1 (1)	6 (2) * 1			15(4) * 1
5		1	5	1 (1)	6 (2)	4 * 1		17(3) * 1
6			3	1 (1)	6 (2)	4	3 (1)	17(4)

備考 (1) () は外国人留学生で内数。

(2) * は研究生で外数。

(3) 共同研究

研 究 期 間	研 究 課 題
平成元年度	加速器物理と計算機開発・利用（代表者 田辺國士）
平成2～3年度	加速器物理と統計的制御および最適化（代表者 田辺國士）
平成元～3年度	エネルギー変換科学
平成元～2年度	遺伝系統学
平成元～3年度	文字・画像データベースの構築とその利用に関する総合的研究
平成2年度	遺伝情報の多様性と進化
平成2～4年度	生物における分化パターン形成機構
平成2～4年度	高い干渉性をもった短波長光の発生とその利用
平成3～5年度	分子・遺伝系統学
平成4～6年度	複合複雑系の科学—アドバンスト・コンピューティング法とその表現法の構築
平成4～6年度	日本語テキストデータベースの利用法に関する研究 —古文から現代文までの学際的国際的利用環境
平成4～6年度	宇宙科学における統計的推論／データ処理法 (代表者 石黒真木夫)

備考 代表者名の記載のない研究課題は、本専攻の教官が当該研究組織に参加しているもの（グループ研究についても同じ）。

(4) グループ研究

研 究 期 間	研 究 課 題
平成4～6年度	エネルギー変換科学
平成5～7年度	生命体科学

(5) 講座等

統計科学専攻は、科学的仮説の構築・検証等、合理的な推論あるいは予測の実現を目的とするデータの有効利用に関する教育研究を行う。統計基礎、調査実験解析、予測制御、領域統計の4講座で構成され、統計科学の新分野を生み出すような創造性豊かな研究者を養成することを目的としている。

なお、平成5年度までに開講された授業科目は次のとおりである。

講 座 名	授 業 科 目	内 容
統 計 基 礎	推測決定理論研究Ⅰ	統計モデルの推測、決定理論及び確率分布理論の研究指導
	推測決定理論研究Ⅱ	多変量解析法の理論及び方法論
	推測決定理論特別研究Ⅰ	より高度なモデルの推測決定理論及び分布理論の研究指導
	推測決定理論特別研究Ⅱ	多変量データの構造分析とモデル構成法の理論
	基礎概念研究Ⅰ	情報量、エントロピー、尤度等の意味と役割の研究
	基礎概念特別研究Ⅰ	統計理論の基礎となるモデル分布の特定化の問題を研究
	基礎概念特別研究Ⅱ	点過程・空間過程の統計的推論
	応用確率論研究Ⅰ	統計理論の応用に関連して必要となる確率の一般理論
	応用確率論研究Ⅱ	統計理論に必要な確率論・確率分布論の研究指導
	応用確率論特別研究Ⅰ	大きな母集団に関する推定問題・離散型確率モデルの構築
	統計基礎特別研究Ⅰ	確率分布論の研究
	統計基礎特別研究Ⅱ	情報量の意味と役割
	統計基礎特別研究Ⅲ	統計的推測理論及び決定理論
	統計基礎特別研究Ⅳ	確率幾何学的データ解析の基礎理論と応用
調査実験解析	標本調査特別研究Ⅰ	経済統計データをもとに集中曲線、曲面の解析
	空間事象特別研究Ⅰ	社会調査と解析の実際
	空間事象特別研究Ⅱ	カテゴリカルデータの情報量統計学的解析法
	多次元解析特別研究Ⅱ	非計量多次元データの解析法と尺度構成法の研究指導
	系列事象研究Ⅱ	社会調査の設計・実施・分析
	系列事象特別研究Ⅰ	確率幾何学の基礎と系列事象への応用の研究指導
	調査実験解析特別研究Ⅰ	経済統計のデータ解析法
	調査実験解析特別研究Ⅱ	質的データの数量化方法論
	調査実験解析特別研究Ⅱ	社会科学における探索的データ解析
	調査実験解析特別研究Ⅲ	自動分類法とそのアルゴリズムの研究
	調査実験解析特別研究Ⅳ	点配置データのパターン解析
	調査実験解析特別研究Ⅴ	多次元データの統計分析手法
予 測 制 御	システム解析研究Ⅰ	システム解析のためのモデル構成法
	システム解析研究Ⅱ	システム解析における計算機利用
	システム解析特別研究Ⅰ	非定常・非線形システムの状態推定のための数値的方法
	システム解析特別研究Ⅱ	非線形現象の解析法
	制御理論研究Ⅰ	制御理論の統計的側面特にシステム同定の問題を考察
	制御理論研究Ⅱ	制御理論と適応制御の基礎と応用に関して研究指導
	制御理論特別研究Ⅰ	非線形制御と非線形力学系、非線形時系列モデル等
	数値的最適化研究Ⅰ	最適化の理論とアルゴリズムおよび関連する数値解析

(4) グループ研究

研 究 期 間	研 究 課 題
平成 4 ～ 6 年度	エネルギー変換科学
平成 5 ～ 7 年度	生命体科学

(5) 講座等

統計科学専攻は、科学的仮説の構築・検証等、合理的な推論あるいは予測の実現を目的とするデータの有効利用に関する教育研究を行う。統計基礎、調査実験解析、予測制御、領域統計の 4 講座で構成され、統計科学の新分野を生み出すような創造性豊かな研究者を養成することを目的としている。

なお、平成 5 年度までに開講された授業科目は次のとおりである。

講 座 名	授 業 科 目	内 容
統 計 基 礎	推測決定理論研究Ⅰ 推測決定理論研究Ⅱ 推測決定理論特別研究Ⅰ 推測決定理論特別研究Ⅱ 基礎概念研究Ⅰ 基礎概念特別研究Ⅰ 基礎概念特別研究Ⅱ 応用確率論研究Ⅰ 応用確率論研究Ⅱ 応用確率論特別研究Ⅰ 統計基礎特別研究Ⅰ 統計基礎特別研究Ⅱ 統計基礎特別研究Ⅲ 統計基礎特別研究Ⅳ	統計モデルの推測、決定理論及び確率分布理論の研究指導 多変量解析法の理論及び方法論 より高度なモデルの推測決定理論及び分布理論の研究指導 多変量データの構造分析とモデル構成法の理論 情報量、エントロピー、尤度等の意味と役割の研究 統計理論の基礎となるモデル分布の特定化の問題を研究 点過程・空間過程の統計的推論 統計理論の応用に関連して必要となる確率の一般理論 統計理論に必要な確率論・確率分布論の研究指導 大きな母集団に関する推定問題・離散型確率モデルの構築 確率分布論の研究 情報量の意味と役割 統計的推測理論及び決定理論 確率幾何学的データ解析の基礎理論と応用
調査実験解析	標本調査特別研究Ⅰ 空間事象特別研究Ⅰ 空間事象特別研究Ⅱ 多次元解析特別研究Ⅱ 系列事象研究Ⅱ 系列事象特別研究Ⅰ 調査実験解析特別研究Ⅰ 調査実験解析特別研究Ⅱ 調査実験解析特別研究Ⅱ 調査実験解析特別研究Ⅲ 調査実験解析特別研究Ⅳ 調査実験解析特別研究Ⅴ	経済統計データをもとに集中曲線、曲面の解析 社会調査と解析の実際 カテゴリカルデータの情報量統計学的解析法 非計量多次元データの解析法と尺度構成法の研究指導 社会調査の設計・実施・分析 確率幾何学の基礎と系列事象への応用の研究指導 経済統計のデータ解析法 質的データの数量化方法論 社会科学における探索的データ解析 自動分類法とそのアルゴリズムの研究 点配置データのパターン解析 多次元データの統計分析手法
予 測 制 御	システム解析研究Ⅰ システム解析研究Ⅱ システム解析特別研究Ⅰ システム解析特別研究Ⅱ 制御理論研究Ⅰ 制御理論研究Ⅱ 制御理論特別研究Ⅰ 数値的最適化研究Ⅰ	システム解析のためのモデル構成法 システム解析における計算機利用 非定常・非線形システムの状態推定のための数値的方法 非線形現象の解析法 制御理論の統計的側面特にシステム同定の問題を考察 制御理論と適応制御の基礎と応用に関して研究指導 非線形制御と非線形力学系、非線形時系列モデル等 最適化の理論とアルゴリズムおよび関連する数値解析

講 座 名	授 業 科 目	内 容
予 測 制 御	統計計算システム特別研究Ⅰ 予測制御特別研究Ⅰ 予測制御特別研究Ⅱ 予測制御特別研究Ⅲ 予測制御特別研究Ⅳ 予測制御特別研究Ⅴ 予測制御特別研究Ⅵ 予測制御特別研究Ⅶ 予測制御特別研究Ⅷ	離散構成の確率モデルを含む各種統計モデルの解析の研究 数値的最適化法と逆問題の解析 離散確率分布の理論と応用 生物学における統計的モデル選択 予測制御特論 非定常時系列解析 予測制御と計算機 時系列解析及びシステム解析のためのモデル構成法 制御理論と適応制御
領 域 統 計	自然科学領域研究Ⅰ 自然科学領域研究Ⅲ 複合領域特別研究Ⅱ 領域統計特別研究Ⅰ 領域統計特別研究Ⅱ 領域統計特別研究Ⅲ 領域統計特別研究Ⅳ 領域統計特別研究Ⅴ	生物統計学における適用とその理論 疫学・生物統計学の方法 社会と統計組織及び統計データ処理 意識の国際比較方法論の研究 修正尤度法とその適用 自然科学における確率模型 社会調査データの収集法と解析手法 人文科学における計量分析

(6) 併任教官

平成6年4月1日現在

講座等名	教 授	助 教 授	助 手
専 攻 長	清 水 良 一		
統 計 基 礎	平 野 勝 臣 松 縄 規	尾 形 良 彦 吉 田 朋 広	
調査実験解析	坂 元 慶 行 駒 澤 勉 大 隅 昇 種 村 正 美	馬 場 康 維 高 木 廣 文 中 村 隆	金 藤 浩 司
予 測 制 御	北 川 源四郎 長谷川 政 美 尾 崎 統 田 辺 國 士 鈴 木 義一郎	宮 里 義 彦 石 黒 真木夫 田 村 義 保	樋 口 知 之 土 谷 隆 橋 本 哲 男
領 域 統 計	柳 本 武 美 伊 藤 栄 明 村 上 征 勝	佐 藤 俊 哉	

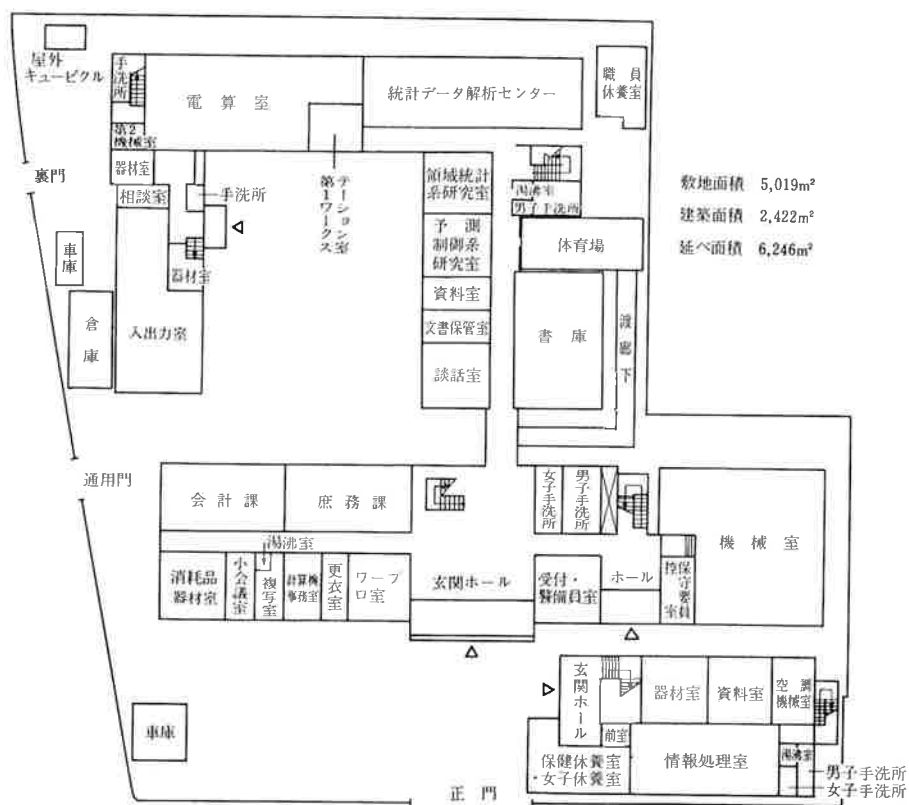
18 創立50周年記念事業一覧

事業名	期日	場所	備考
1. 展示	平成5年11月 ～平成6年11月	統計数理研究所 玄関ホール	
2. 記念式典、記念講演会及び祝賀会 記念講演「夢多き研究者たち」 清水所長	平成6年6月3日（金）	如水会館	
3. 講演会等			
①国際研究集会「理工学における統計的方法」プレシンポジウム	平成5年11月5日（金） ～6日（土）	統計数理研究所	応用統計学会と共催
②公開講演会 「統計的に因果を探る－情報量規準はここから生まれた」 統計モデルを使った火力発電所の制御 中村秀雄（日本ペーレー（株）応用システム部長） 多変量自己回帰モデルによる生体内フィードバック解析 和田孝雄（稲城市立病院院長） 統計的モデル評価と因果解析 石黒助教授	平成5年11月6日（土）	統計数理研究所	
③国際シンポジウム 「ベイズ統計学の情動的諸側面の探求」	平成5年12月19日（日） ～23日（木）	人材開発センター 富士研修所 （山梨県富士吉田市）	
④ワークショップ「時系列データの季節調整のための統計的手法」	平成6年2月14日（月） ～15日（火）	統計数理研究所	アメリカ合衆国センサス局との共同研究（科学研究費補助金）
⑤講演会「データを科学的に読む」 「期待と情報」 赤池所長 「質的な事象の要因を探す」 坂元教授 「情報の視点からDNAを読む」 長谷川教授 「システムの中に情報の流れを追う」 石黒助教授 「時系列に潜む情報の抽出」 北川教授	平成6年2月18日（金）	日本経済新聞社本社会議室	日経データと共催
⑥統計科学合同研究集会	平成6年4月20日（水） ～22日（金）	統計数理研究所	統計学研究連絡委員会・応用統計学会・計量生物学会と共催
⑦国際研究集会 「理工学における統計的方法」	平成6年7月11日（月） ～13日（水）	東京大学山上会館	応用統計学会と共催
⑧公開講演会	平成6年11月	統計数理研究所	
4. 刊行物			
①統計数理研究所共同研究者名簿総合編	平成6年3月刊行		
②統計数理研究所50年のあゆみ	平成6年6月刊行		
③統計数理50周年記念特集号	平成6年6月、12月刊行		
④統計科学叢書 第1巻「時系列解析の実際」（英文）	平成7年3月刊行		

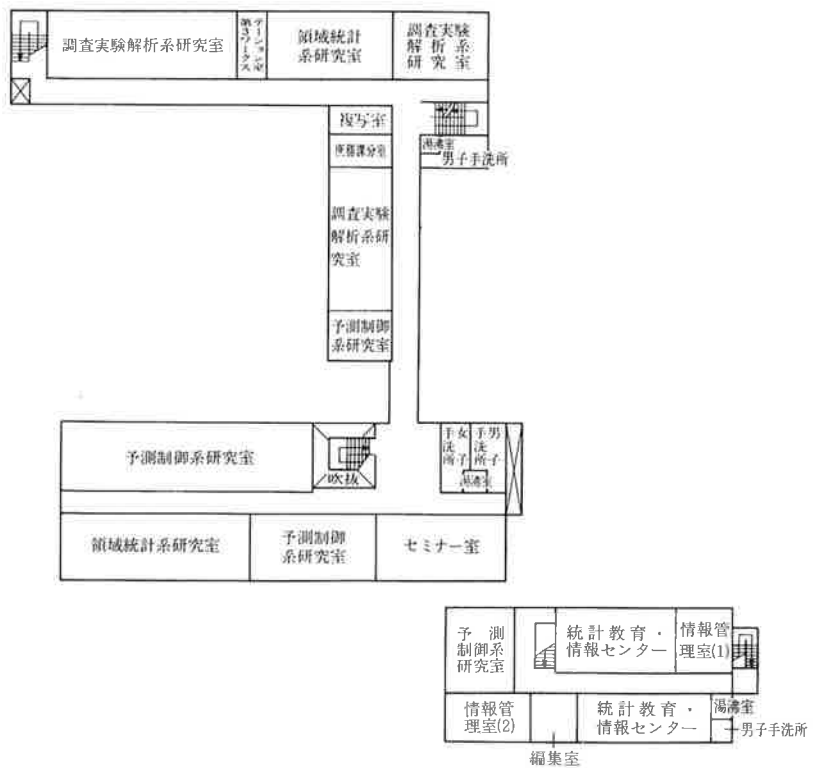
19 研究室等配置図

平成6年4月1日現在

1 階平面図



3 階平面図



編 集 後 記

ひとくちに50周年といいますが、この間の営々たる諸先輩の仕事の積み重ねに想いを致すとき肅然とするものがあります。過去について乏しい知識しか持たない委員各人にとって、本研究所の歴史の総括を迫られることになる50周年記念誌の編集を引き受けることには正直いって躊躇がありました。幸いにも現在、統計数理研究所は、研究の内的発展の上でも社会的ニーズの点でも登り坂にあります。この隆盛の基はその歴史の中にあり、私達はその恩恵に浴しているわけです。したがって私達がとるべき態度は、いたずらに客観性を追い求めることではなく、私達なりに本研究所の歴史の中にある良きもの見出し、次の世代に伝えてゆくことではないかと考えることにしました。もとより浅学のゆえの誤り、「現在」に拘束されたための偏りや見落としを免れないものであります。この点、関係者諸賢にあらかじめお詫びを申し上げます。

簡潔なものにという編集方針の下に、内容は本編（I－X章）と資料（XI章）に分けて構成しました。IV章の主要研究テーマの選択については委員の間で議論の分かれるところがありましたが、結局ご覧のようになりました。内容の責めは刊行物等実行委員会が負うものであります。XI章の資料も1985年の大学共同利用機関への改組転換以降に重点をしばらく作成しました。

本冊子は、多数の方々のご協力で発刊の運びとなったものです。ご多忙のなかをご寄稿いただいた諸先輩、活字にはならなかったお話しや資料を提供して下さった多くの方々に厚く御礼申し上げます。

統計数理研究所創立50周年記念事業

刊行物等実行委員会

田 辺 國 士（委員長）	鈴 木 義一郎
北 川 源四郎	平 野 勝 臣
丸 山 直 昌	吉 野 諒 三
中 村 隆	岡 崎 卓
村 田 武	

統計数理研究所50年のあゆみ

平成6年6月1日 発行（非売品）

発 行	統計数理研究所 東京都港区南麻布4-6-7
編 集	統計数理研究所創立50周年記念事業 刊行物等実行委員会
印 刷	有限会社 プリカ 東京都品川区大崎4-1-13